

令和4年度
全国情報処理教育研究協議会

期 日 令和5年3月11日(土)



主 催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

<資料一覧>

1 次第

2 出席者一覧

3 研究協議会資料

(1) 情報処理教育研究協議会 資料Ⅰ

(2) 情報処理教育研究協議会 資料Ⅱ

4 文部科学省講話資料

文部科学省

初等中等教育局 参事官（高等学校担当）付

産業教育振興室 教科調査官 田中 圭 様

※別ファイル

5 事務局より連絡事項

※別ファイル

本日の協議会の内容について、ご質問があればメールをお送りください。

件 名 「(都道府県名) 情報処理教育研究協議会質問」

送 信 先 joho@zensho.or.jp

送信締切 令和5年3月31日迄

令和4年度全国情報処理教育研究協議会 次第

日 時 令和5年3月11日(土)
会 場 全商会館3階中会議室を中継したオンライン開催
開 会 午後1時30分
閉 会 午後4時30分

開会のことば 全商協会情報処理研究部長 武藤 秀 樹
挨拶 全商協会 理事長 大 林 誠
来賓紹介 全商協会情報処理研究部長 武藤 秀 樹
講 話 文部科学省 初等中等教育局参事官(高等学校担当)付
産業教育振興室 教科調査官
文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部
教育課程調査官 田 中 圭 様

(休憩)

議 事 1 令和4年度 情報処理検定試験実施報告
(1) 情報処理検定試験全般について
(2) ビジネス情報部門1級・2級・共通3級
(3) プログラミング部門1級・2級
(休憩)
2 情報処理研究部の今後の方向性
3 その他
(1) 情報処理競技大会について
(2) プログラミングコンテストについて
(3) 事務局より

閉会のことば 全商協会情報処理研究部副部長 根 岸 卓

令和4年度全国情報処理教育研究協議会 出席者一覧

【来 賓】

<敬称略>

文部科学省初等中等教育局 参事官（高等学校担当）付
 産業教育振興室 教科調査官
 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部
 教育課程調査官
 田 中 圭

【全商役員】

理事長 東京都立芝商業高等学校長 大 林 誠
 副理事長 埼玉県立深谷商業高等学校長 西 木 成 男
 部長 山梨県立塩山高等学校長 武 藤 秀 樹
 副部長 群馬県立伊勢崎商業高等学校長 根 岸 卓

【指定代表】

北海道 北海道苫小牧総合経済高等学校 山 口 智 憲
 青森県 青森県立青森商業高等学校 須 藤 貴 則
 岩手県 岩手県立釜石商工高等学校 青 木 智 江
 宮城県 宮城県大河原商業高等学校 尾 形 伸 一 郎
 秋田県 秋田県立雄物川高等学校 高 階 市 太 郎
 山形県 惺山高等学校 飛 塚 恭 子
 福島県 福島県立郡山商業高等学校 古 川 源
 茨城県 茨城県立日立商業高等学校 須 貝 一 輝
 栃木県 栃木県立宇都宮商業高等学校 添 田 昌 子
 群馬県 群馬県立伊勢崎商業高等学校 山 口 勇 壮
 埼玉県 埼玉県立大宮商業高等学校 清 水 誠
 千葉県 千葉県立一宮商業高等学校 丸 島 卓 也
 山梨県 山梨県立甲府城西高等学校 丸 茂 美 由 紀
 東京都 東京都立第四商業高等学校 日 高 翔 平
 神奈川県 神奈川県立小田原東高等学校 柴 崎 琢 磨
 新潟県 新潟県立新潟商業高等学校 和 田 勝 孝
 富山県 富山県立高岡商業高等学校 懸 高 雅 則
 石川県 石川県立金沢商業高等学校 森 田 充 哉
 福井県 福井県立敦賀高等学校 櫻 井 丈 晴
 長野県 長野県小諸商業高等学校 植 原 崇 裕
 静岡県 静岡県立浜松東高等学校 濱 田 利 忠
 愛知県 愛知県立春日井商業高等学校 平 野 翔 太 明
 岐阜県 岐阜県立大垣商業高等学校 郷 昌 和
 三重県 三重県立松阪商業高等学校 田 中 秀 彦
 滋賀県 滋賀県立長浜北星高等学校 藤 田 敏 彦
 京都府 京都府立京都すばる高等学校 久 保 芳 行
 大阪府 大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校 駒 居 智 志
 兵庫県 兵庫県立神戸商業高等学校 大 山 俊 也
 奈良県 大和高田市立高田商業高等学校 増 田 健 一
 和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校 岩 井 誠 悟
 鳥取県 鳥取県立米子南高等学校 藤 田 有 希 子

島根県	島根県立情報科学高等学校	安 田	裕 司
岡山県	岡山県立笠岡商業高等学校	東 田	義 信
広島県	広島県立広島商業高等学校	上 川	裕 司
山口県	山口県立徳山商工高等学校	田 中	孝 治
香川県	香川県立坂出商業高等学校	小 出	芳 朗
徳島県	徳島県立海部高等学校	中 原	三 智子
愛媛県	愛媛県立新居浜商業高等学校	藤 田	奈 穂子
高知県			
福岡県	柳川高等学校	盛 坂	浩 太
佐賀県	佐賀県立佐賀商業高等学校	田 尾	道 彰
長崎県	長崎県立諫早商業高等学校	松 尾	友 紀
熊本県	熊本県立熊本商業高等学校	吉 田	真 一
大分県	大分県立情報科学高等学校	渡 邊	芳 和
宮崎県	宮崎県立日南振徳高等学校	小 川	幸 信
鹿児島県	鹿児島県立鹿児島南高等学校	西 園	雄 麻
沖縄県	沖縄県立那覇商業高等学校	喜 納	麻 利子

【情報処理研究部】

副部長	埼玉県立狭山経済高等学校	原 崎	一 秀
専門委員	栃木県立宇都宮商業高等学校	田 邊	哲 也
〃	東京都立杉並総合高等学校	田 藤	豊 晴
〃	茨城県立水戸商業高等学校	武 藤	靖 章
〃	埼玉県立浦和商業高等学校	長 谷 川	弘 仁
〃	甲府市立甲府商業高等学校	松 土	諸 尚
〃	桐生市立商業高等学校	吉 星	啓 紀
〃	船橋市立船橋高等学校	東 濱	吉 介
〃	東京都立五日市高等学校	秋 葉	都 馨
〃	千葉県立長生高等学校	引 田	頼 好
〃	群馬県立前橋商業高等学校	戸 谷	浩 幸
〃	群馬県立前橋商業高等学校	石 槁	和 馬
〃	船橋市立船橋高等学校	坂 本	健 月
〃	栃木県立宇都宮商業高等学校	五 十 嵐	華 健
〃	神奈川県立小田原東高等学校	官 木	健 一
〃	埼玉県立幸手桜高等学校	嶋 山	昌 裕
〃	茨城県立古河第一高等学校	青 木	野 也
〃	栃木県立宇都宮商業高等学校	野 呂	昌 也
〃	茨城県立水戸商業高等学校	古 溝	匠 拓
〃	東京都立千早高等学校	石 川	
〃	埼玉県立鳩ヶ谷高等学校		

【全商協会事務局】

事務局長		山 田	典 男
事務局次長		閑 野	義 泉
事務局主任		山 崎	義 周
事務局主任		佐 藤	あ けみ

令和4年度

全国情報処理教育研究協議会資料

資料 I

期 日 令和5年3月11日（土）

公益財団法人 全国商業高等学校協会

情報処理研究部

検定報告

令和4年度 情報処理検定試験実施報告 ～第67・68回 情報処理検定試験～

令和4年度検定試験は、全ての級において年2回（9月・1月）実施しました。

- 令和4年9月25日（日）実施
第67回情報処理検定試験
- 令和5年1月29日（日）実施
第68回情報処理検定試験

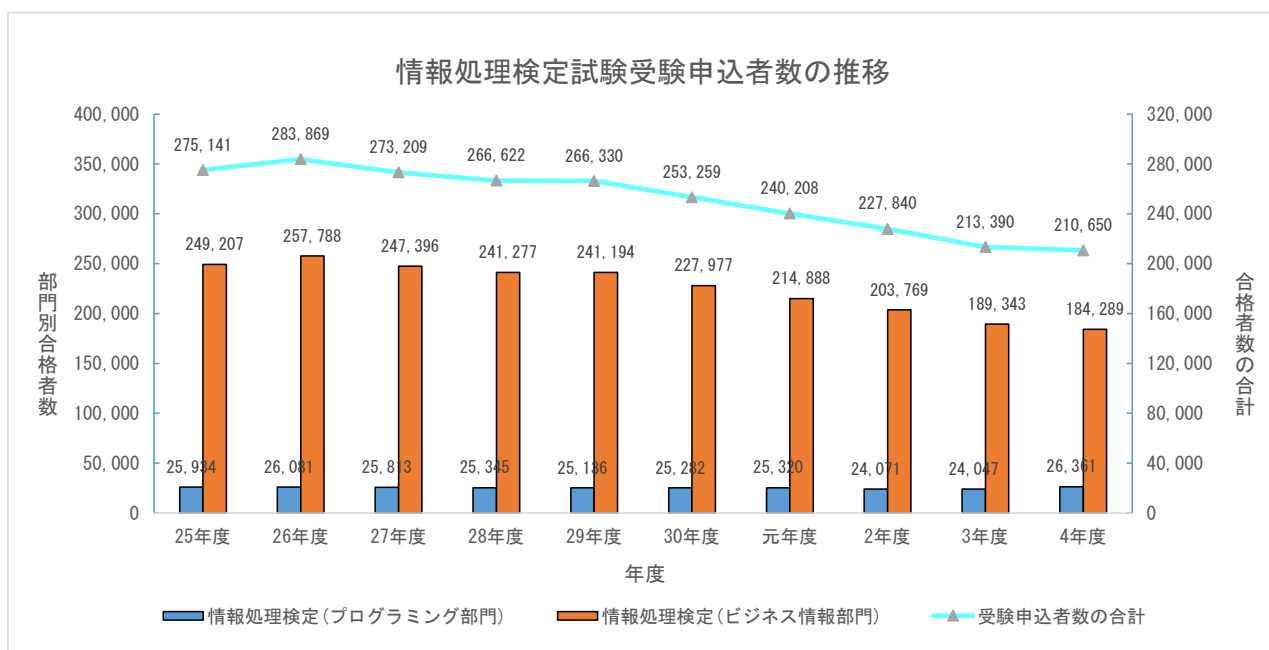
I 検定試験全般について

1. 受験申込者数の推移

過去10年間の受験申込者数の推移を以下に示しました。

情報処理検定受験申込者数の推移

年度(平成・令和)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
情報処理検定(プログラミング部門)	25,934	26,081	25,813	25,345	25,136	25,282	25,320	24,071	24,047	26,361
情報処理検定(ビジネス情報部門)	249,207	257,788	247,396	241,277	241,194	227,977	214,888	203,769	189,343	184,289
受験申込者数の合計	275,141	283,869	273,209	266,622	266,330	253,259	240,208	227,840	213,390	210,650



受験申込者数は、出題内容を大きく変更した平成25年度が受験者数275,141人で、前年度比約43,000人の大幅減となり、翌年の平成26年度は若干盛り返しましたが、以降今年度まで減少を続けております。特に平成30年以降は毎年10,000人以上の減少がありました。これは商業学科に学ぶ生徒の減少や、コロナ禍における受験の見送りなどが影響していると考えています。

今年度は約2,700人の減少に留まりました。具体的には、ビジネス情報部門では5,054名の減少となりましたが、プログラミング部門では2,314人の増加となっています。新検定基準で実施した最初の年度であり、プログラミング部門ではアルゴリズム主体の出題となり、特定の言語に偏らずに受験が可能となったため、受験生にとって受験しやすい環境になったためと思われます。今後も、生徒にとって知識・技術習得の指標となるべく

適切な作問を行い、一人でも多くの生徒に受験してもらえるよう心掛けていきたいと思っております。

2. 令和4年度の実受験者数

(1) 令和4年度年間実受験者数の状況

令和4年度の第67回(9月)・第68回(1月)の年間実受験者数の状況です。

第1級は、9月試験で23,547人、1月試験では29,519人が受験し、今年度は53,066人の受験者になりました。昨年度と比較すると9月試験では1,139人の減少、1月試験では936人の減少でした。1級全体では2,075人の受験者が減少(昨年度:4,656人の減少)しました。

第2級は、9月試験で26,027人、1月試験では50,425人が受験し、今年度は76,452人の受験者になりました。昨年度と比較すると9月試験では2,238人の減少でしたが、1月試験では1,422人の増加となりました。2級全体では816人の受験者が減少(昨年度:6,073人の減少)しました。

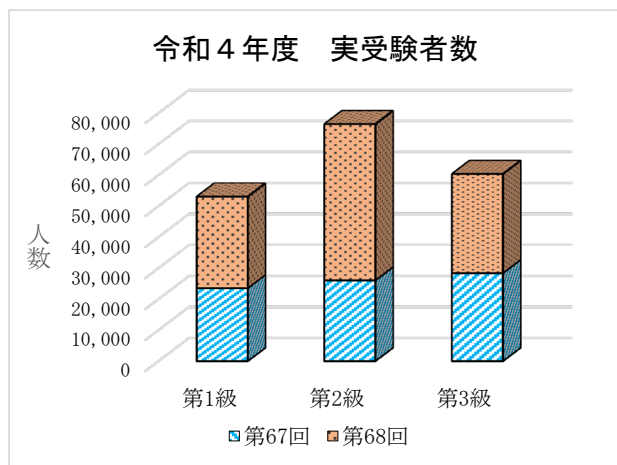
第3級は、9月試験で28,383人、1月試験では31,978人が受験し、今年度は60,361人の受験者になりました。昨年度と比較すると9月試験では231人の減少、1月試験では1,685人の減少でした。3級全体では1,916人の受験者が減少(昨年度:9,571人の減少)しました。

全受験者では、9月試験が昨年度より3,608人の減少(昨年度:297人の増加)、1月試験が1,199人の減少(昨年度:20,597人の減少)、全体では4,807人の減少(昨年度:20,300人の減少)でした。

なお、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や降雪等により、検定を中止した人数が1月試験で4校154名でした。

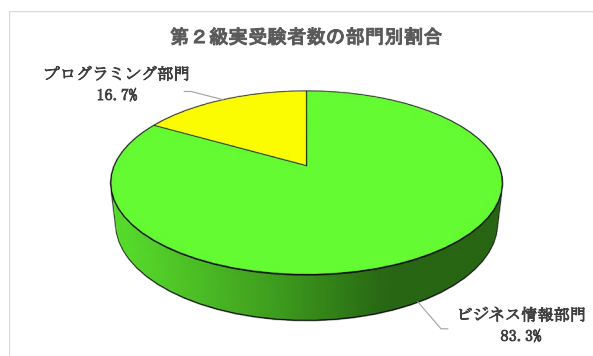
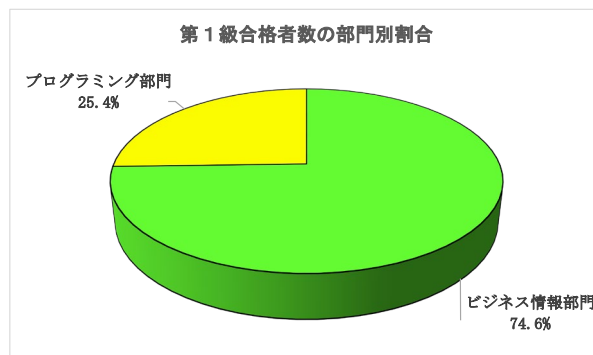
令和4年度 実受験者数

	第1級	第2級	第3級	合計
第67回	23,547	26,027	28,383	77,957
第68回	29,519	50,425	31,978	111,922
合計	53,066	76,452	60,361	189,879



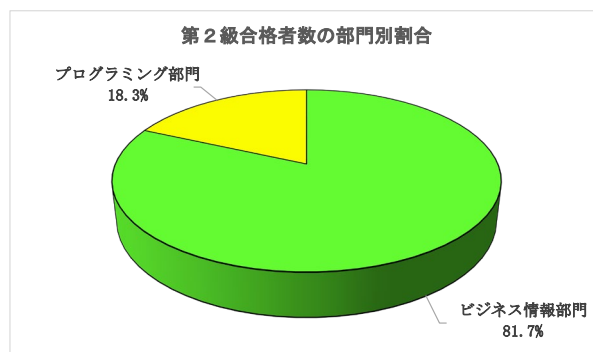
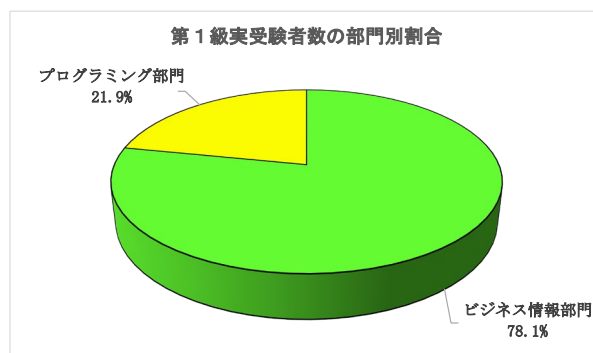
(2) 部門別実受験者の状況

ビジネス情報部門、プログラミング部門の実受験者数の状況を次に示します。



(3) 部門別合格者の状況

ビジネス情報部門、プログラミング部門の合格者数の状況を次に示します。

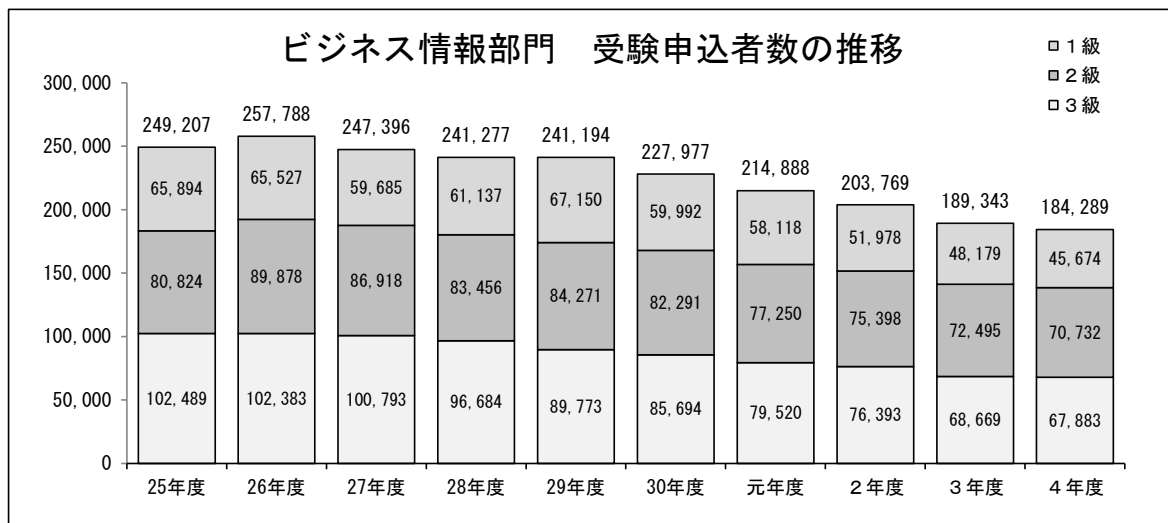


II ビジネス情報部門

情報処理検定試験ビジネス情報部門は、今年度より出題形式の一部や検定基準を変更し、今年度より実施された新学習指導要領に対応した。特に第3級ではフローチャート（トレース）が出題されるなど、大きく変更した。

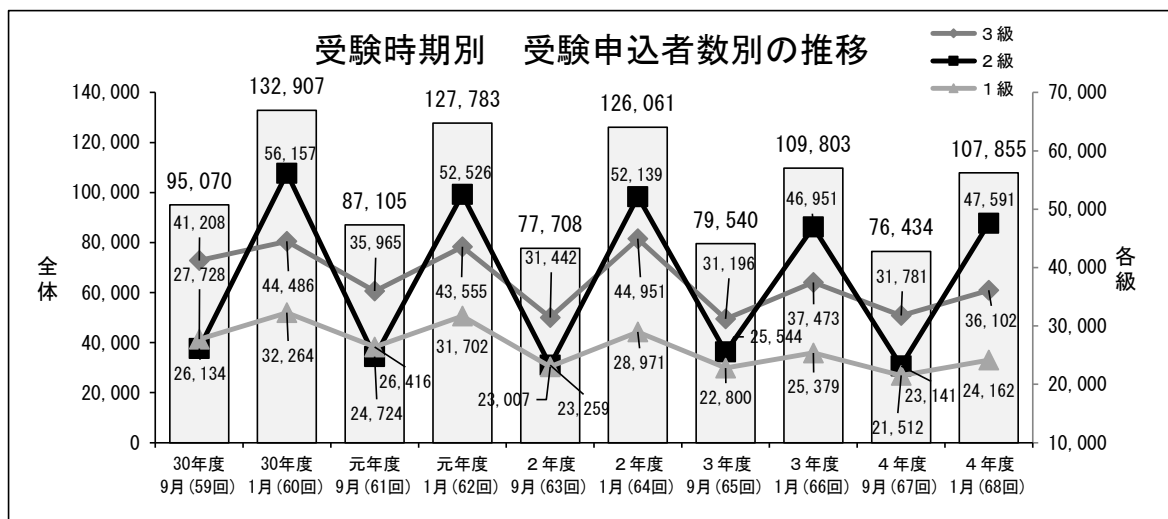
1. 受験申込者数（過去10年間）

令和4年度の受験申込者数の総計は、約184,000人で前年から5,000人程度の減少であった。その内訳は、第1級で-2,505人、第2級で-1,763人、第3級で-786人と、すべての級で減少となっており、減少傾向は継続しているが、今年度は、新型コロナウイルスが落ち着いてきた影響もあり、昨年度よりも減少数は減った。今後も考えさせる問題、思考力を測る問題を織り交ぜつつ、さまざまなビジネスシーンで活用できる情報処理能力を身に付けさせられるような、意味のある検定試験として位置づけたい。第3級、第2級、そして第1級へと着実なステップで学習を積んで検定試験に挑戦して頂きたい。



2. 受験時期別受験申込者数の推移（過去5年間）

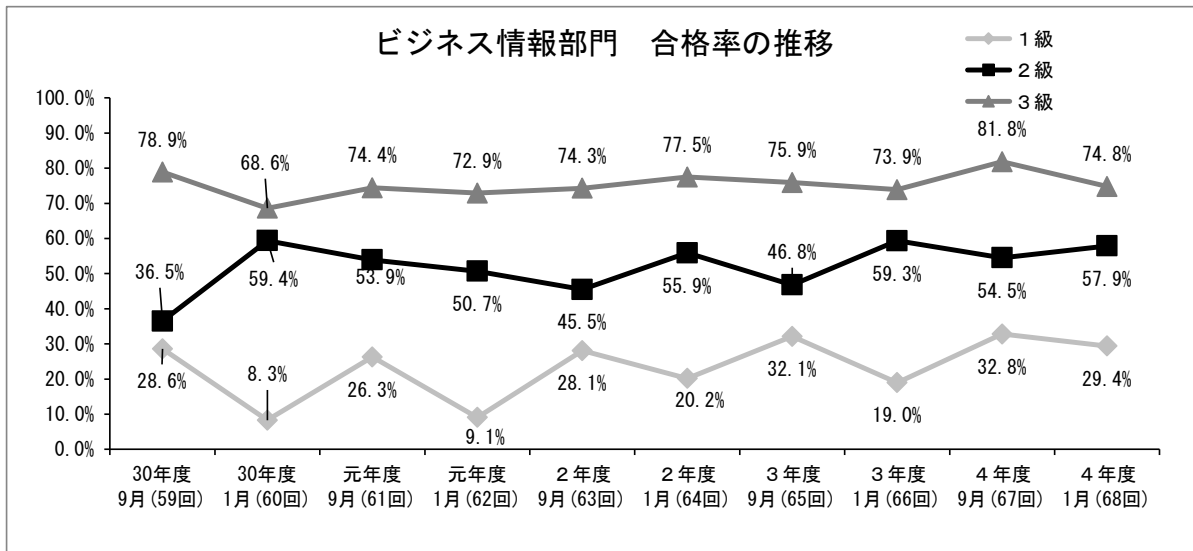
9月では、1級が-1,288人、2級が-2,403人、3級が+585人、全体で-3,105人となり、3級受験者の増加があったが、全体として減少となった。1月では、1級が-1,217人、2級が+640人、3級が-1,371人、全体で-1,948人となり、2級受験者の増加があったが、全体として減少となった。9月から1月の受験者数では、2級が大幅に増加する傾向があり、当初から着実に学習を積み重ね、1月に受験していると思われる。今後も、基礎的な内容を反復して学習し、実習を通して学力の定着を図って頂きたい。



3. 合格率の推移（過去5年間）

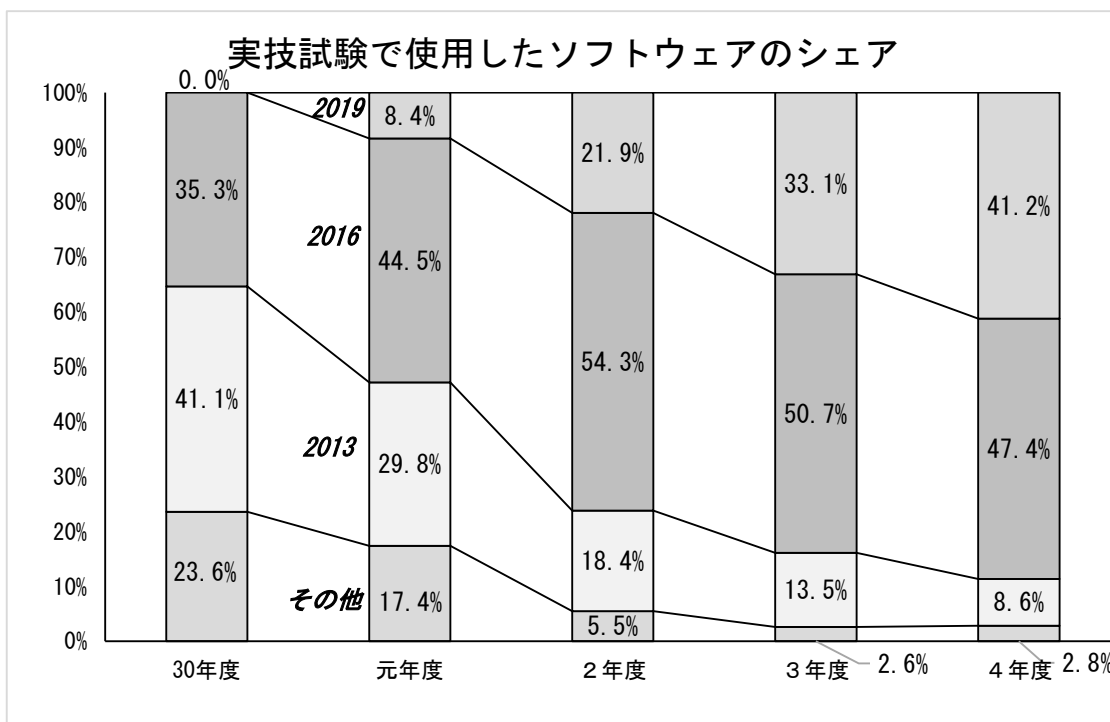
過去10年間の合格率平均は、第1級25.4%、第2級53.2%、第3級71.2%である。

令和4年度の延べ数での合格率は、第1級で31.0%、第2級で56.8%、第3級で78.1%であった。第1級では、9月（第67回）で32.8%の合格率であり、受験者数の多い1月の合格率も29.4%と大きな差はなかった。第2級では、当初からしっかり学習した成果が出たと思われる。第3級では、1月の合格率が9月よりも低い傾向であった。今年度も、新型コロナウイルスによる不安定な生活が強いられる中で、よく成果が出たと思われる。難易度の調整はしていない。平易な問題と応用問題を全体のバランスを見て出題している。今後とも同程度の難易度の作問を心掛けていく。



4. アプリケーションソフトウェアのシェア（過去5年間）

Excel2016のシェアが45%超、Excel2019が40%超となり、あわせて全体の4/5以上のシェアとなった。Excel2013は10%を割り、「その他」の中にExcel2021との回答もあった。それ以外はExcel2010やMicrosoft 365であり、スプレッドシートの導入は少数であった。2023年4月にはExcel2013の延長サポートが終了するため、Excel2016で検証していく予定である。今後の動向を注視していく。

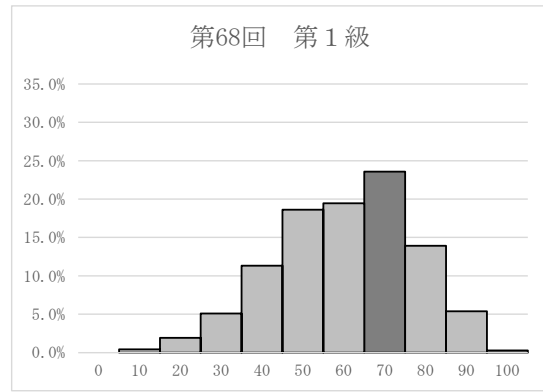
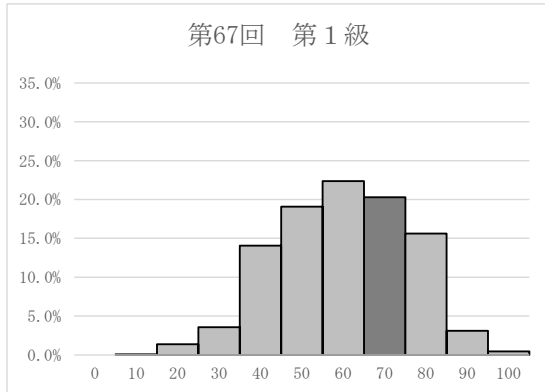


5. サンプル調査からみた情報処理検定ビジネス情報部門の傾向

各グラフとも、「70」点台の系列の色を濃くしてある。

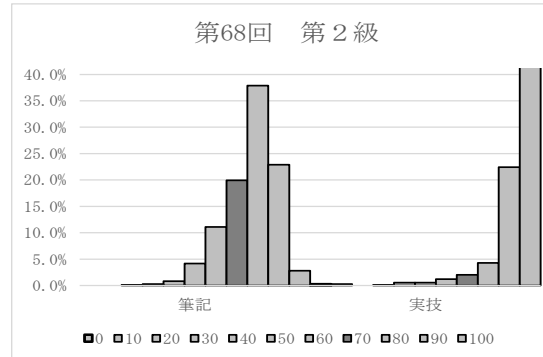
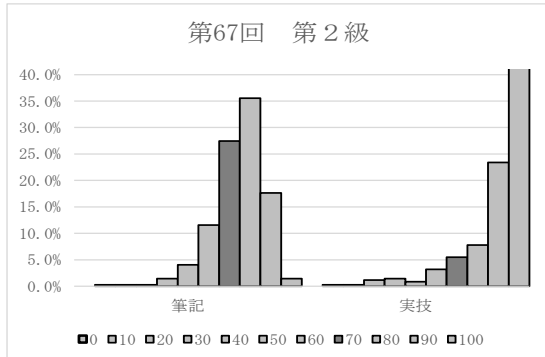
第1級

第67回は60点台が頂点となり、あと数点で合格となっていた受験生が多かった。第68回は、70点台が頂点となり、合格に届く受験生が多く、1月までしっかりと学習した成果が表れたものと思われる。また、第67回は、50点台19.1%、60点台22.4%、70点台20.3%、第68回は、50点台18.6%、60点台19.4%、70点台23.6%と、60点台と70点台が逆転した形となった。



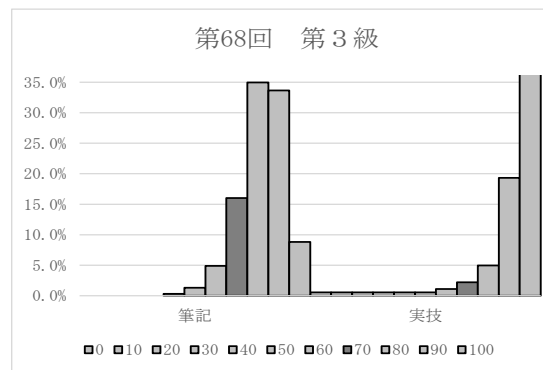
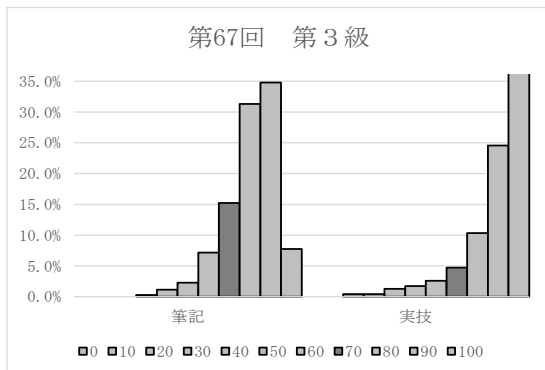
第2級

実技試験では、70点以上の割合が、第67回では92.8%、第68回では97.0%であり、それぞれ、100点台の56.1%、68.3%を頂点とし、ほとんどの受験生が合格点に達している。筆記試験では、第67回が、60点台11.6%、70点台27.5%、80点台35.5%、第68回では、60点台11.1%、70点台19.9%、80点台37.9%と、ともに80点台が頂点となった。実技試験、筆記試験ともバランスよく学習することが必要であるが、筆記試験に対しての十分な時間と質の高い学習が合格に繋がると考える。



第3級

第67回、第68回ともに良く出来ている。筆記の70点以上は89.1%、93.5%、80点以上は73.9%、77.5%、実技の70点以上は93.5%、95.6%、80点以上は88.8%、93.4%であった。筆記の学習時間を意識的に増やすことが合格に繋がると考える。



6. 検定問題等に対する意見・要望

【第67回（9月実施）に関して】

(1) 第1級について

	5	4	3	2	1
【1】	122	119	154	1	0
【2】	119	126	168	1	0
【3】	118	126	167	1	1
【4】	105	137	165	6	0
【5】	109	137	166	3	0
【6】	94	149	166	5	0
【7】	81	148	172	12	2
【全般】	108	137	182	4	0

【全般】について

- ・良問である。（多数）
- ・知識を問う問題，思考力を問う問題がバランスよく取り入れられていました。（多数）
- ・新出題範囲の初回検定としては適切な問題だったと思います。
- ・非常に読みやすい問題であった。
- ・学習成果を計れる良い問題だったと思います。
- ・ひねった問題もなく通常の難易度であったと思う。次回も同じような問題傾向を希望する。
- ・一部難易度が高い問題もあったが，良問が多いように感じた。
- ・1級も関数を用いた実技を復活させてほしい。
- ・難易度が上がりすぎないようにお願いしたい。
- ・訂正が多かった（多数）
- ・問題の訂正があったのは残念だったが，問題の難易度としては適切に感じた。
- ・訂正箇所がたくさんあって，試験開始までに時間がかかりました。訂正箇所ができるだけ少ない方がありがたいと思いました。
- ・ここ最近では訂正が多いのが気になりますが，特に問題はありません。
- ・問題の訂正がないようにしてほしい。
- ・問題訂正が口頭では難しかったため，印刷し配布・回収した。
- ・何回か連続で訂正が入っています。ミスがあるのは仕方がないのですが，時間に余裕をもって点検して訂正ができるだけないようにお願いしたい。特に今回の訂正は解答に関わるのところ，特に図（伸び率）に関する訂正は，受験者に伝えるに良かった。
- ・訂正の際は，国家試験のようにプリント配布できるように対応できないか。
- ・問題訂正の仕方について，どのように伝えるかの統一の指示があるとよかった。
- ・全体的に良問であったが，訂正が多すぎる。しっかり事前チェックを行ってほしい。
- ・訂正の量が多かったので，多くの訂正がないようにお願いしたい。
- ・試験問題に関する訂正の連絡を事前に連絡いただいたため，当日素早く対応できた。
- ・訂正箇所が多く，生徒への提示や説明に時間がかかった
- ・全体的には解きやすかったが，訂正箇所が多いため，混乱している生徒が多かった。

【1】～【3】について

- ・用語をしっかりと覚えていれば得点源となる良問でした。
- ・比較的易しかった。
- ・【3】計算問題の割合を増やす意図を感じた。生徒の計算力低下を感じるのので，難易度としてはこのあたりで推移してくれればありがたい。
- ・【3】では，開発工数の問題が新たに出題されていたので，引き続き出題してほしい。
- ・【3】問4．問題文について，一行目後半の「この作業」がどこを指すかわかりにくい。素直に読めば，全体を指すと読み取れるが，なかには6日目からの「二人で行った作業」と読み取る生徒も一定数いると感じられた。
- ・【3】問4・5の計算のうち，4をもう少しシンプルにしてほしい。（片方は基本的な計算に）
- ・【3】問4．問題集掲載と類似した問題が，新検定適用として良いと感じた。
- ・【3】5．磁気ディスク装置が出題されているが，実際にはSSDなどのフラッシュメモリに置き換わっていることから，未だに出題していることに少し疑問を感じる。しかも，計算問題を解かせるようにするためには，それなりの授業時間も必要になる。

【4】について

- ・いつもに比べて，平易に感じました。
- ・用語をしっかりと覚えていれば得点源となる良問でした。
- ・【4】ITパスポート試験を意識しており，良問であった。ただし，校内での正答率は低かった。

【5】について

- ・比較的易しかった。
- ・いつもに比べて，平易に感じました。
- ・問5 問題自体は良問で面白い問題だと思う。ただ

し、処理の流れ④の説明文は「1つの作品に対して座席数が決められており…」ではなく、「1つの公演に対して…」とではないのか。公演表と作品表を結合すると多対1になるので、ここで「座席数」が実際には1公演の上限数を表していることが分かるが、処理の流れ④の説明文の「1作品の…」という説明は明らかに間違っていると思う。

- ・問5が特に難しく感じた。
- ・問5 イの文章表現を改めた方がよいと感じた。
- ・内容が変わり、出題される内容があらかじめ予想できていたため、受けやすい内容でした。

【6】について

- ・いつもに比べて、平易に感じました。
- ・あまり現実味がない数式は避けてほしい。
- ・問3の正答率が低かったが、これくらいの難易度の問題も混じっていてもいいと思う。
- ・問3が良問だった。
- ・3は良い。(MOD に対するヒントが問題文にもあればなおよかった)
- ・問3のような使い方をすることがあるか、疑問である。
- ・問5の OFFSET の問題が易しめであった。②(引数として他の選択肢にはならない)

【7】について

- ・利用者側の立場でも、保守側の立場でも、よい事例となる問題だと感じた。
- ・あまり現実味がない数式は避けてほしい。
- ・問題にあるシートや問5のシートが小さくて見づらい。また、作成条件・作業手順の文字も小さい。できれば、条件や手順を少なくして、もう少し大きな文字にしてほしい。
- ・作成条件と作成手順を読めば解けるような良問だった。
- ・比較的易しめに作られている部分があったと思う。
- ・似たような題材が過去にあったように思いました。&の使い方を問うのは良かったと思いますが、50で割るのかどうかの判断が少しわかりにくいのではないかと感じた。満点賞防止問題であればやむなしですが。
- ・問1と問4は、正解の関数の引数さえ理解していれば、それだけで解答群から正解を選べるような気がします。
- ・問1は a の LEN だけわかればできてしまうので、abc それぞれ選択させるほうがよかった。

(2) 第2級について

	5	4	3	2	1
【1】	111	139	177	0	0
【2】	113	134	179	0	0
【3】	108	136	181	1	1
【4】	108	141	175	1	1
【5】	99	147	180	2	0
【6】	107	135	181	2	0
【実技】	112	137	172	4	0
【全般】	105	145	206	0	0

ア. 筆記

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・基本的、標準的な問題であった。
- ・取り組みやすい問題であった。
- ・もう少し思考させる問題があってもよい。
- ・苦手な大問があっても、基本的な用語でカバーできる問題であったと思いました。
- ・考えて解かせる問題を苦手とする生徒が多くいた。
- ・知識が定着していれば高得点を狙える良問でした。

【1】～【3】について

- ・用語問題も現代の情報社会に必要な語句が問われるようになり、過去の傾向にも即しながら出題されており、良かった。
- ・2進数、10進数以外の計算が出題されなかったのも、一問くらいの出題はあっても良かったと思う。
- ・用語問題のレベルは適切であり、良問であった。
- ・仮想表の概念を理解できていなくても解答は可能だが2級の問題としては難解であった。

【4】について

- ・9つの選択肢から小問ごとに3つの選択肢となり、ありがたかった。
- ・SQLについて、問題が見やすくなってよかったです。

【5】について

- ・多少考えさせられる問題でした。
- ・問2の正答率が低かった。
- ・WEEKDAY関数は、問題集での取り扱いが少ない分、困惑した生徒が多く正答率が高くなかった。
- ・各関数の活用をただしく理解できていなければ解くことのできない問題であり、正答率が低かった。
- ・条件が1つしかないのにIFS関数を使用する必要がないのではないのでしょうか。

【6】について

- ・難易度が高かった。(多数)
- ・応用が必要であり、良問であった。(多数)
- ・1級の出題でみられた感じが2級に降りてきた感じがする。

イ. 実技

【全般】について

- ・適当、適切であった。(多数)
- ・全体的に易しかった。難易度が低かった。
- ・文字入力 of 採点が多い。
- ・2級ならではの関数をきちんと理解しておけば十分合格点に達する良問であった。
- ・ほぼ例年どおりの難易度であったと思うが、条件付き関数が多く感じる。
- ・もっと採点箇所が厳しめでもよい。

【表】について

- ・端数処理の関数や入れ子も少なく、ほとんどの生徒が合格点以上の点数を取っている。
- ・INDEX関数やMATCH関数を活用する問題が出題されてもよかったかもしれません。
- ・四捨五入、切り上げ、切り捨てがあってもよかった。

【グラフ】について

- ・グラフ作成の内容は非常に良かった。
- ・縦棒グラフと折れ線グラフが重なっており、良問だと思います。
- ・データを追加しなければグラフができないような問題もありだと思ふ。

(3) 第3級について

	5	4	3	2	1
【1】	125	114	154	0	0
【2】	120	117	156	0	0
【3】	119	115	158	1	0
【4】	123	111	159	0	0
【5】	122	114	157	0	6
【6】	120	123	147	4	6
【7】	114	109	149	1	6
【実技】	113	105	149	3	0
【全般】	111	120	158	2	0

ア. 筆記

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・3級の出題範囲からすると、難易度は適切でバランスが取れている。(多数)
- ・出題内容・量ともに試験時間内で回答することができる適切な問題であった。(多数)
- ・奨励級であることを念頭において作問してください。
- ・総じて勉強をしっかりとすれば、十分に解答でき、また解答してほしい内容、レベルの問題でした。
- ・学習の導入部分の検定試験として、情報処理の学習意欲を高めれる問題だったと思います。
- ・新分野の流れ図も基本的なトレース問題であり、勉強した生徒がきちんと報われる良問だった。
- ・本校生徒も例年に比べ、合格率が高かったように感じる。
- ・問題文の読解力が低いと難しいと感じる生徒もいると思う。
- ・例年と同じような難易度であり、良いと思う。
- ・全体的に網羅され、取り組みやすい内容だったと思う。
- ・新しい範囲の出題もあったが、全般的に適切な問題であった。

【1】～【3】について

- ・もう少し難易度があっても良いのではと思いました。
- ・【1】の正答率が悪かった。
- ・今後も時代に即した新しい用語等を取り入れてほしい。
- ・【3】3のBluetoothについて、「100m程度まで」と距離が書いてあったが、日本ではこのような距離で使用することがないので「Class 1」などの表記を使って説明した方が良かったのではないかと。

【4】について

- ・問2の選択肢が見やすくなった。

【5】について

- ・グラフから情報を読み取る問題が良かった。

【6】について

- ・良問であった(多数)
- ・流れ図に関して心配していました。
- ・トレース問題の難易度も丁度よく、新出題範囲の初回検定としては適切な問題だったと思います。
- ・複雑な計算が入るループや、分岐ではない与式に数値を代入する基本的な流れ図であったので、しっかり対策をしていれば得点となる良問でした。
- ・トレースの問題は分岐または繰り返しを入れた方がよい。
- ・アルゴリズムの問題については、変数の知識がなくても解けるような問題であったように思います。
- ・次回以降も流れ図の問題は、今回のレベルのものを出题していただくとよいです。
- ・制限時間の関係もあり、あまり複雑にするわけにも行かないであろうが、データが変わるだけで、解答箇所が同じではあまり意味がないのではないかと考えた。
- ・トレースの問題がもう少し難しくても良いかと思った。
- ・良問であった。新分野の流れ図も基本的なトレース問題であり、勉強した生徒がきちんと報われる良問だった。
- ・問2は必要なのか？
- ・総じて勉強をしっかりとすれば、十分に解答でき、また解答してほしい内容、レベルの問題でした。
- ・アルゴリズムの出題を増やしていくと良いと思います。
- ・流れ図の問題、生徒たちはよく解けていました。
- ・スムーズに解ける良問でした。
- ・フローチャートの出題は増やすべきである。
- ・流れ図の問題も制限時間がある中では適切であると感じた。
- ・新範囲のトレースも基礎的な内容であり、奨励級として非常に良い。
- ・トレース問題もちょうどよい時間で解けるので難易度としては大変良いと思う。

【7】について

- ・もう少し難易度があっても良いのではと思いました。
- ・問1で③と④の順番を勘違いしている生徒が数名いた。

イ. 実技

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・適切な問題であった。(多数)
- ・やや取り組みやすい内容だったが、3級の出題としては適当であった。
- ・従来通りの出題で多くの生徒が高得点をとることができる良問でした。
- ・ちょうど良い難易度でした。
- ・基礎・基本を問う良問。
- ・3級は奨励級だからと言えませんが、何に重きを置いているのかが不明である。
- ・やや平易な印象があるが、それだけに100点を取ることに意味のある問題だと感じる。上級を目指すためには、基本を身に付け、全問正解できたという経験により、自信をもって次のステップに進める良い問題である。
- ・難易度としては易しい問題だと感じた。
- ・20分という時間を考えればこのくらいの問題で良かったと思う。2つの設題の表さえしっかりできていれば、グラフも比較的作成しやすいものになっている感があります。この時期の3級ということを考えれば、良い問題だったのではないのでしょうか。
- ・基本操作を重視した傾向であった。
- ・知識だけでなく、入力速度も求められる部分もあり、良問であった。
- ・入力量をもう少し多くしてもよいかと感じました。
- ・実技問題を通じて、表計算をはじめ、生徒の思考力を高める問題で良かったと思います。
- ・実技試験と同様のグラフで作成された「審査上の注意事項」があるとよいと思いました。
- ・IFと割合の式は出した方がよいと思います。
- ・総じて勉強をしっかりしておれば、十分に解答でき、また解答してほしい内容、レベルの問題でした。
- ・実技の採点箇所について、コンマの採点及び罫線の採点箇所を全てにしてはどうか。
- ・出力結果だけで採点になるけれども、関数の利用(端数処理やソート)を問う問題が加わればと思った。
- ・3級は基礎・基本の知識・技術が身につけていればよいと思うので、グラフは1つにしてほしいです。
- ・絶対参照を必要とするような割り算などの関数を入れた問題でも、良いと思った。
- ・ボリューム・内容とも適切な問題であった。
- ・例年と同じような難易度であり、良いと思う。
- ・来年度もこのようなバランスのとれた出題をお願いしたい。

【表】について

- ・IF文の設定は残すべき。文字を打つだけの審査より、式や関数によって出力される場所に採点項目を設けたいところです。
- ・RANK関数の採点箇所を複数指定したほうがよいのではないか。
- ・平易でよかった。ただし、四捨五入などの端数処理や並べ替えが入っても良かったのではないかと考える。
- ・IF関数が出題されていないのは初めてのように入ります。必修だと考えていました。
- ・見出しの空白の有無がわからなかった。
- ・【2. コース別集計表】
↑空白があるように見えてしまう。(2級も同様)
- ・IF文が出題されなかったのは、受験生にとってラッキーだった。
- ・罫線の採点箇所は1の表の方が良い。
- ・2つ目の表の「2. ~」を忘れてしまう人が数名いた。

【グラフ】について

- ・グラフの1つは、円グラフ・レーダーチャートなど要素の違うものを入れた方がよいと思う。

6. 検定問題等に対する意見・要望

【第68回（1月実施）に関して】

(1) 第1級について

	5	4	3	2	1
【1】	133	124	180	0	0
【2】	136	120	179	0	0
【3】	135	124	173	5	0
【4】	134	123	176	3	0
【5】	130	127	178	1	0
【6】	122	123	188	3	1
【7】	124	119	187	8	0
【全般】	133	130	191	2	0

【全般】について

- ・良問である。（多数）
- ・全体的に基本的な問題が出題されていて、解きやすかった。
- ・努力の成果が出やすく、良い問題である。
- ・基本から応用までよく網羅された良問だと思われる。
- ・関数の記述を間違っているものが多かった。
- ・全体的にバランスの良い出題であった。生徒の戸惑いそうな出題ではなかった。
- ・適切な難易度であり、良問である。次回以降も同程度の難易度を維持していただきたいと思う。
- ・検定基準の範囲内で、知識の定着を程よく問うていると同時に思考力を試す問いも随所に散りばめられており、全体的にバランスが取れた問題であった。
- ・シンプルな問題が多く、次回以降も複雑にするのではなく、今回のようにお願いします。
- ・しっかりと知識を深めていけば答えられる内容となっており、難易度が例年よりも若干低いとも感じたが、高校生が受験する内容としては妥当だと感じた。
- ・検定試験の範囲が改訂となり、特に1級は難易度として、どこを目指すのが正直把握できず、指導にも苦戦している部分もある。
- ・検定基準をふまえ、バランス良く出題されていた。関数の記述問題も1級で学ぶものとなっており、良問であった。
- ・これまでの1級よりも若干簡単な印象も受けたが、生徒のモチベーションを考えると、今後もこの程度の難易度を継続してほしい。
- ・教科書や問題集の内容をしっかりと理解するなど、学習に対してコツコツ頑張る生徒にとってはとても良い問題であったと思う。
- ・今後とも、「難度を上げるためにビジネスとして非

現実的な状況設定をした出題」がなされないことを希望する。

- ・出題に関しては、実務でも利用できるような、生徒たちに役立つことを考えた出題をお願いしたい。
- ・プログラムと比べて、難しすぎるのではないかな。（問題が独特）
- ・実技試験がなくなり筆記試験のみとなっているにもかかわらず、検定料金が高額となっています。もう少し、価格を下げることはできないのでしょうか。1級の難易度が年々高くなっているように感じます。ITパスポートレベルまで引き上げていくのでしょうか。
- ・OFFSET 関数が67回に続き2回連続の出題となったが、特別な意図があるのか。

【1】～【3】について

- ・古い用語は出さなくてもいいのではないかな。
- ・工数の問いの対策をしていたので、新しいからといって出ると決まっているわけではないと実感した。
- ・【1】【2】は、新しい分野も取り入れてあり、良かったと思う。
- ・【1】【2】の語句問題はきちんと語句の内容を理解していれば解きやすい。
- ・【1】選択群を、ア～コの10択に変更できないか。
- ・【1】1. 解答群 ケ の専有ロックは、問題集には占有ロックと記載されているものが多く、迷った生徒が多かった。
- ・【1】（2）の誤答者が多かった。
- ・【1】問2正解はDHCPだが、問題文にOSI参照モデルも登場しており、考えさせる面でも素晴らしい良問である。
- ・正答とは関係ないが、問題文や解答群におかしな点がある。【2】<B群>ウ.の表現がおかしい。
ぜい弱性のある入力フォームや掲示板などに、攻撃者が悪意のある別のWebサイトに誘導し、サイト訪問者の個人情報などを搾取するための攻撃。
ぜい弱性のある入力フォームや掲示板などに、攻撃者が悪意のあるコード（スクリプト）を仕込んで（仕掛けて）別のWebサイトに誘導し、サイト訪問者の個人情報などを搾取するための攻撃。ではないか。
- ・【3】2. ブロードキャストアドレスの正答率が低かった。
- ・【3】2. の一文が長く、読みづらい、分かりづらい。
- ・【3】の4はこのような問題が1問あってもよいと思った。良い問題であった。
- ・【3】の4に関して計算が複雑である。計算量が多

すぎるという意見（多数）

【4】について

- ・オーソドックスで大変解きやすい。
- ・やや難しい。その他は適当なレベルの問題であった。
- ・問2 とても良い。
- ・問3については、思考力が問われる問題で特に良問であったと感じる。
- ・問3 アローダイアグラムの問題が良問でした。クリティカルパスだけを問うものから、もう一段階上の難易度になっていて良かったです。（多数）
- ・問3 あと何日の遅れかを求めることが読み取れていない生徒が多かったです。
- ・問4 グラフ名称とグラフの組み合わせが正しいものが1つしかなく、問題文の意味が分からなくても、グラフ名を理解していれば正答が導き出してしまう。目的に適切なグラフを問うているのか、グラフ名とグラフの正しい組み合わせを問うているのが疑問である。（多数）

【5】について

- ・良問であった。
- ・少し簡単であった。
- ・SQLの構文を理解しておれば、全体的に解きやすかったと思う。
- ・データベースに関する問題が、基本的なことを問う問題だけだったため、具体的な条件などを記述させる問題があってもよかったと思います。
- ・問1は切り口がいつもと違い良い問題。
- ・問1 受注表の受注コードを主キーとするなら、受注コードの末尾を連番にした方が良いのではないかと。（オートナンバー）
- ・問4 HAVINGのインデントが違うのではないかと。

【6】について

- ・難問である。関数の組み合わせに実用性を感じない。
- ・ソルバーの問題が最近連続して出題されている
- ・【6】関数を答える問題が2問だったが、関数を答える問題1問、表示される値を答える問題を1問にしてはどうか。問いのバリエーションが増えると思う。
- ・問1 この分析でMODEを使う必要があるのか。（300円ショップの平均アイテム数は3～4個）
- ・【6】は、問1問2問5の易しさと、問3問4の難しさの差が激しいが、全体として70点を取るには適切である。
- ・問4 実務でこのような関数の使い方はしないと思う。

- ・問4の解答がとても難しい。番号と名前を列の場所から算出させる式はとても難しい。COLUMN（）とCOLUMN（D1）の引数ありとなしを使う理解はとても難しい。
- ・問4 ROW関数と誤って解答した生徒が多かった。
- ・問4 については問題のための問題である。
- ・【6】問4、説明が問題文や作成手順に不足している。
- ・【6】の問4引数などから予測することはできるが、両問とも何をやりたいのかわかりづらい。特に問4は他にもシンプルな方法があると思われるので疑問を感じる。
- ・問4が難解であるが、理解できないということはなく、他の問題についてはきちんと対策しておけば答えやすかったように思う。

【7】について

- ・バランスの良い問題だったと思います。ちょうど良い難易度でした。
- ・出題について、もう少しシンプルにしてください。関数の入れ子をもう少し少なくしてほしい。
- ・授業で扱うのもかなりの工夫が必要。簿記検定が2級から特殊仕訳帳を除いたように、情報処理検定もITパスポート試験などを視野に入れてエクセルの問題を外していく方向で検討していただきたい。
- ・少し易しく感じたが、長文問題を敬遠する生徒も多いため、【6】よりも大幅に易しく、生徒が積極的に解こうと思える位が適切である。
- ・問題が難しすぎる。なおかつ、実際にイメージしにくいような出題となっているため、もう少し実用的な内容で出題できると良いと感じた。
- ・関数の理解度と応用能力がないと解くことができないと思う。
- ・シートの数とデータ量が適当である
- ・丁寧な説明文に加え、図（表）もわかりやすく、受験者が理解しやすいように配慮がされている。
- ・問1作成手順にヒントがありすぎの気がしました。
- ・OFFSETは、あまり使用しない関数であるが、1級の問題として考えると良問である。
- ・シート名「商品表」の使用学校番号の数字の間にスペースが入っている表記であればよかったと思います。問2の式を読むと、スペースが入っていることを指し示す部分はありますが、作成手順にスペースが入って半角で入力してある旨の表記があればわかりやすかったと思いました。
- ・問2の正解を導き出せる解答が少なかった。
- ・問2が新出題範囲の「OFFSET」を答えさせ難解だが、

ほかの問は解きやすく良問だったと思います。

- ・問2 INDEXとOFFSETの入れ子は、考え方が理解できない生徒には難しい問題であったが、深い知識を求められる良い問題であった。
 - ・問2 OFFSETについては難易度は難しいと思う。正答率も良くなかった。指導する側も教材研究をしっかりと行う必要があると感じた。
 - ・問2 OFFSET 関数を問うものは該当のセルで行っている処理が複雑になってしまう反面、引数を確認すると簡単に分かってしまうところが今後の課題のように思える。
 - ・問2の関数名は引数の数で判断できるが、OFFSET関数自体の理解はとても難しい。
 - ・問2がやや強引な印象。シート名「商品表」の構造自体に無理があるように感じました。商品数が増えることを想定していない造りになっていますし、使用学校番号を同一セルに入れるのもイマイチだと思います。
 - ・問2のOFFSETを書かせる問題は、いつもと問われ方が違っていたので、問題集の練習問題を解いただけでは難しく感じた生徒もいるのではないかと思う。
 - ・問2のOFFSETの問題は新範囲で問題にも慣れていないため、できればまだ記号で選択する形式で出題して欲しかった
 - ・問3は考えさせる問題で良い。
 - ・OFFSET 関数については、前回から急激に難易度が上がったので、もう少し段階的でも良いと感じた。それ以外は良問であった。
 - ・問3 条件に「シューズケースごとに名入れ料金がかかる」との説明があった方が良かった。
 - ・正答とは関係ないが、問題文や解答群におかしな点がある。作成手順(10)
 - G18は、C9とB14をもとに、シート名「商品表」を参照し、「商品コード」を表示する。
 - G18は、C9をもとに、シート名「商品表」を参照し、「商品コード」を表示する。
 - シューズケースの範囲商品表の15～17行目だけなので、範囲を固定する場合
- (または) G18は、C9とB18をもとに、シート名「商品表」を参照し、「商品コード」を表示する。ではないか。G14のように、B18を検索値として範囲を求める場合、いずれにせよ、G18を求めるためにB14を使うことはない。

(2) 第2級について

	5	4	3	2	1
【1】	165	127	227	0	0
【2】	175	128	223	1	0
【3】	168	135	224	0	0
【4】	167	135	225	0	0
【5】	148	143	231	4	0
【6】	159	138	225	1	0
【実技】	169	133	219	6	0
【全般】	163	158	220	1	0

ア. 筆記

【全般】について

- ・良問であった。適切な難易度であった。(多数)
- ・易しかった。
- ・難しかった。難易度が高かった。
- ・身につけておきたい基本的な知識が問われていてよいと思います。
- ・関数の仕組みを問う問題としては良いが、実務で活用できるかは疑問を感じる問題である。

【1】～【3】について

- ・今後も今回のような出題が望ましい。
- ・新しい用語に変わりつつあり良かった。
- ・解答で「ケ」と「ク」をきっちり書けない生徒がいるので選択肢から外してほしい。
- ・【3】5. 仮想表のレコード件数を求める問いが目新しかった。

【4】について

- ・良問であった。(多数)
- ・学習内容が身につけているかを問う良問だったと思います。
- ・SQL について、問題が見やすくなってよかったです。

【5】について

- ・INT 関数と MOD 関数の組み合わせ問題は、2 級にしては難易度が高かった。
- ・2 以上の関数の組み合わせであり、能力を問う問題になっている。1 問程度は基本的な問題があってもよかった。
- ・問4はワイルドカードの問題でやや難解であった。
- ・分析機能の名前を問う問題は、操作機能名を知っているかどうかを問う問題で易しすぎる。

【6】について

- ・1 級を見据えた良問である。
- ・MATCH 関数と LARGE 関数の組み合わせが難しかった。
- ・全問正解が多かったため、難易度を上げてよかったと思います。
- ・解答群に関数と範囲が重なった部分を見つけて選択すると正解できてしまう。
- ・INDEX 関数を用いているが、検索範囲が1列のみで、引数として示してある MATCH 関数の部分が行番号、1 が列番号ということがわかりづらく、2 級としては難解であった。

イ. 実技

【全般】について

- ・適当・適切であった。(多数)
- ・2 級ならではの関数をきちんと理解しておけば十分合格点に達する良問であった。今後もこの水準の出題でお願いしたい。
- ・一つ目の表を完成させるとグラフに取りかかれるので、生徒は取り組みやすかったと思います。

【表】について

- ・割合の求め方が文章で記述してあっても良いのではないか。
- ・売上表、店舗表二つの表を参照にする良い問題であったと思います。
- ・「客単価」を「客単位」と間違える生徒が多くいた。
- ・2 つめの表はすこしボリュームがあると感じた。
- ・切り上げ、備考ができていない者が多かった。
- ・複雑な関数等を利用して作成することを問う問題であり、良問であった。

【グラフ】について

- ・例年であれば冬の試験では帯グラフの軸反転が出題される傾向にあり、今回の組み合わせグラフ出題は意外であった。
- ・グラフの採点基準を明確にしてほしい。

(3) 第3級について

	5	4	3	2	1
【1】	151	101	164	0	0
【2】	151	102	163	0	0
【3】	151	102	163	0	0
【4】	155	96	164	1	0
【5】	151	99	165	1	0
【6】	148	104	162	1	1
【7】	155	96	164	1	0
【実技】	144	95	166	8	0
【全般】	162	109	165	2	0

ア. 筆記

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・標準的な問題であった。(多数)
- ・妥当な問題であった。
- ・出題範囲を網羅した良い問題であった。
- ・解きやすくて良かった。
- ・例年通りの難易度でした。
- ・基本的な知識，理解を問う内容であり，適切であった。
- ・入門にはちょうど良いと思う。
- ・【5】【6】は，やや難しい。その他は適当なレベルの問題であった。
- ・【6】と【7】が簡単すぎではないか。特に【6】。奨励級といえども，もう少し難しくてもよい。
- ・新しい出題形式になったが，普通科高校でも安心して受験できる内容でした。
- ・難問があまりなく，良い問題だった。
- ・例年と比べて少し易しかったような印象。
- ・もう少し考えさせる問題があってもよい。
- ・新検定から新しく出題範囲となった流れ図の問題もよく問題を読むことで解答できる問題であり，より点数が取りやすい試験となったと感じる。
- ・RIGHT, LEFT, MIDはVALUEと一緒に出題してほしい。
- ・問題の数をこなしていれば解答できるレベルの問題が多く，問題はありませんでした。
- ・一部の生徒が【5】の問1の「 \wedge 」の記号の意味が分からなかったと言っていました，学生たちの勉強不足です。
- ・通常授業の学習だけでなく自主勉強の量によって合否の差が出たと考えられる。
- ・出題範囲が今年度から変わったが大多数は対応できた。

【1】～【3】について

- ・【1】3,5の間違が多かった。
- ・【2】4の誤答が多かった。
- ・【1】【2】の用語の間違いが目立った。

【4】について

特にご意見はありませんでした。

【5】について

- ・誤答が多かった問題と誤答例
問1. 50 200
- ・問1. 1の誤答が多かった。
- ・問1. 少し難易度が高かった。
- ・レーダーチャートがわかりにくい。
- ・問2(1) レーダーチャートなら折れ線を選択群に入れたほうが良い。
- ・【5】問2について，「おでん専門店」は高校生にとってあまり馴染みがないと思われるので，もう少し馴染みがあるものの方が良いのではないのでしょうか。

【6】について

- ・トレースに関する問題も適切であった。
- ・第6問流れ図の問題は，試験範囲が変更となつてから2回目の出題でしたが，複雑な計算が入るループや，分岐ではない与式に数値を代入する基本的な流れ図であったので，しっかり対策をしていれば得点となる良問でした。
- ・流れ図の問題においてループが無く，生徒が対応しやすかった。
- ・本校の学力レベルでは，難しい問題であった。
- ・流れ図問題が初めてであったが，とりあえず初歩的な問題でよかった。
- ・流れ図はそろそろループを使用したトレースにしてもよいかと思えます。
- ・概ね良問であった。流れ図がもう少し難易度を高くしてもよいのではないか。
- ・「繰り返し」か「選択」があったほうが良い。
- ・トレースにも慣れ始めていたので，割と答えやすかったように感じる。
- ・流れ図の問題が入り，生徒がプログラミングの基本が分かっているのかがわかる問題となったため良かった。
- ・前回(第67回)から出題範囲の，「流れ図」についても，要領をつかめて，よくできていた。

【7】について

特にご意見はありませんでした。

イ. 実技

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・標準的な問題であった。(多数)
- ・妥当な問題であった。
- ・誤答，できない者が多かった項目
「20代の購入理由」グラフのコンマ
「世代別の食べる頻度」表のコンマ
- ・難易度が適切な良問であると思われる。
- ・基本的な知識，理解を問う内容であり，適切であった。
- ・従来通りの出題で多くの生徒が高得点をとることができる良問でした。
- ・指導している立場としてはありがたいのですが，少し易しすぎるかもしれない。割合か平均に端数処理を入れるか，IF文が入っていると少し難しくなり，良い難易度に落ち着くと思った。もしくは，採点箇所でも積み上げグラフの数値軸のメモリや凡例の位置を入れる等も考えられる。
- ・情報処理に関する表計算アプリケーションの基礎基本を問う問題であり，良問であった。
- ・採点箇所の意図が理解できない。
- ・「頻」という漢字は少々難易度が高いと感じた。
- ・表の作成もグラフの作成も，適度な難易度である。作業量もちょうどよい。
- ・実技試験の計測方法をビジネス文書実務検定試験と同様に，「残り時間〇分」と統一していただきたい。
- ・3級とはいえ，入力するだけで得点になる採点箇所が多いと感じました。円グラフなら切り離しは必要と感じました。入力よりも関数を増やしてよいのではないかと思います。
- ・日付(TODAY関数)を出題したので，採点箇所にして欲しい。
- ・解答用紙のどこかに「罫線」「カンマ」の採点箇所をあらかじめ印字しておいてほしいです。
- ・2種類のグラフ作成の難易度はちょうど良かった。
- ・作成条件の4がH1セルへの入力であったが，A1セルに試験場校名と受験番号を入力させているので，解答として使用させるセルは1行目を避けた方がよいのではないと思われる。
- ・TODAY関数が出題され，IF関数がないことで生徒の混乱を招いていた。(しかも採点箇所でもないのであれば，IFや関数の入れ子の方が望ましい。)
- ・IF関数を使うことがなかったので，生徒は解きやすかった。
- ・教科情報を学ぶ生徒にとっては導入に最適な問題かと思う。
- ・TODAY()の利用や100%積み上げ横棒は新しいと感じた。
- ・当然ですが実技の練習が不足している生徒は，かなり苦勞しておりましたので今後指導したい。
- ・IF文が出題されなくなり，基本的な関数のみ出題となったが，本校では入学して半月で3級の全員合格を目指す為，最初のステップで生徒がつまづきにくい出題内容となって有難い。
- ・作成する量が多く，2級に比べ時間がかかる問題である。
- ・表の作成で，合計，最大，最小，平均等は，よくできていた。週1回未満割合で，少し間違いがあった。
- ・採点箇所ではないが，作成条件4の処理をしていない生徒が多かった。次回以降採点箇所に入らなければ，注意して指導する必要があると感じた。
- ・H1の本日の日付入力を見逃していた生徒が多かった。気づいていても，入力するのか分からず入力しなかった生徒もいた。作成条件をきちんと読むことを再度指導したい。
- ・今年度の検定で2回ともIF関数がなかった。3級の基礎的な内容としては，どこかで入れた方がいい大切な関数だと思います。
- ・データラベルや表示の数値が小数点であることなど，良問であった。
- ・日付の入力ができていない生徒が多かった。今までにこういう問題は実技で出題されていないため，検定当日の日付が印刷されているという認識で，問題だと気付いていないのだろう。
- ・実務的には作成日が書かれるので良いと思うが，過去問題を解いたときに一律の日付が表示されないので検討していただきたい。
- ・3級の基礎となる関数を使った問題で生徒の8割は合格点であった。
- ・Excelの基本操作が身についているかを問う良問でした。
- ・グラフの作成で問題集通りやっていくのは違っていて，必要な操作ができるか確認できる問題で良かった。

【表】について

- ・IFまたはRANKのいずれかの関数を入れてもらいたい。端数処理の関数を入れて難易度をもう少しあげてほしい。
- ・世代別の食べる頻度の表の値のほとんどが3桁なため，コンマを付け忘れる答案が目立った。
- ・検定範囲で学習する関数の種類に対して，検定で問われた関数が少ない。絶対参照が必要な計算を入れてほしい。

【グラフ】について

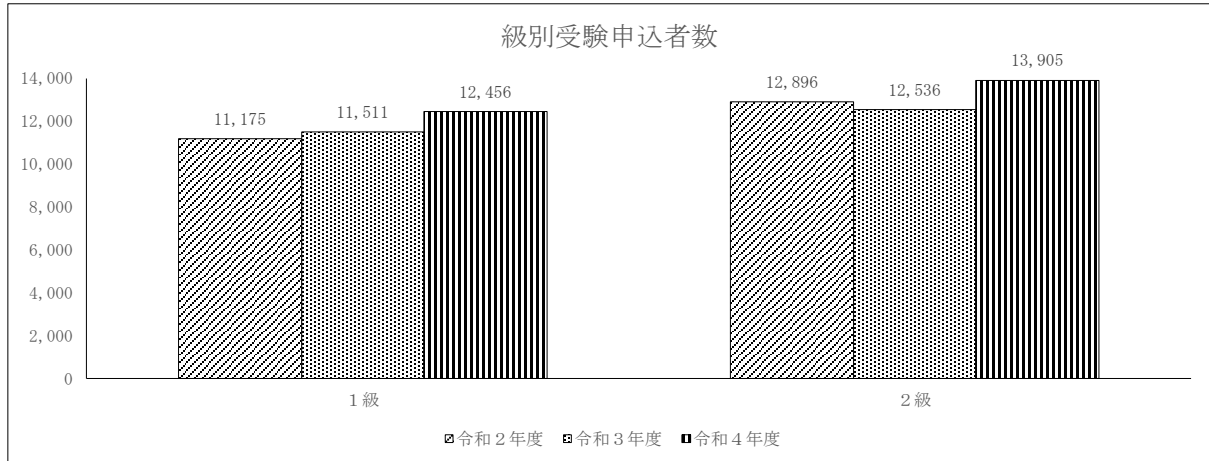
- ・切り離し円グラフの出題でも良かった。
- ・グラフの採点箇所「注4」は円グラフであることであるが、円グラフの形を作れることが、3級の力であるか疑問。切り離し円グラフであることや、グラフ要素が6つあることなど、日ごろの学習成果を採点できるような採点箇所にしていただきたい。
- ・採点基準の円グラフの箇所が分かりにくかった。生徒の学習の様子が結果に出ていたと考えている。

Ⅲ プログラミング部門

第67回情報処理検定試験は令和4年9月25日(日)、第68回情報処理検定試験は令和5年1月29日(日)に全国一斉に実施された。

1. 受験申込者数(過去3年間)

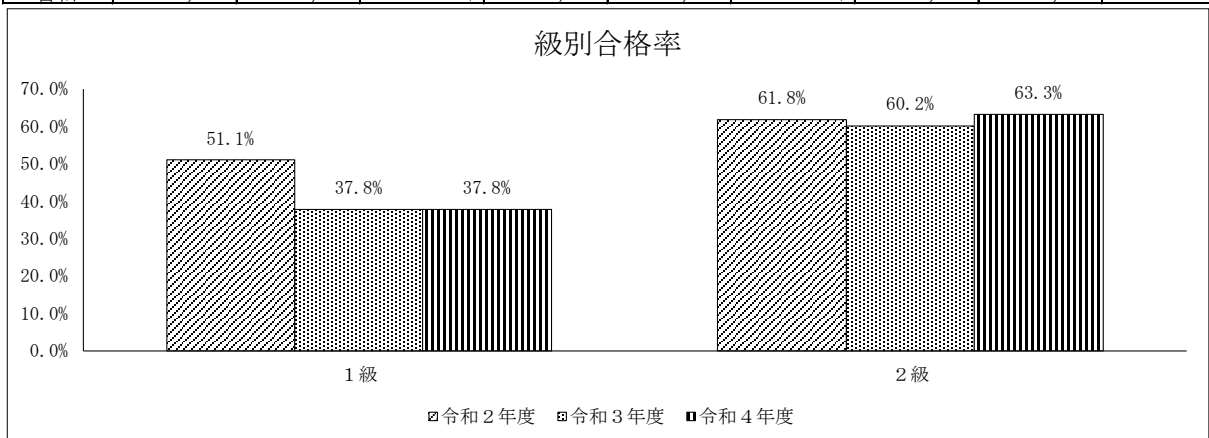
区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			増減率
	第63回	第64回	合計	第65回	第66回	合計	第67回	第68回	合計	
1級	3,845	7,330	11,175	3,981	7,530	11,511	4,506	7,950	12,456	8.2%
2級	5,257	7,639	12,896	5,924	6,612	12,536	5,993	7,912	13,905	10.9%
合計	9,102	14,969	24,071	9,905	14,142	24,047	10,499	15,862	26,361	9.6%



令和4年度の情報処理検定プログラミング部門の申込者数は、第1級12,456名、第2級13,905名、合計26,361名であった。令和3年度受験申込者数と比較すると第1級が約8.2%増、第2級が約10.9%増となった。今年度は、第1・2級合計で約9.6%増となり、プログラミング部門の受験申込者数は、2万6千人台となった。

2. 実受験者数および合格者数(過去3年間)

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	実受験者数	合格者数	合格率	実受験者数	合格者数	合格率	実受験者数	合格者数	合格率
1級	10,729	5,478	51.1%	10,837	4,092	37.8%	11,601	4,381	37.8%
2級	12,289	7,600	61.8%	11,514	6,930	60.2%	12,772	8,089	63.3%
合計	23,018	13,078	56.8%	22,351	11,022	49.3%	24,373	12,470	51.2%

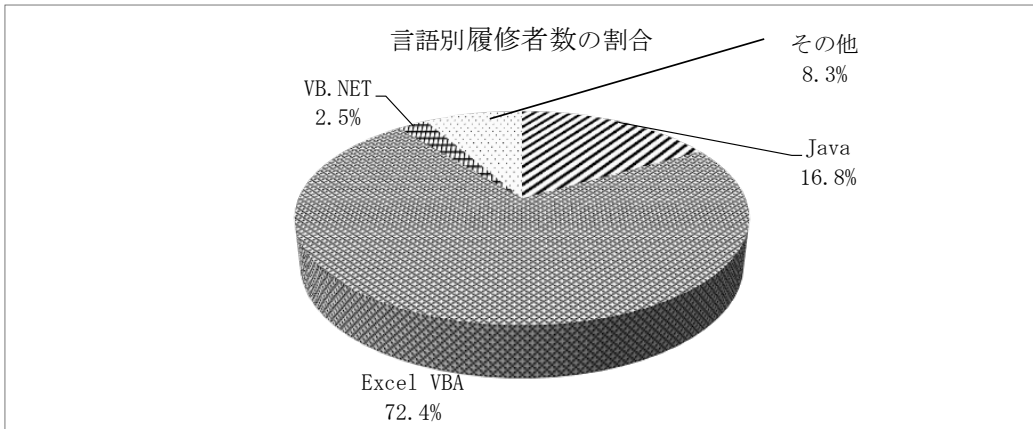


令和4年度の合格率は、第1級で約37.8%、第2級で約63.3%、第1・2級合計で約51.2%であった。令和3年度の合格率は、第1級で約37.8%、第2級で約60.2%、第1・2級合計で約49.3%であり、第1級、第2級ともにほぼ同様の合格率となった。

3. 言語学習の状況（言語別履修者数）

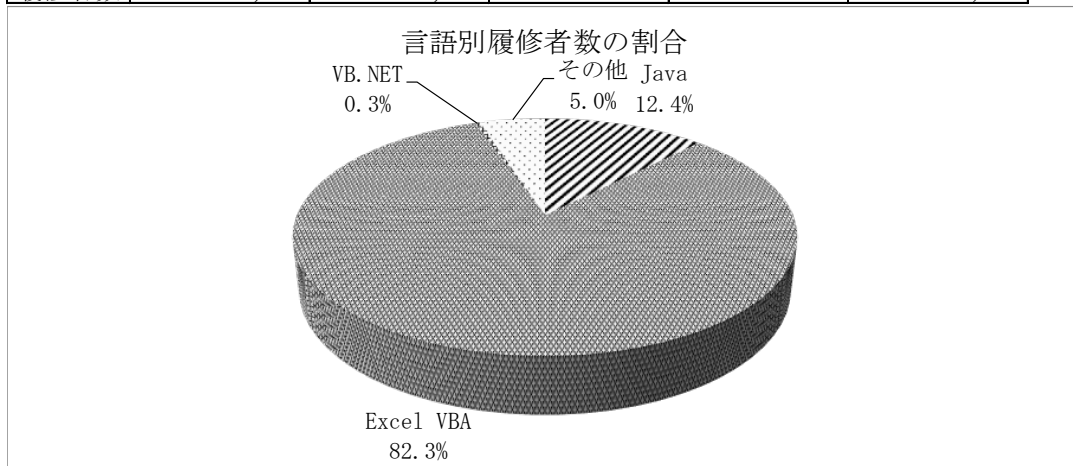
令和4年度（第67回）情報処理検定

言語	Java	Excel VBA	VB.NET	その他	合計
履修者数	2,756	11,904	414	1,368	16,442



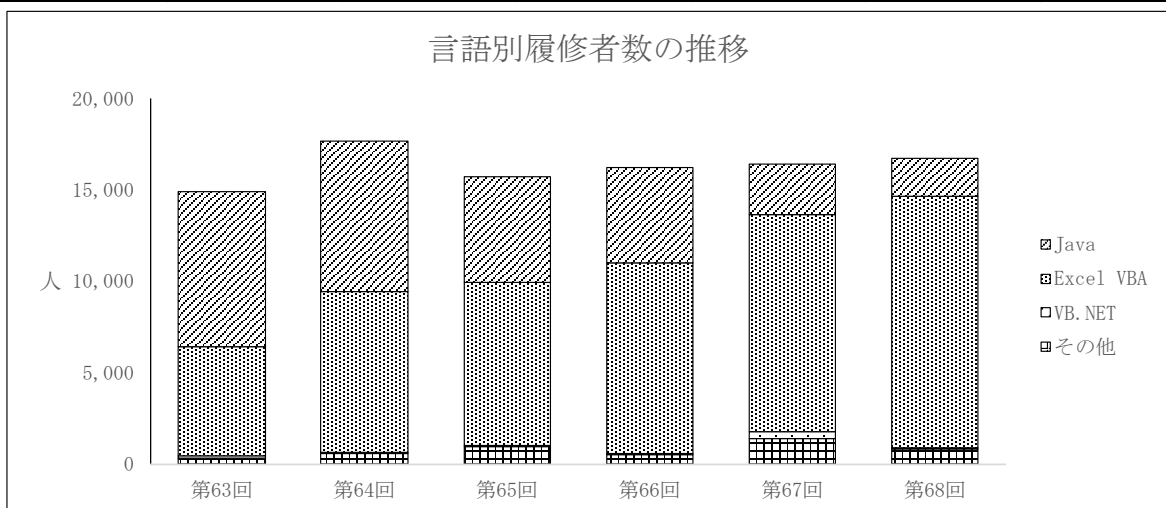
令和4年度（第68回）情報処理検定

言語	Java	Excel VBA	VB.NET	その他	合計
履修者数	2,070	13,776	55	841	16,742



過去3年間の言語別履修者数の推移

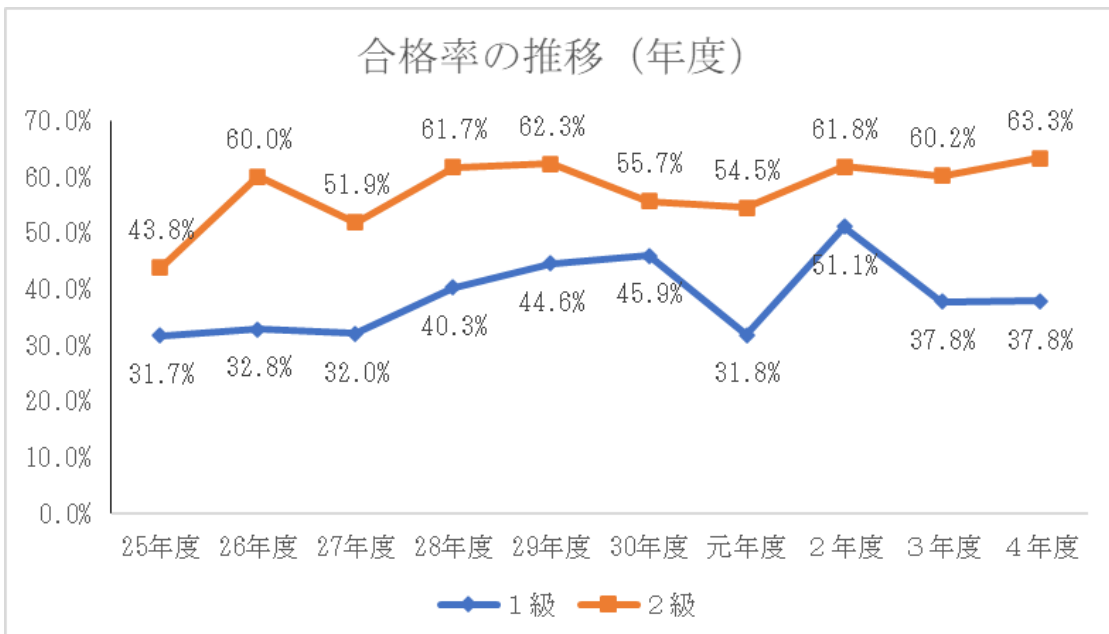
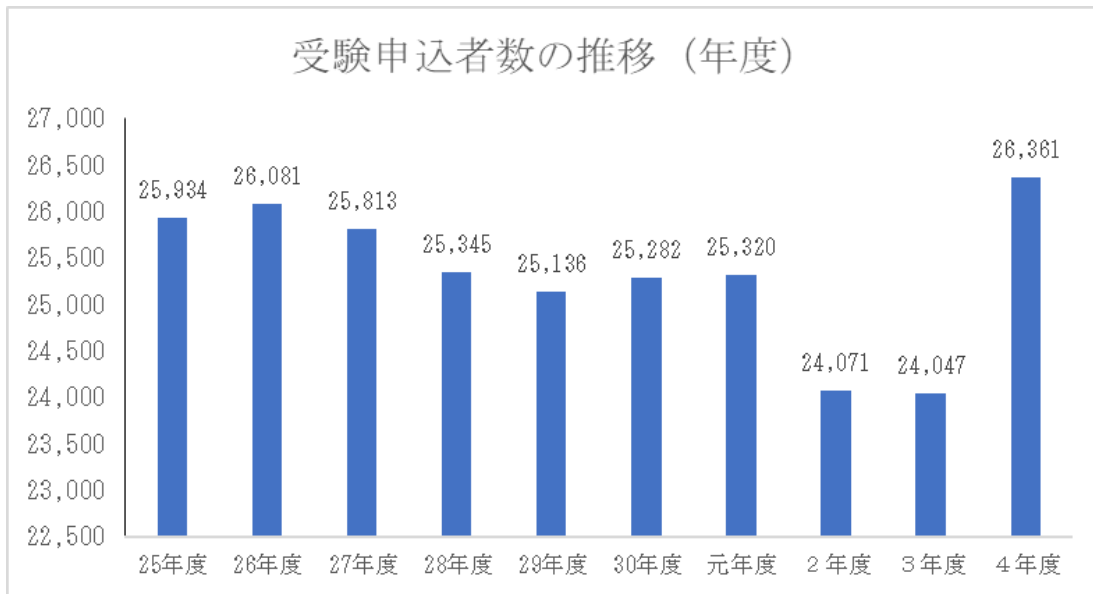
	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回
Java	8,478	8,194	5,782	5,235	2,756	2,070
Excel VBA	6,013	8,815	8,967	10,466	11,904	13,776
VB.NET	94	86	58	66	414	55
その他	346	556	939	498	1,368	841
合計	14,931	17,651	15,746	16,265	16,442	16,742



4. 過去10年間の推移

受験申込者数および合格率の推移

年度	1級		2級		受験申込者数合計
	申込者数	合格率	申込者数	合格率	
25年度	11,520	31.7%	14,414	43.8%	25,934
26年度	11,553	32.8%	14,528	60.0%	26,081
27年度	12,119	32.0%	13,694	51.9%	25,813
28年度	11,889	40.3%	13,456	61.7%	25,345
29年度	11,806	44.6%	13,330	62.3%	25,136
30年度	11,944	45.9%	13,338	55.7%	25,282
元年度	11,783	31.8%	13,537	54.5%	25,320
2年度	11,175	51.1%	12,896	61.8%	24,071
3年度	11,511	37.8%	12,536	60.2%	24,047
4年度	12,456	37.8%	13,905	63.3%	26,361



【第67回（9月実施）に関して】

(1) 第1級について

	5	4	3	2	1
【1】	63	86	90	0	0
【2】	64	84	91	0	0
【3】	62	84	91	2	0
【4】	61	87	87	4	0
【5】	61	84	92	2	0
【6】	57	89	92	1	0
【7】	54	87	92	5	1
【全般】	57	80	104	1	0

【全般】について

- ・良問であった。（多数）
- ・新たな出題傾向となり、きちんと学習に取り組んでいた生徒が点数を取りやすい問題になっていて、学習成果が見易い問題だったと思う。
- ・新しい形式での初めての検定であったが、難易度および出題の意図がわかりやすく、今後もこの難易度を保っていただきたい。
- ・従来は【5】がコントロールブレイク、【6】にソートなど出題がパターン化されていると感じていたところだが、今回出題パターンを外していたものの、きちんとアルゴリズムを理解してトレースしながら解いていけば十分合格点に達する良問ばかりであった。
- ・カウントダウンの線形探索等、大変出題者の工夫が感じられる出題であった。
- ・アルゴリズム問題は、処理内容を理解し、考えさせる問題で良問である。
- ・プログラミング部門全般について、【7】が流れ図問題になったことで受験者にとってみれば率直に解きやすくなったと思う。（多数）
- ・今の問題内容であれば、授業内での実習時間は減らしても大丈夫ではないかと感じている。全国で実習をしない学校が増えてしまうのではないかと懸念している。
- ・時間・分・秒や日付換算に関わる出題が少し多いように感じた。
- ・プログラムを記載していないので、添え字の多様化を減らす問題にしてもよいのではないか。

【1】～【3】について

- ・計算問題で新しい範囲を避けていただき、4～9月の期間で補いにくい部分の配慮をいただき有り難かった。
- ・16進数の値を8ビットの2進数に変換させた

うえに、2の補数表現をさせるのは難易度が高い。せめて10進数からの2の補数表現にとどめてほしかった。

【4】について

- ・難しすぎないように工夫が見られた。
- ・二分探索の上限・下限の再設定について、真の場合が適切に分かれればおのずと偽の場合が決まるので、真の場合を答えさせてもよかったのではないか。今回の出題については間違いを誘発させるような出題になっていたと思う。
- ・簡単すぎず熟考が必要な出題箇所だと感じた。
- ・下に余白が多いので、問題の配置が下でも良いと感じた。（多数）

【7】について

- ・番兵法を使用するとともに、Kco(0)にデータを置くことでエラーコードの出力を実現している。この探索方法を採用することで、データ件数が多くなった場合においても無駄な探索を避けメモリ消費を少なくすることにも留意している。データ件数を変数fからgに格納し、そこから戻って探索をしているという点に気づけた生徒は正解となっており、「パターンで解くだけでだめ」ということを指導するにはこの問題は適切である。非常に良い問題であった。
- ・16択からの選択問題となっており、非常に良いと思った。20択だと「シ」「ツ」の判別等、新たな困難が生じると危惧していた。
- ・入力エラーの講座コードを判別する過程が、考えさせる内容でとても良かった。しかし、配列の終端から添え字を-1しながら検索するアルゴリズムなので、処理を理解できていない生徒は、選択肢を間違っていた。
- ・配点を見直してほしい。1問5点は大きすぎる。（多数）
- ・流れ図ではなく、従来の言語に戻してほしい。
- ・記述にするべき。従来と難易度が違いすぎる。
- ・複雑にしたり、長くしたりすることで、勘で解くような問題にするのではなく、2つ3つの考えをしっかりと理解できる問題にし、考える力を身につけてほしいとか、出題者の意図を感じるような問題にしてほしいと考える。
- ・内容を盛り込みすぎに感じる。生徒が解いていて、どんなアルゴリズムを使っているのか、考えることができるだけの多少余裕がある問題を作って欲しいと考える。

(2) 第2級について

	5	4	3	2	1
【1】	67	74	82	0	0
【2】	67	74	82	0	0
【3】	69	72	82	0	0
【4】	65	73	83	2	0
【5】	68	75	79	1	0
【6】	65	72	83	3	0
【7】	58	73	75	6	2
【全般】	64	78	88	2	0

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・奇をてらった問題もなく、基本的な内容だった。
- ・2級の問題として適切な難易度に設定されており、良問であった。
- ・総じて勉強をしっかりとすれば、十分に解答でき、また解答してほしい内容、レベルの問題でした。
- ・基本アルゴリズムを理解していれば対応できるよい問題であると思います。
- ・1級同様、新たな出題傾向となり、きちんと学習に取り組んでいた生徒が点数を取りやすい問題になっていて、学習成果が見やすい問題だったと思います。
- ・【6】、【7】の流れ図の問題において、書き込みながら解くことができるように流れ図の左側の余白をもっと開けて欲しい。
- ・量が多いと感じた。

【1】～【3】について

- ・適切な問題だった

【4】について

- ・トレースする問題は、難しいが、プログラミングの検定問題としては能力を測る上で大変よい問題だと思います。
- ・(1)(2)を解くことで流れがすぐにつかめ、わかりやすいトレースであった。
- ・トレースは流れ図のほうが解きやすいと感じた。
- ・トレースが流れ図記号からコードに変更になったので目新しく新鮮だった。
- ・スイッチの切り替えは素直に出題すべきであった
- ・何か目的のあるアルゴリズムを解かせるので

はだめか。

- ・トレース問題の練習問題がなかったので、生徒は戸惑っていたと思われます。
- ・トレース値は導きやすいものの、最終的に何の結果を求めるためのプログラムなのかイメージがわきにくかった
- ・時間を要する上に、演算順のミスや大きな値の計算であり、トレースの理解力の前に計算能力のいる問題であった。
- ・ステップ数が多すぎるのでは。11で割るのは2級としては難しい問題だと感じた。

【5】について

- ・容易な問題であった。

【6】について

- ・標準的な問題であった。
- ・少し添字が多すぎると感じた。
- ・(2)分類番号を求める計算で変数はSoeではなく、BunやBunruiなどがわかりやすい。

【7】について

- ・コード記述から語群からの選択になり、生徒にとって解きやすくなっている。
- ・問題量、難易度ともに適切である。
- ・コード記述から記号問題になったが、取り組みやすかった。
- ・解答群が、もう少し多くても良いのでは。
- ・今回からコーディングから流れ図となり、解答群の選択肢を増やすような変更がされたが、コーディングの問題の方が指導しやすかったと感じる。処理条件と流れ図のボリュームが増えて、読み取る時間が取られるだけの印象であった。
- ・文字列を配列に格納する部分は生徒にはわかりづらかったのではないか。
- ・言語の記述がないのに、配点が高いと感じます。
- ・説明が多くテーブルが多いため、時間的に無理がある。
- ・「農業用水路」では、イメージが難しいと感じた。
- ・処理条件3の3番目は、文章が長く、読解力の乏しい者には読み解くことが難しい。短文での記述を望む。

【第68回（1月実施）に関して】

（1）第1級について

	5	4	3	2	1
【1】	81	83	131	0	0
【2】	81	84	120	1	0
【3】	75	84	124	0	0
【4】	75	85	125	0	0
【5】	74	79	127	5	1
【6】	63	78	130	11	1
【7】	63	80	132	8	1
【全般】	66	94	130	3	1

【全般】について

- ・全体的に良問。（多数）
- ・問題が簡単で良かった。（多数）
- ・1級の技法全般にわたり出題されていて良問であった。できれば【7】の配点の大きい問題に、並べ替えの挿入法ではなく、隣接交換法か選択法を出題してほしい。
- ・前回と比べ、【5】～【7】の問題の文章表記が多く、読解力を求められる問題である。
- ・【5】～【7】までの解答群に行間がほしい。
- ・60分で解くことは少し難しいと感じた。
- ・教科書などにある考え方とは異なっていたところなど通常よりも難しく感じた。今の問題体系ならば授業は実習の時間を減らし、座学でアルゴリズムと試験問題対策を増やした方が良いのかなと感じている。
- ・ポインタを使う配列操作を出題してもらえば良いと思うが、2題出題するのはどうかと思う。

【1】～【3】について

- ・新傾向も取り入れつつの作問が良い。
- ・基本から応用まで網羅された良問である。
- ・選択群を、ア～コの10択に変更できないか。
- ・【2】スタブについての記し方がITパスポートに近くなり、良いと思う。
- ・【3】1. は計算しなくても左シフトなので75より大きくなる。解答に75より大きな値が一つしかなかったため、解答を工夫した方が良い。
- ・【3】5. 答えが割り切れないので、問題文を「何日間必要か」などとすべきでは。
- ・【1】CAについて、実教出版の教科書では、「認証局（CA）」と記載されている。今回の問題は少しだけ不親切であった。

【4】について

- ・例年通りの内容で基本的なアルゴリズムが理解できていれば容易に答えられる内容だった。解答群も選びやすいものであった。
- ・言語学習をそれほど深めなくても解ける難易度だった。
- ・基本的な問題で良かったが、もう少し応用をきかせた問題も欲しい。
- ・問1. 文字列を並びかえるのは、直感的に分かりづらかった。

【5】について

- ・(1)配列Tenが集計と平均と、2つの目的で使用されている。配列の目的は1つで設定してもらいたい。
- ・難易度が高い。
- ・(1)が出題されるまで長い。集計の箇所が出題してもいいのではないかと。
- ・(4)解答群のエ、ケの選択部分でミスを誘導するような問題であった。普段からどのような順序で出力されるかを考えないと引っかかると感じた。

【6】について

- ・二分探索は、しっかり理解していないと解けない問題であり、良問であると考えている。
- ・易しすぎず難しすぎず良い難易度である。
- ・処理条件の説明と流れ図に相違がある。
- ・二分探索において、下限に0、上限に商品数+1を設定するのは止めていただきたい。
- ・4. 「プレーヤー番号ごと・・・商品名から判定までを第2図のように表示する。」→「売上金額の降順に」があった方が良い。

【7】について

- ・並替処理の流れ図で、アルゴリズムを理解していないと正解できないところがあったが、難易度など全体的には良かったと思う。
- ・配点が高い。
- ・並べ替え処理が難しい。
- ・順不同のため、受験者の正答率が上がっていた。
- ・(5)のような出題にするなら、前後の順序が関係するような問だとなお良い。
- ・複数回答の順不同で採点に戸惑う場面があった。
- ・3. 「配列Nsuの0行目に入館者数を集計する。」→「日ごとの」があった方が良い。「なおNsuの1行目には合計を求める。」→「入館者数」があった方が良い。

(2) 第2級について

	5	4	3	2	1
【1】	70	78	109	0	0
【2】	70	77	109	0	0
【3】	69	75	111	0	0
【4】	65	79	108	3	1
【5】	72	76	105	3	0
【6】	71	79	105	1	0
【7】	66	69	112	9	0
【全般】	66	91	88	3	0

【全般】について

- ・良問であった。(多数)
- ・標準的な問題であった。(多数)
- ・プログラミングの基本的な内容を理解していれば解ける問題であり、1級取得を目指したい気持ちにさせる内容であった。
- ・大部分が基本問題で構成され、一部が応用力を問う出題であったが、バランスが良かった。
- ・新傾向となって2級に記述が少なくなり、合格率も上昇したように感じる。
- ・アルゴリズムの問題でフローチャートの代入に関する表記について、プログラミング言語に合わせて、右辺を左辺に代入する記述の検討をお願いしたい。
- ・文字列の結合は処理条件の中にも明記してほしい。
- ・【5】～【7】までの解答群に行間がほしい。流れ図側に配置してはどうか。
- ・全般的にやや難易度が低いように感じた。
- ・全体的に難易度が高くなっているように感じた。

【1】～【3】について

- ・適切な問題だった
- ・【1】の3 GIFとPNGの差異が理解できない生徒がいた。

【4】について

- ・ステップ数が多いがトレースの量は適切である。
- ・各変数の変化やループ回数が少なく、解きやすく良いと感じた。
- ・ステップ数が多く時間がかかった。
- ・マクロ・トレースの問題文章の頭に「入力する」という文字を入れてほしい。

【5】について

- ・同着の処理が出題され、従来の出題パターンを変えてきていて良いと思いました。
- ・工夫を感じた。

【6】について

- ・標準的な問題であった。
- ・題材内店舗の例示が関東圏以外なのは、良い傾向だと思います。

【7】について

- ・問題量、難易度ともに適切である。(多数)
- ・もう少し易くしてほしいがコーディングの問題が削除され、全体的には教えやすくなった。
- ・配列Gkei(0)の使い方が良問である。
- ・配列Gkei(0)の使い方が、2級レベルとしては難しい。
- ・凝りすぎている感じがある。
- ・二次元テーブルを使うような問題を無理やり一次元テーブルでさせることには違和感を感じる。
- ・第2図、配列の「～」は「・・・」のほうが分りやすいようにも思う。

情報処理研究部の今後の方向性

1. 級表記の変更について（再掲）

検定試験の名称については、学習指導要領上の扱い並びに検定試験の社会的認知度の向上も踏まえ、必要に応じて見直し、改善していくこととなっています。情報処理検定試験では令和6年度より、1級、2級の名称を「ビジネス情報部門1級、同2級、プログラミング部門1級、同2級」から「ビジネス情報1級、同2級、プログラミング1級、同2級」へと変更します。

【令和5年度まで】

情報処理検定試験

ビジネス情報部門1級

ビジネス情報部門2級

プログラミング部門1級

プログラミング部門2級

3級



【令和6年度より】

情報処理検定試験

ビジネス情報1級

ビジネス情報2級

プログラミング1級

プログラミング2級

3級

2. プログラミングコンテストについて

昨年度（令和3年度）から、プログラムの実行動画をご提出いただいておりますが、これは、優秀な作品について動画を全商協会のWeb ページにて公開させていただくことを目的としております。審査はこれまで通り、ご提出いただいた書類にて、その独創性、明晰度、技法、利用方法及びプログラム説明書の表現力を審査しております。実行動画は審査の対象外であることをご承知ください。

3. 情報処理検定試験アンケート集約表について

第68回情報処理検定試験アンケート集計表から、

「会場のアプリケーションソフトウェアに関するアンケート」にGoogleスプレッドシートを項目として追加しました。しかし、表計算における問題の検証は、今後もEXCELのみで行うことといたします。これは、

- ① 調査自体が目的であったこと。
- ② 調査の結果、利用している学校がほとんどなかったこと。

によります。よろしくご理解をお願いいたします。

4. 表計算問題の動作検証について

ビジネス情報部門における表計算問題の動作検証は現在、Excel2013でおこなっておりますが、Excel2013は2023年4月11日にサポートが終了するため、来年度（令和5年度）よりExcel2016で動作確認をおこないます。

5. 出題レイアウトの変更について

令和5年度より、プログラミング部門1級【4】の出題レイアウトを変更します。従来は、2段組みの左に<プログラムの説明>、右に<プログラム>を記載していましたが、これを段組みはせず、ページ上部に<プログラムの説明>、下部に<プログラム>を記載する形式にいたします。出題内容そのものには変更はありません。

6. digital の日本語表記について

検定の出題範囲の中にある用語「digital」は現在、日本語で「デジタル」と表記しておりますが、昨今、「デジタル」と表記する方が一般的となってまいりました。したがって、当研究部におきましても、令和6年度よりdigitalの日本語表記を「デジタル」に変更いたします。

令和4年度 第34回 全国高等学校情報処理競技大会 入賞者一覧表

令和4年7月31日(日)

会場 明海大学

団体成績 (上位10校)

団体順位	都道府県	学校名	団体得点
優勝	三重	三重県立津商業高等学校	439
準優勝	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	384
第3位	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	378
第4位	岡山	岡山県立岡山東商業高等学校	345
第5位	北海道	北海道岩見沢緑陵高等学校	341
第6位	大分	大分県立大分商業高等学校	329
第7位	岩手	岩手県立盛岡商業高等学校	327
第8位	熊本	熊本県立熊本商業高等学校	320
第9位	愛知	愛知県立豊橋商業高等学校	315
第10位	福島	福島県立福島商業高等学校	314

個人成績 (上位30名)

個人順位	都道府県	学校名	選手番号
優勝	三重	三重県立津商業高等学校	114
準優勝	三重	三重県立津商業高等学校	116
第3位	愛知	愛知県立東海樟風高等学校	107
優良賞	岡山	岡山県立岡山東商業高等学校	160
	三重	三重県立宇治山田商業高等学校	118
	愛知	愛知県立豊橋商業高等学校	106
	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	99
	岩手	岩手県立盛岡商業高等学校	11
	熊本	熊本県立熊本商業高等学校	207
	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	101
佳良賞	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	109
	長野	長野県小諸商業高等学校	96
	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	110
	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	111
	岡山	岡山県立笠岡商業高等学校	162
	北海道	北海道岩見沢緑陵高等学校	2
	熊本	熊本県立八代東高等学校	210
	宮城	仙台市立仙台商業高等学校	18
	佐賀	佐賀県立佐賀商業高等学校	198
	大分	大分県立大分商業高等学校	213
	佐賀	佐賀県立佐賀商業高等学校	197
	島根	島根県立出雲商業高等学校	154
	栃木	栃木県立宇都宮商業高等学校	43
	大分	大分県立大分商業高等学校	212
	静岡	静岡県立静岡商業高等学校	100
	福島	福島県立福島商業高等学校	31
	三重	三重県立津商業高等学校	115
	埼玉	埼玉県立浦和商业高等学校	55
	群馬	群馬県立前橋商業高等学校	46
	佐賀	佐賀県立伊万里実業高等学校	200

連絡

令和5年度 第35回 全国高等学校情報処理競技大会要項

主催 全国商業高等学校長協会
公益財団法人 全国商業高等学校協会
後援 文部科学省（申請予定）

1. 目的 情報処理教育の振興を図る事業の一環として実施する。
2. 日時 令和5年7月 午前10時（開会） ※日付未定
3. 会場 未定
4. 参加資格 全国商業高等学校長協会の会員校在籍生徒であること。
5. 参加校数 および参加人数 (1) 各都道府県代表1校とし、1校あたり3名とする。原則として1名の補欠登録者を認め、選手登録した生徒が出場できない場合は、その補欠登録者のみが出場できることとする。
(2) 各都道府県の代表校以外の会員校から、各都道府県2名を限度として、個人参加を認める。
※高等学校統合に伴う団体の出場については、統合により新旧高等学校が併存し、それぞれが独立した校名で会費を納入した場合でも、当該校長が認めた場合は、合同チームとして認められる。
※全定併設校は同一校として出場できるが、全日制・定時制それぞれ単独校のチームとして出場することもできる。
6. 参加費 (1) 団体 …… 5,000円+1,000円×団体参加人数
(2) 個人 …… 1名あたり2,000円
7. 実施要項 (1) 出題範囲 全商情報処理検定試験1級程度の出題範囲とし、出題は次の2部門に分ける。
第Ⅰ部 関連用語とデータベース 検定範囲のほか、最近普及している語も含むデータベースに関するもの
第Ⅱ部 表計算とアルゴリズム 表計算に関するもの、流れ図の完成
(2) 競技方法 筆記試験による個人の得点を基準とし、団体賞及び個人賞を決定する。
(3) 競技時間 各部門40分、2部門合わせて80分とする。
(4) 審査 審査委員会を設けて審査をする。
(5) 表彰 【団体優勝】文部科学大臣賞・杯（持ち回り）、全商杯・優勝旗（持ち回り）
その他、成績優秀校にも、賞状と賞品を授与する。
※なお、団体優勝校は、国際交流事業に参加できる。
【個人優勝】文部科学大臣賞・杯
その他、成績優秀者にも、賞状と賞品を授与する。
また、当日参加した生徒全員に参加記念品を贈呈する。

(6) 当日次第	開 場	9:00
(予定)	受 付	9:30
	開 会	10:00
	情報処理競技大会	
	第Ⅰ部 関連用語とデータベース	10:40～11:20 (40分)
	第Ⅱ部 表計算とアルゴリズム	11:40～12:20 (40分)
	昼食・待機	
	成績発表	14:30
	閉 会	16:30

※ 得点が同点の場合の順位決定のルールについて

1 個人順位

- ① 第Ⅱ部の得点が高い方を上位とする。
- ② ①が同点の場合には、第Ⅱ部で、難易度が高い問題の正答で評価する。
- ③ ①・②とも同じ場合には、第Ⅰ部で、難易度が高い問題の正答で評価する。

2 団体順位

- ① 個人順位の高い選手がいる団体を上位とする。

8. 参加申込

(1) 申込期日 **令和5年6月23日(金) (期日厳守)**

(2) 申 込 先

【郵 送 先】 〒160-0015 東京都新宿区大京町26番地 電話 03(3357)7911
全商協会 全国高等学校情報処理競技大会実行委員会 宛

【データ送信先】 johoh@zensho.or.jp

※申込書は、全商協会のWebページよりダウンロードし、必要事項に入力のうえ「郵送」と「電子メール」の両方をお願いいたします。

9. そ の 他

- (1) 引率の先生や参加生徒の交通費・宿泊費などは支給しません。
- (2) **当日の参加者の屋食代は、参加校にてご負担ください。**(任意で本協会が準備するお弁当を申し込むことができます。)
- (3) 筆記用具は各自持参してください。**(電卓の使用はできません)**
- (4) 都道府県大会は、申込期日までに代表を選出できるよう実施してください。
- (5) 事前に会場を見学することや、自動車での来場はご遠慮ください。
- (6) 競技会場内への選手および運営委員以外の立ち入りを禁止いたします。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、必要に応じて変更が生じる場合があります。

10. 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは「全国商業高等学校校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取扱について」をご参照ください。)

令和4年度 第43回 全商プログラミング・コンテスト入賞校・作品名一覧

第43回全商プログラミング・コンテストには、全国から13編の作品が寄せられ、慎重に審査した結果、次のように入賞作品が選ばれました。

なお、同じ賞の中では、順位は定めずに北から南へと県別・学校別に記載してあります。

最優秀賞 1編

香川県立坂出商業高等学校	リモート窓忘れチェッカー	Python他7種
--------------	--------------	-----------

優秀賞 3編

千葉県立千葉商業高等学校	Food Distinguish	JavaScript, PHP, HTML, CSS
岐阜県立大垣商業高等学校	混雑度サイネージくん	Python
岐阜県立大垣商業高等学校	電子黒板くん	C#

優良賞 5編

千葉県立東金商業高等学校	PFD - People Flow Diagram -	Python
千葉県立一宮商業高等学校	神計衰弱	C#
岐阜県立岐阜商業高等学校	Photo OCR	Python
岐阜県立海津明誠高等学校	IF ～情報系学習支援ソフト～	C#
関市立関商工高等学校	カギわかるくん	JavaScript, CSS, HTML, GoogleAppsScript

奨励賞 1編

桐生市立商業高等学校	定期テストメモリ	VBA
------------	----------	-----

令和5年度 第44回 全国商業高等学校プログラミングコンテスト作品募集要項

1. 主 催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
2. 目 的 コンピュータを効果的に利用するための創意と工夫の成果を発表する機会を提供するとともに、優秀作品の表彰を行い、情報処理教育の振興を図る。
3. プログラムの内容 学校生活に関係あるもので、例えば、教科・科目、実験、実習、生徒会活動、クラブ活動、身体測定、体力測定、その他学校行事などに関係あるものとする。(教科の延長上にある実務的な作品も認める。)※ 従来のプログラム言語に関わらず、オーサリングツール等のサポートソフトウェアを用いたものや表計算ソフトウェアのマクロ等を利用したデータ処理の作品等、幅広く募集する。なお、報告書等については、この要項に従うこと。
4. 使 用 言 語 Java, Visual Basic, Cなどのプログラム言語を用いたもの、及びオーサリングツールを用いたもの。
5. 提 出 物 応募用紙(プログラム概要説明書)に必要な事項を記入し、プログラム報告書(説明および処理結果・出力画面等)、プログラムリスト、プログラムや**プログラム再生動画**のデータの入ったメディアをそろえて提出する。なお、書類はすべてA4用紙で統一すること。(応募作品は返却しません。また、作品受領等のご連絡はいたしませんのでご了承下さい。)
6. 表 彰 当協会において、応募作品より最優秀賞1作品、優秀賞3作品、優良賞5作品、奨励賞5作品を選考して表彰する。ただし、各賞に該当する作品がない場合、その限りではない。なお奨励賞は、過去5年間、受賞実績がない参加校のうち、一定の審査基準を満たす作品に与えられる。表彰された作品は、機関誌と当協会HPにて紹介する。(9月第2週前後にWeb公開予定)
7. 審 査 基 準 プログラムは、その独創性、明晰度、技法、利用方法及びプログラム説明書の表現力により審査を行う。具体的内容は次のとおりとする。(1)モデルの構想 (2)プログラムの技法 (3)添付書類
8. 参 加 資 格 当協会の会員校在籍生徒であり、会費納入の対象者であること。
(全日制:③35円、定時制:②20円)
なお、グループによる共同作業の場合は10名までとする。
9. 応 募 方 法 学校推薦として、各校2点までとする。作品は未発表の創作に限る。応募にあたっては著作権、肖像権を考慮して、各学校の責任のもとに十分審査し出品する。
10. 期 日 令和5年8月9日(水)必着
(締切日以降に到着した作品は、審査いたしかねます。)
11. 申 込 先 公益財団法人 全国商業高等学校協会
情報処理研究部 プログラミングコンテスト係
〒160-0015 東京都新宿区大京町26番地
電話 03(3357)7911
12. 個人情報取り扱いに関して コンテスト応募に際して提供される個人情報は、本コンテスト活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは「全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催各種競技大会等における個人情報及び肖像権に係わる取扱について」をご参照ください。)

提出物

プログラム概要説明書

用紙は、別紙の令和5年度応募用紙を用いる。

〔記入方法〕

- (1) 「No.」の欄は、記入しない。
- (2) 使用言語（行数）の（ ）は、プログラム言語レベル記述ステップ数を書く。
- (3) 「作成者」は、グループによる共同作業の場合は10名までとする。「使用機種等」は、使用機種名及び主要周辺機器名（型名）を書く。
- (4) 「処理の概要」は、応募プログラムが処理できる仕事の内容を箇条書きする。
- (5) 「サポートプログラム」は、実行する際に、自作プログラム以外に使用しなければならないプログラム名（ソフト名）を具体的に書く。
- (6) 「プログラムの特徴と特に工夫・努力した点」は、応募プログラムの特徴と設計技法、機能、出力、操作性等において、特に工夫や努力をした点を書く。
- (7) 「利用の効果」は、作成したプログラムを実際に使用した実績があればそのときの効果について、実際に使用した実績がなければ、どのようなところで使用したいかについて書く。
- (8) 「添付書類等」は、提出した書類すべてを記入する。

プログラム報告書

報告書は、A4判の横書き用紙を使用する。最上段に「全国商業高等学校プログラミングコンテスト参加作品」と記載し、続いてプログラム名、学校名、所在地、電話番号、学科、学年、氏名（共同作成の場合には、全員の分を記入）を明記した表紙を付けること。なお、記載内容に応じた目次をつけること。

〔記載事項〕

1. プログラム名（使用言語と行数）
2. 使用システム構成 該当プログラムに使用するハードウェア・ソフトウェア及びその構成を記載する。
3. 処理の概要 処理の内容を説明し、プログラムの全体を概観できる程度の流れ図を図示する。作品全体の流れ、機能ごとの説明を加える。
4. 操作方法と処理結果 実行上の操作手順を明記し、出力結果をできるだけ詳細に説明する。画面等は写真、ハードコピー等を添えて説明する。
5. 参考資料等 参考文献、その他があれば記述しておく。引用文献等がある場合には、必ず明記する。著作権の了解の有無についても明記する。
6. その他 指導していただいた先生など、指導者名を書く。なお、プログラム作成の過程がわかるように、作成日数や苦心した点、新しいアイデアなども書く。

プログラムリスト

A4用紙で提出する。わかりやすく、また見やすいように工夫し、両面印刷なども利用する。

プログラムの実行動画（2分以内）

Media Player での再生が可能なこと。また最優秀作品については Web で公開をします。

プログラム、データ、実行動画のメディア

CD-R、DVD-R、フラッシュメモリ等、各校で扱いやすいものでよい。

令和5年度 第44回 全国商業高等学校プログラミングコンテスト応募用紙

プログラム概要説明書

No.		学校名	立						高等学校
所在地						電話番号			
プログラム名						使用言語 (行数)	(行)		
作成者 (学科,学年,氏名)	No.	学 科	学年	氏 名		No.	学 科	学年	氏 名
	1					6			
	2					7			
	3					8			
	4					9			
	5					10			
(共同作成の場合は、全員記入してください。10名まで。)									
使用機種等									
[作成の目的 (ねらい)]									
[処理の概要]									
サポートプログラム									
[プログラムの特徴と特に工夫・努力した点]									
[利用の効果]									
添付書類等	<input type="checkbox"/> プログラム報告書(紙), <input type="checkbox"/> プログラムリスト(紙), <input type="checkbox"/> 出力結果(紙), <input type="checkbox"/> メディア ※同梱したら <input type="checkbox"/> にチェックして下さい その他 ()								
指導者名									

令和4年度

全国情報処理教育研究協議会資料

資料Ⅱ

- 1 令和4年度 検定基準
- 2 令和4年度 検定問題（第67回・第68回）
- 3 平成4年度 申込者数・受験者数・合格者数集計表

期 日 令和5年3月11日（土）

公益財団法人 全国商業高等学校協会

情報処理研究部

令和4年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第1級検定基準(1)

共通範囲	(1)ハードウェア・ソフトウェアに関する知識 <システムの開発と運用> 開発手法 ウォータフォールモデル プロトタイピングモデル スパイラルモデル 開発工程 要件定義 外部設計 内部設計 プログラム設計 プログラミング テスト 単体テスト 結合テスト システムテスト 運用・保守 ブラックボックステスト ホワイトボックステスト 開発期間に関する計算(人日 人月) <性能・障害管理> RASIS 信頼性 可用性 保守性 完全性 安全性 稼働率 平均故障間隔(MTBF) 平均修復時間(MTTR) 稼働率に関する計算 スループット レスポンスタイム ターンアラウンドタイム 障害対策 フォールトトレラント フォールトアバイダンス フェールセーフ フェールソフト フルブルーフ NAS RAID ミラーリング ストライピング 記憶容量に関する計算	(2)通信ネットワークに関する知識 <ネットワークの構成> OSI参照モデル ハブ ルータ パケットフィルタリング ゲートウェイ プロトコル TCP/IP HTTP FTP POP IMAP SMTP DHCP MACアドレス IPアドレス(IPv4 IPv6 CIDR) プライベートIPアドレス グローバルIPアドレス サブネットマスク ネットワークアドレス ブロードキャストアドレス ホストアドレス ポート番号 NAT DMZ DNS VPN 通信速度(bps)に関する計算 <ネットワークの活用> シンククライアント Cookie MIME VoIP	(3)情報モラルとセキュリティに関する知識 <セキュリティ> 共通鍵暗号方式 公開鍵暗号方式 電子署名 デジタル署名 認証局(CA) SSL(TLS) HTTPS ログファイル システムログ アクセスログ インシデント リスクマネジメント リスクアセスメント クロスサイトスクリプティング ソーシャルエンジニアリング SQLインジェクション

令和4年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第1級検定基準(2)

<p>ビジネス情報部門範囲</p>	<p>(1) 関連知識 <問題解決の手法> ブレーンストーミング KJ法 決定表 (デシジョンテーブル) DFD データフロー データの源泉と吸収 プロセス データストア パート図 (PERT) アローダイアグラム クリティカルパス ABC分析 バレート図 Zグラフ 回帰分析 散布図 正の相関 負の相関 回帰直線 (近似曲線) 線形計画法 ヒストグラム 特性要因図 ファンチャート SWOT分析 内的要因 (強み 弱み) 外的要因 (機会 脅威) PPM分析 (金のなる木 花形 問題児 負け犬) <経営計画と管理> コンプライアンス セキュリティポリシー ERP (経営資源計画) CRM (顧客関係管理) BPR (業務プロセス再設計) コアコンピタンス アウトソーシング アライアンス ハウジングサービス ホスティングサービス ASP SaaS PaaS IaaS</p>	<p>(2) 表計算ソフトウェアの活用 <関数の利用> 数学/三角 CEILING FLOOR ABS RANDBETWEEN 統計 FORECAST MEDIAN MODE 検索/行列 OFFSET ROW COLUMN データベース DSUM DAVERAGE DMAX DMIN DCOUNT DCOUNTA 文字列操作 SUBSTITUTE 論理 IFERROR <応用機能> 最適解 (ソルバー) 手続きの自動化 (マクロ機能)</p>	<p>(3) データベースソフトウェアに関する知識 <DBMS> DBMSの機能 排他制御 ロック 共有ロック 専有ロック デッドロック 障害回復 トランザクション コミット ジャーナルファイル チェックポイント ロールバック ロールフォワード <データベースの設計> データベース設計の手順 概念設計 論理設計 物理設計 データ構造の設計 非正規形 正規化 (第1～第3) E-R図 エンティティ (実体) アトリビュート (属性) リレーションシップ (関係) 整合性制約 (参照整合性) <SQL> INSERT INTO ~ VALUES ~ UPDATE ~ SET ~ WHERE ~ DELETE FROM ~ WHERE ~ 表名の別名指定 DISTINCT LIKE (ワイルドカード % _) ORDER BY (ASC DESC) GROUP BY (HAVING) BETWEEN IN (NOT IN) 副問合せ EXISTS (NOT EXISTS)</p>
<p>プログラミング部門範囲</p>	<p>(1) 関連知識 16進数の計算 2進化10進数 固定小数点形式 浮動小数点形式 補数 クロック周波数 MIPS 情報落ち 桁落ち 丸め誤差 論理回路 AND OR NOT XOR ベン図 (集合・論理演算) トップダウンテスト スタブ ボトムアップテスト ドライバ 回帰 (リグレッション) テスト 負荷テスト 機能テスト 性能テスト シフト演算 論理シフト 算術シフト</p>	<p>データ構造 キュー スタック リスト ポインタ 木構造 オブジェクト指向 オブジェクト クラス インスタンス カプセル化 プログラム呼び出し リカーシブ (再帰) リロケータブル (再配置) リエントラント (再入) リユーザブル (再使用) (2) アルゴリズム 関数の呼び出し コントロールブレイク 多次元配列 二分探索 順位付け ソート バブルソート (交換法) セレクションソート (選択法) インサージョンソート (挿入法)</p>	<p>(3) プログラム言語 (マクロ言語) 変数 Double Boolean 配列 一次元配列 多次元配列 引数 関数 Left Right Mid Len Call Function ~ End Function Exit Do Exit For Select Case ~ End Select マルチステートメント (:) 行の継続 (_)</p>

令和4年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第2級検定基準(1)

共 通 範 囲	(1)ハードウェア・ソフトウェアに関する知識	(2)通信ネットワークに関する知識	(3)情報モラルとセキュリティに関する知識
	<p><ハードウェアの構成></p> <p>OCR</p> <p>OMR</p> <p>磁気ディスク装置</p> <p>磁気ヘッド</p> <p>アクセスアーム</p> <p>シリンダ</p> <p>トラック</p> <p>セクタ</p> <p>UPS</p> <p><ソフトウェアに関する知識></p> <p>ドット</p> <p>ピクセル(画素)</p> <p>解像度(dpi ppi)</p> <p>画像容量の計算</p> <p>RGB</p> <p>CMYK</p> <p>圧縮</p> <p>解凍</p> <p>アーカイバ</p> <p>プラグアンドプレイ</p> <p><ディレクトリとファイル></p> <p>ルートディレクトリ</p> <p>サブディレクトリ</p> <p>拡張子</p> <p>テキストファイル</p> <p>バイナリファイル</p> <p>ファイル形式</p> <p>BMP</p> <p>JPEG</p> <p>GIF</p> <p>PNG</p> <p>MPEG</p> <p>MIDI</p> <p>MP3</p> <p>CSV</p> <p>PDF</p> <p>ZIP</p> <p><関連知識></p> <p>2進数の計算</p> <p>ISO</p> <p>JIS</p> <p>ANSI</p> <p>IEEE</p> <p>文字コード</p> <p>JISコード</p> <p>ASCIIコード</p> <p>Unicode</p> <p>TCO(総保有コスト)</p> <p>イニシャルコスト</p> <p>ランニングコスト</p> <p>ワイルドカード(*?)</p>	<p><ネットワークの構成></p> <p>アナログ回線</p> <p>デジタル回線</p> <p>パケット</p> <p>LAN</p> <p>有線LAN</p> <p>無線LAN</p> <p>Wi-Fi</p> <p>SSID</p> <p>テザリング</p> <p><ネットワークの活用></p> <p>ピアツーピア</p> <p>クライアントサーバシステム</p> <p>ストリーミング</p> <p>グループウェア</p>	<p><権利の保護と管理></p> <p>知的財産権</p> <p>産業財産権</p> <p>著作権</p> <p>肖像権</p> <p>著作権法</p> <p>個人情報保護法</p> <p>不正アクセス禁止法</p> <p>フリーウェア</p> <p>シェアウェア</p> <p>サイトライセンス</p> <p>OSS</p> <p><セキュリティ管理></p> <p>多要素認証</p> <p>多段階認証</p> <p>ワンタイムパスワード</p> <p>シングルサインオン(SSO)</p> <p>アクセス許可</p> <p>フルコントロール</p> <p>読み取り</p> <p>書き込み</p> <p>ファイアウォール</p> <p>セキュリティホール</p> <p>キロガー</p> <p>ランサムウェア</p> <p>ガンブラー</p> <p>暗号化</p> <p>復号</p> <p>バックアップ</p>

令和4年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第2級検定基準(2)

ビジネス情報部門範囲	<p>(1) 表計算ソフトウェアの活用</p> <p><関数の利用></p> <p>日付/時刻 DATE YEAR MONTH DAY WEEKDAY TIME HOUR MINUTE SECOND 数学/三角 INT MOD SUMIFS 統計 AVERAGEIFS COUNTIFS LARGE SMALL 検索/行列 VLOOKUP HLOOKUP INDEX MATCH 文字列操作 TEXT FIND SEARCH 論理 AND OR NOT 文字列結合 (&)</p>	<p><応用操作></p> <p>複合参照 フィルタ マルチシート グループ集計 (小計) クロス集計 (ピボットテーブル) 最適解 (ゴールシーク)</p> <p><グラフ></p> <p>散布図 複合グラフ 2軸上の折れ線と棒 2軸上の折れ線 体裁処理 区分線 軸の反転</p>	<p>(2) データベースソフトウェアの活用</p> <p><リレーショナル型データベース></p> <p>データベース DEMS 基本表 (表表) テーブルの構成要素 テーブル (表) レコード (行) フィールド (列) データ型 数値型 文字型 日付/時刻型 仮想表 (ビュー表) 関係演算 選択 射影 結合 集合演算 和 積 差 キーの種類 主キー 複合キー (連結キー) 外部キー</p> <p><SQL></p> <p>SELECT ~ FROM ~ WHERE ~ 比較演算子 = > >= < <= <> 算術演算子 + - * / 論理演算子 AND OR NOT 関数 SUM AVG MAX MIN COUNT 列名の別名指定 (AS)</p>
プログラミング部門範囲	<p>(1) 関連知識</p> <p>翻訳 (コンパイル) 機械語 テストラン 文法エラー 論理エラー デバッグ 言語プロセッサ コンパイラ インタプリタ アセンブラ プログラム言語 C言語 Java アセンブリ言語 簡易言語 データチェック シーケンスチェック リミットチェック トータルチェック ニューメリックチェック チェックディジットチェック グローバル変数 ローカル変数</p>	<p>(2) アルゴリズム</p> <p>手続きの呼び出し データの集計 データの件数 最大値・最小値 一次元配列 線形探索 多分岐</p>	<p>(3) プログラム言語 (マクロ言語)</p> <p>変数 Long String 定数 比較演算子 = > >= < <= <> 算術演算子 + - * / ^ Mod ¥ 代入演算子 = 論理演算子 And Or Not 文字列結合 (&) 注釈 (') 関数 MsgBox InputBox Val Int If ~ Then ~ Else ~ End If For ~ Next Do While ~ Loop Sub ~ End Sub</p>

令和4年度 情報処理検定試験級別出題範囲
第3級検定基準

共通範囲	(1)ハードウェア・ソフトウェアに関する知識 <ハードウェアの構成> 集積回路 ROM RAM CPU (中央処理装置) 制御装置 演算装置 記憶装置 主記憶装置 補助記憶装置 (媒体) ハードディスク SSD DVD ブルーレイディスク フラッシュメモリ 入力装置 タッチパネル イメージスキャナ バーコードリーダー 出力装置 インクジェットプリンタ レーザプリンタ プロジェクタ インタフェース USB HDMI Bluetooth <ソフトウェアの構成> OS (オペレーティングシステム) アプリケーションソフトウェア インストール アンインストール アップデート <パーソナルコンピュータの操作> GUI 画面 アイコン カースル スクロール <関連知識> 2進数 (ビット バイト) 処理速度の単位 (ms μs ns ps fs) 記憶容量の単位 (KB MB GB TB PB) フォーマット ファイル名 フォルダ (ディレクトリ) バッチ処理 リアルタイム処理 EOS (電子発注システム) EC (電子商取引) POSシステム バーコード JANコード 二次元バーコード (QRコード) RFID 非接触型ICカード AI IoT	(2)通信ネットワークに関する知識 プロバイダ HTML ブラウザ URL ドメイン名 ハイパーリンク 検索 (サーチ) エンジン Webサーバ メールサーバ メーラ Webメール 電子メールの送信 宛先 (To) カーボンコピー (Cc) ブラインドカーボンコピー (Bcc) 添付ファイル ファイルサーバ プリントサーバ オンラインストレージ アップロード ダウンロード (3)情報モラルとセキュリティに関する知識 <情報モラル> プライバシーの侵害 フィルタリング 有害サイト 迷惑メール スパムメール チェーンメール ネット詐欺 フィッシング詐欺 ワンクリック詐欺 <セキュリティ> 認証 生体認証 (バイオメトリクス認証) ユーザID パスワード アクセス制限 アクセス権 不正アクセス なりすまし マルウェア コンピュータウイルス スパイウェア ワーム トロイの木馬 ウイルス対策ソフトウェア ウイルス定義ファイル (パターンファイル) ワクチンプログラム (4)プログラムに関する知識 <アルゴリズム> 手続きの基本構造 順次 選択 繰り返し 回数判定 条件判定 流れ図 (フローチャート) トレース データの入出力 算術演算 論理演算 表示・印字 変数 定数	(5)表計算ソフトウェアに関する知識 <表の作成> ワークシート セル 行 列 行高 列幅 セルの表示形式 , ¥ % 小数の表示桁数設定 セル内の配置 文字位置 文字方向 セル結合 複写 移動 罫線 細線 太線 比較演算子 = > < <= > <> 算術演算子 + - * / ^ 再計算 引数 絶対参照 絶対参照 並べ替え キー項目 昇順 降順 <関数の利用> 合計 (SUM) 平均 (AVERAGE) 最大値 (MAX) 最小値 (MIN) 順位付け (RANK) 判定 (IF) 件数 (COUNT COUNTA) 端数処理 (ROUND ROUNDUP ROUNDDOWN) 文字列の操作 (LEN LEFT RIGHT MID) 文字列の変換 (VALUE) 日時 (NOW TODAY) 関数のネスト (入れ子) <グラフ> 棒グラフ 棒グラフ 集合 積み上げ 100%積み上げ 折れ線グラフ 円グラフ (切り離し円) レーダー (レーダーチャート) 行列の切り替え 体裁処理 タイトル 軸 ラベル 凡例
------	---	---	--

2022年 9 月 25 日 実施

令和 4 年度 (第 67 回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. システム開発において、開発工程を複数の作業に分け、段階ごとに開発を完了させ、次の工程へ進めていく開発手法。原則として前工程への後戻りはしない。
2. コンピュータシステムの安定稼働を判断する総合指標の一つで、五つの評価指標である「信頼性」、「可用性」、「保守性」、「完全性」、「安全性」の英単語の頭文字によって表現したもの。
3. インターネット利用者が、ブラウザを通じてWebサイトにアクセスした際、その日時やアクセス回数などの情報が、利用者の端末に保存されるしくみ。利用者の利便性の向上、Webサイト提供側のアクセス解析に用いられる。
4. 複数のネットワークにおいて、データを中継する通信機器。データを中継する際、どの経路を通して転送するかを判断する経路選択機能を持つ。
5. ネットワークを介した公開鍵暗号方式を用いたデータ通信において、公開鍵に対する正当性を保証するデジタル証明書を発行する第三者機関。

解答群

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| ア. OSI参照モデル | イ. RASIS | ウ. NAT |
| エ. ルータ | オ. スパイラルモデル | カ. ウォータフォールモデル |
| キ. HTTPS | ク. スループット | ケ. Cookie |
| コ. SSL | サ. 認証局 | シ. プロキシサーバ |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. フォールトトレラント 2. POP 3. インシデント
4. シンクライアント 5. コミット

<B群>

- ア. インターネット上で、電子メールを宛先に送信する際、受信者にメールを転送するためのプロトコル。
- イ. データベースにおいて、トランザクション処理中に障害が発生したとき、トランザクション処理を取り消して障害発生前のデータベースの状態に戻すこと。
- ウ. ソフトウェアの機能不全やシステムの異常終了、機器の障害など、サービスの中断や品質の低下につながるような事象。
- エ. サーバの使用状況やアプリケーションソフトウェアの利用状況、ネットワークを利用した際のアクセス情報などを、時系列に蓄積してあるファイル。
- オ. クライアントサーバシステムにおいて、クライアント側にはデータの入力や通信の管理など必要最低限の機能だけを持たせ、サーバ側にクライアント側が使用する資源を集中させ管理するシステム。
- カ. 事故や故障などを発生させないことを前提に、信頼性の高い部品や材料の採用、試験や検証の徹底、人材教育の充実などを行い、事故や故障の原因となる要素を極力排除する考え方。
- キ. 事故や故障などが発生することを前提に、機器や系統の多重化などをして問題が拡大しにくい構造にするなど、障害などで機能の一部を失っても全体の機能を落とさず、稼働し続けるようなしくみや考え方。
- ク. データベースにおいて、トランザクション処理の関連する処理がすべて成功し、メモリ上の結果を確定させ、処理結果によって更新すること。
- ケ. ネットワークに直接接続できる補助記憶装置。ファイルサーバと同様の機能を持ち、複数の機器からのアクセスが可能である。
- コ. インターネット上で、自分宛ての電子メールを保管しているメールサーバにアクセスし、受信するためのプロトコル。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. ネットワーク上の機器を一意に特定するため、ネットワークのインターフェースや無線LANの端末につけられている48ビットで構成された固有の識別番号のこと。

ア. TCP/IP

イ. MACアドレス

ウ. サブネットマスク

2. 要件定義で作成した要件、ハードウェアやソフトウェア要件、機能間の連携、運用・保守が実現可能であるかなどを開発の最終段階で確認し評価するテスト。

ア. 単体テスト

イ. 結合テスト

ウ. システムテスト

3. 稼働率を求める式として適切なもの。

ア. $MTBF \div (MTBF + MTTR)$

イ. $MTTR \div MTBF$

ウ. $MTBF \div (MTTR + MTTR)$

4. ある作業を、はじめの5日間はAさん一人で行い、6日目からAさんとBさんの二人で行った。この作業の完了までの日数は何日間か。ただし、この作業は、Aさん一人で行った場合、30日間で完了し、Bさん一人で行った場合20日で完了する。

ア. 10日間

イ. 15日間

ウ. 25日間

5. 次の表の仕様である磁気ディスク装置の記憶容量は何GBか。ただし、 $1GB=10^9B$ とし、小数第1位まで求めなさい。

1シリンダあたりのトラック数	10
1面あたりのトラック数	1,500
1トラックあたりのセクタ数	右の表のとおり
1セクタあたりの記憶容量	2,000B

トラック番号	セクタ数
0～ 699	300
700～1,499	200

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の説明文に最も適したものを選び、記号で答えなさい。

インターネットを介してソフトウェアを提供するサービス。自身のコンピュータにソフトウェアをインストールする必要がないので、その手間や時間がかからない。また一般的に、初期費用についても低く抑えられる。しかし、サービス提供者側の仕様となるので、カスタマイズの幅は狭い。

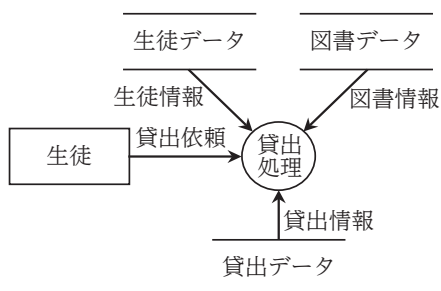
ア. ホスティングサービス イ.ハウジングサービス ウ. SaaS

問2. 図書館で、生徒から貸出依頼を受け、生徒情報と図書情報から貸出データに貸出情報を記録する貸出処理の流れを、DFDで表している適切なものを選び、記号で答えなさい。

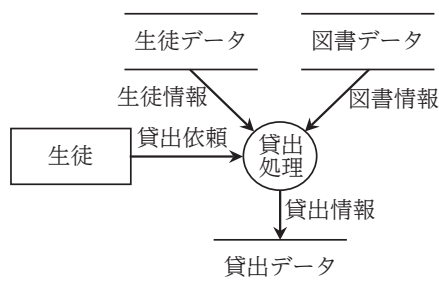
貸出処理の流れ

- ① 生徒から本の貸出依頼のデータを受け取る。
- ② 生徒データから生徒情報と、図書データから図書情報を受け、貸出情報を作成する。
- ③ 作成した貸出情報を貸出データに記録する。

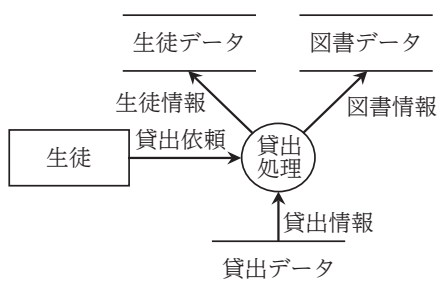
ア.



イ.



ウ.



問3. ある会社では、事業戦略の見直しのため、SWOT分析を行った。次の内容は、四つの要因のうちどれにあてはまるか適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ・自社開発製品において特許取得
- ・設備投資予算を増額
- ・外国語の資格取得などの社員研修が充実

ア. 強み

イ. 弱み

ウ. 機会

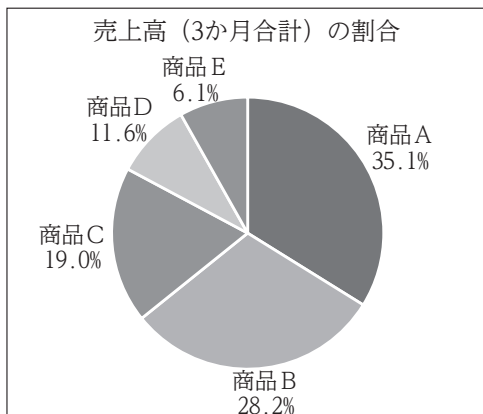
エ. 脅威

問4. 次の表はある小売店の商品の売上高推移表である。図1と図2は、売上高推移表から作成したグラフである。(1)図2の名称と、(2)グラフから読み取った内容として適切なものを選び、記号で答えなさい。

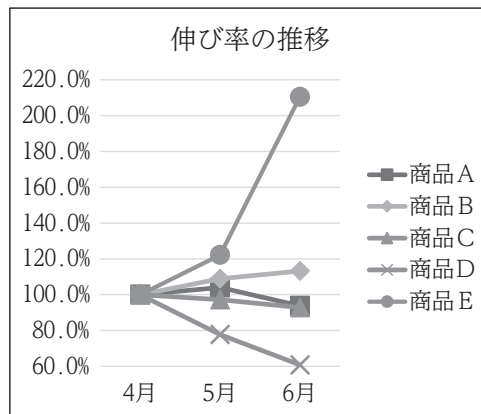
売上高推移表

	売上高				伸び率		
	4月	5月	6月	合計	4月	5月	6月
商品A	183,220	190,560	171,840	545,620	100.0%	104.0%	93.8%
商品B	136,150	148,320	154,180	438,650	100.0%	108.9%	113.2%
商品C	101,620	98,810	94,370	294,800	100.0%	97.2%	92.9%
商品D	75,360	58,560	45,840	179,760	100.0%	77.7%	60.8%
商品E	22,060	26,950	46,420	95,430	100.0%	122.2%	210.4%

(表)



(図1)



(図2)

(1) 図2の名称

ア. アローダイアグラム

イ. ファンチャート

ウ. パレート図

(2) グラフから読み取った内容

ア. 商品Aと商品Bの過去3か月間の売上高の割合は、それぞれ30%を超えており、伸び率も上がっている
ので、さらに販売促進を進める。

イ. 商品Cの過去3か月間の売上高の割合は最低で、10%にも届いていないため、入れ替え商品とする。

ウ. 商品Eの過去3か月間の売上高の割合は最低だが、伸び率が急成長している
ので、今後も注視していきたい。

問5. アウトソーシングを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. 業務の一部を、外部の専門業者に委託することで、コスト削減や品質向上などを実現する経営手法。
非効率な部門や専門的な知識技能を必要とする業務を外部委託することにより、自社の経営資源をより
中核となる業務に集中させることができる。

イ. 複数の企業同士が利益を生み出すために協力し合う体制を構築する経営手法。異なる立場の企業と業
務や資本、技術などの提携を行うことで、複数の企業の技術、ノウハウの共有、資金面での協力により
企業競争力の向上や、投資リスクの軽減などが期待できる。

ウ. 企業の目標を達成するために、業務・組織・戦略を抜本的に見直し再構築する業務改革。製造、研究
開発、サービスの供給、人事評価などすべての企業活動を、最適化することで生産性の向上を目指す。

- 【5】 ある劇場では、チケット販売のデータを次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の会員は登録手続きを行い、会員表にデータを入力する。
- ② 会員の有効期限は1年であり、継続する場合は手続きをする必要がある。
- ③ 新規の公演が決定した場合、公演表にデータが追加される。
- ④ 1つの作品に対して、販売される座席数が決められており、チケットは座席数を超過して販売することはない。

会員表

会員番号	名前	Email	区分	入会日	有効期限
}	}	}	}	}	}
M00462	高橋 ○○	takahashi@XX.ne.jp	中高生	2019/07/24	2023/07/23
}	}	}	}	}	}
M00901	山口 ○○	yamaguchi@XX.com	大人	2019/12/02	2022/12/01
M00902	吉田 ○○	yoshida@XX.ne.jp	大人	2019/12/02	2022/12/01
}	}	}	}	}	}
M03642	川島 ○○	kawashima@XX.ne.jp	大人	2021/12/31	2022/12/30
M03643	川島 △△	kawashima@XX.ne.jp	子供	2021/12/31	2022/12/30
}	}	}	}	}	}
M04565	宮本 ○○	miyamoto@XX.ne.jp	シニア	2022/09/18	2023/09/17
}	}	}	}	}	}

公演表

公演コード	作品コード	公演日	公演回
P00101	A001	2019/06/06	午後
P00102	A001	2019/06/06	夜
}	}	}	}
P05308	A053	2022/08/03	夜
P05309	A053	2022/08/04	午後
}	}	}	}
P05808	A058	2022/10/08	夜
P05901	A059	2022/10/13	午後
}	}	}	}

販売表

販売番号	会員番号	販売日	公演コード	販売数
}	}	}	}	}
S46887	M00416	2022/06/01	P05308	3
S46888	M01934	2022/06/01	P05309	3
}	}	}	}	}
S57177	M04565	2022/09/27	P06006	2
S57178	M00416	2022/09/28	P05707	1
S57179	M03797	2022/09/28	P05707	1
}	}	}	}	}

作品表

作品コード	作品名	座席数	上演期間
A001	雪の王子	950	2019/06/06～2019/06/10
}	}	}	}
A053	赤い花	400	2022/07/31～2022/08/05
A054	星空と君	350	2022/08/12～2022/08/17
}	}	}	}

- 問1. 次の図は、四つの表のリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

ア. 販売表

イ. 作品表

ウ. 公演表

エ. 会員表

問2. 販売状況がよく追加公演が決まったので、公演表に追加する。実行するSQL文の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び記号で答えなさい。

[追加公演作品] 公演コード:P05413 作品コード:A054 公演日:2022/12/31 公演回:午後

(a) 公演表 (b) ('P05413', 'A054', '2022/12/31', '午後')

- ア. (a) INSERT INTO (b) VALUES
 イ. (a) UPDATE (b) SET
 ウ. (a) DELETE FROM (b) WHERE

問3. 作品コード A053 の全公演の区別販売数合計を販売数合計の降順に抽出する。次のSQL文の空欄(a), (b)をうめなさい。

```
SELECT 区分, SUM(販売数) AS 販売数合計
FROM 会員表 A, 公演表 B, 販売表 C
WHERE A.会員番号 = C.会員番号
      AND B.公演コード = C.公演コード
      AND 作品コード = 'A053'
GROUP BY 区分
 (a) BY SUM(販売数)  (b)
```

区分	販売数合計
大人	2362
中高生	960
子供	604
シニア	321

問4. 2022年12月中に有効期限が到来する会員に、継続案内メールを送るためのデータを抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 会員番号, 名前, Email, 有効期限
FROM 会員表
WHERE 
      AND  ※  '2022/12/31'
```

会員番号	名前	Email	有効期限
M00900	大橋 ○○	ohashi@XX.ne.jp	2022/12/01
M00901	山口 ○○	yamaguchi@XX.com	2022/12/01
M00902	吉田 ○○	yoshida@XX.ne.jp	2022/12/01
}	}	}	}

(注) ※印は、表記を省略している。

- ア. 有効期限 >= '2022/12/01' イ. 有効期限 < '2022/12/01' ウ. 有効期限 <= '2022/12/01'

問5. 次のSQL文を実行した場合、抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 公演コード, 作品名, 公演日, 公演回
FROM 公演表 A, 作品表 B
WHERE 座席数 IN (SELECT SUM(販売数)
                  FROM 販売表 C
                  WHERE A.公演コード = C.公演コード
                        AND A.作品コード = B.作品コード
                  GROUP BY 公演コード)
```

- ア. チケットの売り上げのない公演の一覧を抽出した。
 イ. チケットが完売となった公演の一覧を抽出した。
 ウ. チケットの売り上げが少なく中止となった公演の一覧を抽出した。

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、降雪のあった都道府県の平均気温と降雪日数一覧表と予測表である。「予測降雪日数」は、「平均気温」と「降雪日数」をもとに、予測数を求める。G4に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、「平均気温」と「降雪日数」には相関関係が認められるものとする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	都道府県の平均気温と降雪日数一覧表				予測表		
3	都道府県No.	都道府県	平均気温	降雪日数	予測平均気温	15.0	
4	1	北海道	9.8	131	予測降雪日数	50	
5	3	岩手県	11.3	106			
6	2	青森県	11.4	117			
7	6	山形県	12.8	89			
?	}	}	}	}			
46	40	福岡県	17.9	28			
47	42	長崎県	17.9	21			
48	45	宮崎県	18.4	2			
49	46	鹿児島県	19.4	9			

=FORECAST(G3, , **解答不要**)

ア. C4:C49

イ. D4:D49

ウ. A4:A49

問2. 次の表は、ある惣菜工場で使用されている惣菜パック詰め判定書と惣菜一覧である。「判定」は「実重量(g)」が「基準値(g)」の±3%以内の場合 販売可 を、それ以外の場合 再計量 を表示する。F4に設定する次の式の空欄をうめなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	惣菜パック詰め判定書						惣菜一覧			
3	No.	コード	惣菜名	基準値(g)	実重量(g)	判定	コード	惣菜名	基準値(g)	
4	1	1	麻婆豆腐	150	151	販売可	1	麻婆豆腐	150	
5	2	1	麻婆豆腐	150	148	販売可	2	唐揚げ	300	
6	3	1	麻婆豆腐	150	156	再計量	3	回鍋肉	200	
7	4	1	麻婆豆腐	150	152	販売可	4	青椒肉絲	200	
8	5	1	麻婆豆腐	150	147	販売可	5	チャーハン	250	
9	6	1	麻婆豆腐	150	149	販売可	6	フライドポテト	150	
10	7	1	麻婆豆腐	150	152	販売可				
?	}	}	}	}	}	}				
180	177	6	フライドポテト	150	151	販売可				
181	178	6	フライドポテト	150	153	販売可				
182	179	6	フライドポテト	150	160	再計量				
183	180	6	フライドポテト	150	147	販売可				

=IF((D4-E4)<=D4*0.03,"販売可","再計量")

問3. 次の表は、生徒用ロッカー位置表である。生徒用ロッカーは、横6個×縦4段が複数あり、「生徒番号」の順に一人1個のロッカーが割り当てられている。D4に設定されている次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。ただし、この式をD202までコピーする。

=IF((a)|(b)/(A4)-3,6)=0,6,(a)|(b)/(A4)-3,6))

	A	B	C	D
1				
2	生徒用ロッカー位置表			
3	生徒番号	ロッカーNo.	上から	左から
4	1101	1	1	1
5	1102	1	1	2
6	1103	1	1	3
7	1104	1	1	4
8	1105	1	1	5
9	1106	1	1	6
10	1107	1	2	1
11	1108	1	2	2
?	}	}	}	}
43	1140	2	3	4
44	1201	2	3	5
?	}	}	}	}
200	1538	9	1	5
201	1539	9	1	6
202	1540	9	2	1

問4. 次の表は、あるレンタカー会社のレンタカー車両状況一覧である。G9は買い替えの検討が必要な台数を表示させるために次の式が設定されている。この式について、適切なことを述べているものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	レンタカー車両状況一覧							
3	車No.	車名	タイプ	登録日	走行距離(km)		登録日	走行距離(km)
4	1	〇〇〇〇	軽	2019/5/21	51,962		<=2019/8/31	
5	2	〇〇〇〇	軽	2022/5/21	2,431			>=50000
6	3	〇〇〇〇	軽	2021/11/21	14,502			
7	4	〇〇〇〇	軽	2022/8/30	2,117			
8	5	〇〇〇〇	軽	2019/8/19	49,093			
9	6	〇〇〇〇	軽	2020/1/28	45,875			
10	7	〇〇〇〇	軽	2021/6/27	32,644			
11	}	}	}	}	}			
121	118	◇◇◇◇	大型	2019/8/9	40,071			
122	119	◇◇◇◇	大型	2021/6/2	11,813			
123	120	◇◇◇◇	大型	2020/1/31	33,784			

買い替えの検討が必要なのは 台です

=DCOUNT(A3:E123,1,G3:H5)

- ア. 「登録日」が 2019/8/31 以前、または「走行距離(km)」が 50000 以上の台数が表示される。
 イ. 「登録日」が 2019/8/31 以前、かつ「走行距離(km)」が 50000 以上の台数が表示される。
 ウ. 「登録日」が 2019/8/31 以降、または「走行距離(km)」が 50000 以上の台数が表示される。

問5. 次の表は、ある野球の地区予選結果表とチームデータ表であり、地区予選結果表は「チームコード」の昇順となっている。チームデータ表の「得点合計」はチームデータ表の「チームコード」の得点の合計を表示する。H8に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、地区予選は5チームの総当たりで、各チーム4試合が行われるものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2	地区予選結果表					チームデータ表				
3	チームコード	対戦チームコード	得点	失点	勝敗		チームコード	1		
4	1	2	7	5	勝ち					
5	1	3	2	5	負け					
6	1	4	1	6	負け					
7	1	5	3	1	勝ち					
8	2	1	5	7	負け					
9	2	3	4	6	負け					
10	2	4	0	9	負け					
11	2	5	0	2	負け					
12	3	1	5	2	勝ち					
13	}	}	}	}	}					
22	5	3	3	8	負け					
23	5	4	3	3	引き分け					

勝ち	2 試合
負け	2 試合
引き分け	0 試合
得点合計	13 点
失点合計	17 点
得失点差	-4 点

=SUM((A3,H3*4-3,2,4,1))

ア. VLOOKUP

イ. INDEX

ウ. OFFSET

【7】 次の表は、ある記念品製作会社の料金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「料金計算書」

A	B	C	D	E	F	G	H
1	料金計算書						
2							
3							
4	1. 製作内容						
5	(1)商品			入力欄		確認欄	
6	商品コード	CLF	商品名	クリアファイル			
7	注文個数	900		OK			
8							
9	(2)印刷						
10	書体・カラーコード文字1	MC1	書体・カラー1	明朝体黒			
11	書体・カラーコード文字2	MG1	書体・カラー2	丸ゴシック黒			
12	印刷文字1	創立 100周年	印刷1	OK			
13	印刷文字2	〇〇 高等学校	印刷2	OK			
14			色数	1色			
15	マーク	なし	※ マークありの場合、	要デザイン送付			
16			印刷数	2箇所			
17							
18	2. 納期・その他						
19	注文日	2022/10/4	受付	OK			
20	希望納期日	2022/10/11	納期種別	特急			
21							
22	3. 料金計算						
23	商品代金		88,200				
24	印刷料金		12,500				
25	追加料金		5,000				
26	送料		0				
27	料金合計		105,700				

シート名「商品表」

A	B	C
1	商品表	
2	個数50個につき	
3	商品コード	商品名 金額
4	CLF	クリアファイル 4,900
5	SBP	ボールペン 3,800
6	TBP	三色ボールペン 5,500
7	SHP	シャープペンシル 4,000
8	ECB	エコバッグ 3,750

シート名「印刷基本料金表」

A	B	C
1	印刷基本料金表	
2	印刷箇所数/マーク	あり なし
3	1箇所	5,000
4	2箇所	10,000
5	3箇所	13,000

シート名「書体・カラー表」

A	B
1	書体表
2	書体コード 書体
3	MC 明朝体
4	GO ゴシック
5	BG 太ゴシック
6	MG 丸ゴシック
7	SO 草書
8	GY 行書
9	TE 手書き風
10	
11	カラー表
12	カラーコード カラー
13	1 黒
14	2 赤
15	3 橙
16	4 青
17	5 空色
18	6 緑
19	7 黄緑
20	8 黄
21	9 ピンク
22	

シート名「休業日一覧表」

A	B	C
1	休業日一覧表	
2	年月日	曜日 休業日
3	2022/1/1	土 元日
4	2022/1/2	日 年始休業日
5	2022/1/3	月 年始休業日
6	2022/1/10	月 成人の日
7	2022/2/11	金 建国記念の日
8	2022/2/23	水 天皇誕生日
9	2022/3/21	月 春分の日
10	2022/4/29	金 昭和の日
11	2022/5/3	火 憲法記念日
12	2022/5/4	水 みどりの日
13	2022/5/5	木 こどもの日
14	2022/7/18	月 海の日
15	2022/8/11	木 山の日
16	2022/9/19	月 敬老の日
17	2022/9/23	金 秋分の日
18	2022/10/10	月 スポーツの日
19	2022/11/3	木 文化の日
20	2022/11/23	水 勤労感謝の日
21	2022/12/31	土 年末休業日
22	2023/1/1	日 元日
23	2023/1/2	月 年始休業日
24	2023/1/3	火 年始休業日
25	2023/12/31	日 年末休業日

作成条件

1. シート名「料金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、料金合計を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に、NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または、NG の場合、その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。
3. 商品の注文個数は50個単位としている。
4. 書体・カラーコードは、次のように3文字で構成されている。

例 MC1 → $\frac{MC}{\text{書体コード}} \frac{1}{\text{カラーコード}}$

5. 印刷できる箇所数は、文字が最大2箇所、マークが1箇所であり、あわせて最大3箇所に印刷することができる。ただし、マークのみの注文は受け付けない。
6. 印刷文字は、強制的な改行を行わずに入力する。また、全角、半角、スペースのいずれも1文字とし、1箇所につき最大10文字までプリントできる。
7. 休業日は、日曜日とシート名「休業日一覧表」に記載されている日である。また、「休業日一覧表」は1年ごとに2年分の休業日データに更新している。なお、注文日が休業日の場合や、「休業日一覧表」に記載されている最後のデータより先の日以降の場合は、受け付けることはできない。
8. 納期は、通常、注文日の翌日から14日以降である。また、特急製作として、最短で注文日の翌日から7日で納品することができ、7日目から13日目までを 特急 とする。
9. 印刷料金は、次の式で求める。ただし、文字の印刷が2色の場合、印刷基本料金の1.5を乗じた金額が、印刷基本料金となる。

例 2色の場合 「印刷基本料金 × 1.5 + (注文個数 × 商品1個の印刷単価5円)」

10. 追加料金は、納期の種別が通常の場合は、0円、特急の場合、5,000円である。
11. 送料は、商品代金と印刷料金の合計が75,000円以上の場合、無料とし、それ以外の場合、一律1,500円とする。

作成手順

1. シート名「料金計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) D6は、シート名「商品表」にある商品コードを入力する。また、H6は、D6をもとに、シート名「商品表」を参照し、商品名を表示する。
 - (2) D7は、注文個数を入力する。また、H7は、D7に入力された個数が、作成条件3を満たしている場合、OK、満たしていない場合、NG を表示する。
 - (3) D10とD11は、シート名「書体・カラー表」にある各コードを、作成条件4にしたがって入力する。
 - (4) H10は、D10をもとに、シート名「書体・カラー表」を参照し、書体 と カラー を文字列結合して表示する。ただし、入力されたコードが、3文字でない場合や、シート名「書体・カラー表」にない場合、NG を表示する。なお、D11、H11も同様にする。
 - (5) D12は、印刷する文字を入力する。また、H12は、D12が作成条件6を満たしている場合、OK を表示し、満たしていない場合、NG を表示する。なお、D13、H13も同様にする。
 - (6) H14は、印刷文字に使う色数を表示する。
 - (7) D15は、マークの印刷を希望する場合、あり、希望しない場合、なしを入力する。
 - (8) H16は、H10とH11とD15をもとに、印刷する箇所数を表示する。
 - (9) D19は、注文日を入力する。また、H19は、D19に入力された日付が、作成条件7により受付可能の場合、OK、受け付けることができない場合、NG を表示する。
 - (10) D20は、希望する納期日を入力する。また、H20は、作成条件8にしたがって、通常、または、特急 を表示する。
 - (11) D23は、D6をもとに、シート名「商品表」を参照し、数量50個分の料金を求め、注文個数分の料金を計算して商品代金を求める。
 - (12) D24は、D15とH16をもとに、シート名「印刷基本料金表」を参照し、印刷基本料金を求め、作成条件9にしたがって、印刷料金を求める。
 - (13) D25は、作成条件10にしたがって、追加料金を求める。
 - (14) D26は、作成条件11にしたがって、送料を求める。
 - (15) D27は、D23～D26の合計を求める。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。」

問1. シート名「料金計算書」のH10に設定する次の式の空欄(a), (b), (c)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(H7="",H7="NG",D10=""),"",IF((a) (D10)=3,(b) (VLOOKUP(LEFT(D10,2),書体・カラー表!\$A\$4:\$B\$10,2,FALSE)(c) VLOOKUP(VALUE(RIGHT(D10,1)),書体・カラー表!\$A\$14:\$B\$22,2,FALSE),"NG"),"NG"))

- ア. (a) LEN (b) IFERROR (c) &
 イ. (a) AND (b) IF (c))
 ウ. (a) OR (b) IFERROR (c) ,

問2. シート名「料金計算書」のH19に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(H16="",D19=""),"",IF(()

(注) WEEKDAY関数の第2引数が2の場合、戻り値として、1(月曜日)～7(日曜日)を返す。

- ア. AND(WEEKDAY(D19,2)=7,SUMIFS(休業日一覧表!A4:A41,D19)>=1,D19>=休業日一覧表!A41),"NG","OK")
 イ. AND(WEEKDAY(D19,2)=7,COUNTIFS(休業日一覧表!A4:A41,D19)=1,D19>休業日一覧表!A41),"OK","NG")
 ウ. OR(WEEKDAY(D19,2)=7,COUNTIFS(休業日一覧表!A4:A41,D19)=1,D19>休業日一覧表!A41),"NG","OK")
 エ. OR(WEEKDAY(D19,2)=7,SUMIFS(休業日一覧表!A4:A41,D19)>=1,D19>=休業日一覧表!A41),"NG","OK")

問3. シート名「料金計算書」のD23に設定する次の式の空欄をうめなさい。

=IF(OR(H20="",H20="NG"),"",VLOOKUP(D6,商品表!\$A\$4:\$C\$8,3,FALSE)*(()

問4. シート名「料金計算書」のD24に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、空欄にはすべて同じものが入る。

=IF(D23="", "", INDEX(印刷基本料金表!B4:C6, () (H16,印刷基本料金表!A4:A6,0), () (D15,印刷基本料金表!B3:C3,0))*IF(VALUE(LEFT(H14,1))=1,1,1.5)+D7*5)

ア. SEARCH

イ. FIND

ウ. MATCH

問5. シート名「料金計算書」が次のように表示されているとき、D27に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					GB

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4		問5
				(1)	(2)	

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)			
			(b)			

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)			
			(b)			

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	イ	ケ	エ	サ

【2】	1	2	3	4	5
	キ	コ	ウ	オ	ク

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	ア	イ	7.4 GB

各2点
15問

小計

30

【4】	問1	問2	問3	問4		問5
				(1)	(2)	
	ウ	イ	ア	イ	ウ	ア

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	ORDER		
			(b)	DESC		
ウ	ア		ア	イ		

各3点
10問

小計

30

【6】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	MOD		
			(b)	ROW		
イ	ABS		ア	ウ		

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	ア	ウ	D7/50	ウ	116,500

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

※ 記述問題の大文字、小文字コンマの有無は問わない。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2022年 9 月25日実施

令和 4 年度 (第 67 回)
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第 1 級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は10ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. サーバなどに接続された日付と時刻、接続元のIPアドレスやドメイン名、ファイル名などコンピュータの接続履歴を時系列で記録したもの。
2. システムを開発する前に、利用者と開発者が十分に相談しながら、開発するシステムや実装すべき機能をどのように作成するのか検討する開発工程。
3. コンピュータシステムを評価する指標の一つで、誤操作や過負荷、障害などによるデータの破壊や消失がなく、また、改ざんされていないなど、一貫性が保たれていることを表したもの。
4. システムに故障が発生した際、被害や障害を最小限におさえるため、継続的に稼働させるより停止させるなどして安全を優先する設計思想。
5. 複数のモジュールを組み合わせたプログラムを上位のモジュールから順次結合しながら検証を行うテスト。プログラムの不具合を早期発見しやすく、重要なモジュールは何度も使用されるため、モジュールの信頼性を高めることにつながる。

解答群

ア. 要件定義	イ. フェールソフト	ウ. 保守性
エ. 可用性	オ. システムログ	カ. トップダウンテスト
キ. フェールセーフ	ク. フールプルーフ	ケ. アクセスログ
コ. ボトムアップテスト	サ. 完全性	シ. 内部設計

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 共通鍵暗号方式 2. NAS 3. カプセル化
4. キュー 5. ホストアドレス

<B群>

- ア. LANに接続された端末からインターネットに接続する際、自動的にプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する技術。
- イ. データとそれを操作する手続きを一体化させ、その実装をオブジェクトの内部に隠ぺいすること。
- ウ. 後に入力されたデータが、先に入力されたデータよりも先に取り出されるデータ構造。
- エ. IPアドレスを構成する一部で、同じネットワーク内に接続された個々のコンピュータやネットワーク機器を識別するためのアドレス。
- オ. 第三者に知られたくないデータを送受信する際、暗号化と復号に同じ鍵を使用する方式。
- カ. プログラミングにおいて、目的のデータが格納されたメインメモリ上の位置情報を記憶する特殊な変数。
- キ. LANに直接接続し、複数のコンピュータから同時にアクセスすることが可能なファイルサーバとしての機能を持つ記憶装置。
- ク. IPアドレスを構成する一部で、個々のネットワークを識別するために利用するアドレス。
- ケ. 先に入力されたデータが、後に入力されたデータよりも先に取り出されるデータ構造。
- コ. 第三者に知られたくないデータを送受信する際、暗号化と復号にそれぞれ異なる鍵を使用する方式。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 16進数の 6C を8ビットの2進数に変換し、2の補数で表したものの。

ア. 10010011

イ. 10010100

ウ. 01101100

2. 10進数の各桁を、2進数に変換して4桁ずつに区切って表現したものの。

ア. 固定小数点形式

イ. 2進化10進数

ウ. 浮動小数点形式

3. 電子メールの送受信において、テキストデータ以外の音声や画像などのデータを利用可能にした規格。

ア. MIME

イ. VoIP

ウ. Cookie

4. あるプログラムやルーチンなどの実行中に、再び起動して実行し始めることができ、多重に起動されても正しく動作する性質。

ア. リスト

イ. リロケータブル

ウ. リエントラント

5. 100Mbpsの通信回線を使用して、1.8GBのデータを転送するのに必要な時間は何分か。ただし、1GB=10⁹Bとする。なお、伝送効率は80%とし、その他の外部要因は考えないものとする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(2)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている数値を探索してメッセージをディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Ban にはデータが昇順に記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されており、同じ数値はないものとする。

配列

Ban	(0)	(1)	~	(n - 2)	(n - 1)
	60	81	~	971	977

2. キーボードから入力した数値をもとに配列 Ban を探索し、見つかった場合は 該当データあり を、見つからなかった場合は 該当データなし を表示する。

解答群

- ア. Ban(t) <> Atai
 イ. j = t - 1
 ウ. Ban(t) = Atai
 エ. k = t + 1

<プログラム>

```

Sub Program1(Ban() As Long, n As Long)
  Dim Atai As Long
  Dim k As Long
  Dim j As Long
  Dim t As Long
  Atai = InputBox("値を入力してください")
  k = 0
  j = n - 1
  t = Int((k + j) / 2)
  Do While (1)
    If Ban(t) > Atai Then
      (2)
    Else
      (2)
    End If
    If k > j Then
      Exit Do
    End If
    t = Int((k + j) / 2)
  Loop
  If k <= j Then
    MsgBox ("該当データあり")
  Else
    MsgBox ("該当データなし")
  End If
End Sub

```

問2. プログラムの説明を読んで、プログラムの(3)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている文字列を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Cod には文字列が記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されている。

配列

Cod	(0)	(1)	~	(n - 1)	(n)
		ISL	~	YUG	LTU

2. 配列 Cod の文字列を降順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Cod の内容を表示する。

解答群

- ア. $Cod(j - 1) > Cod(0)$
 イ. $Cod(j)$
 ウ. $Cod(j - 1) < Cod(0)$
 エ. $g = j$
 オ. $Cod(g)$
 カ. $g <> j$

<プログラム>

```
Sub Program2(Cod() As String, n As Long)
  Dim g As Long
  Dim j As Long
  g = 2
  Do While g <= n
    Cod(0) = Cod(g)
    j = g
    Do While (3)
      Cod(j) = Cod(j - 1)
      j = j - 1
    Loop
    If (4) Then
      Cod(j) = Cod(0)
    End If
    g = g + 1
  Loop
  g = 1
  Do While g <= n
    MsgBox ((5))
    g = g + 1
  Loop
End Sub
```


【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある駅伝大会のデータを読み、駅伝大会成績一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

選手番号 (Sban) ×××	記録 (Kiroku) ××××	(第1図)

実行結果

(駅伝大会成績一覧表)		
(チーム名)	(区間)	(記録)
〇〇〇〇	1区	14分09秒
	}	}
	8区	16分29秒
	(合計記録)	2時間34分30秒
	(順位)	10位
△△△△	}	}
	(合計記録)	2時間35分23秒
	(順位)	16位
	}	}
■ ■ ■ ■	}	}
	(合計記録)	2時間29分43秒
	(順位)	優勝
	}	}

(第2図)

処理条件

1. 第1図の選手番号は次の例のように構成されている。なお、チーム番号は 1~30 であり、区間番号は 1~8 である。また、すべての選手がゴールしたものとする。

例 172 → 17 2
 チーム番号 区間番号

2. 第1図の記録は次の例のように構成されている。なお、分、秒は 0~59 である。

例 2803 → 28 03
 分 秒

3. 配列 Tmei にチーム名を記憶する。なお、Tmei の添字はチーム番号と対応している。

配列

	Tmei
(0)	
(1)	〇〇〇〇
(2)	△△△△
}	}
(30)	☆☆☆☆

4. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

・ 配列 Syukei に記録を記憶する。なお、Syukei の9列目には記録を秒数に変換し、チームの合計記録を集計する。また、Syukei の行方向の添字はチーム番号と、列方向の添字は区間番号と対応している。

配列

Syukei	(0)	(1)	(2)	~	(8)	(9)
(0)				~		
(1)				~		
(2)				~		
}	}	}	}	}	}	}
(30)				~		

(順位) (合計記録)

5. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

・ 配列 Syukei の0列目に、合計記録をもとに昇順に順位をつける。なお、合計記録が同じ場合は、同順位とする。

・ チーム名から記録までを第2図のように表示する。

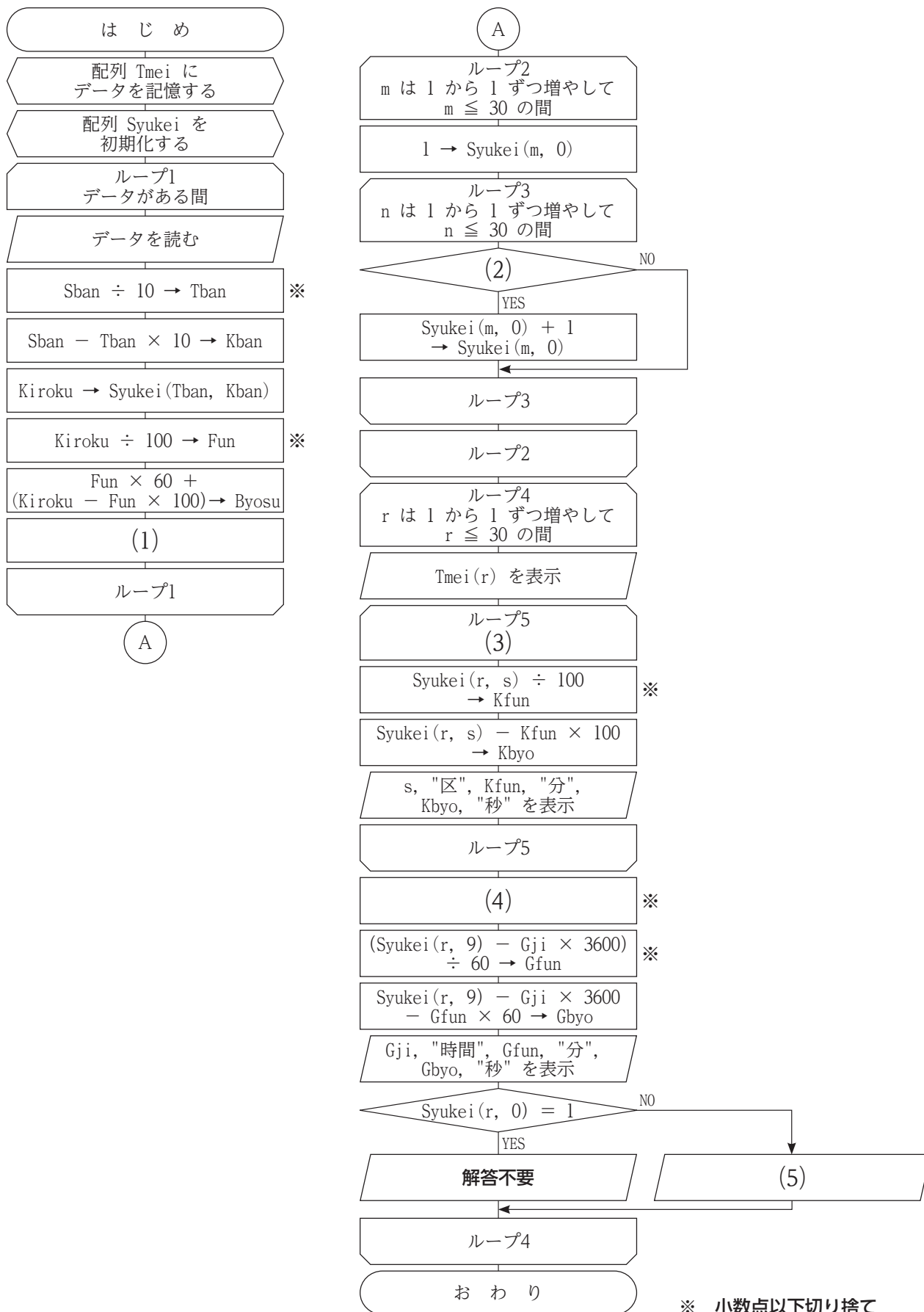
・ 合計記録、順位を第2図のように表示する。なお、順位が1位の場合は、優勝 と表示する。

6. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Syukei(r, 0), "位" を表示
 イ. Syukei(r, 9) ÷ 3600 → Gji
 ウ. Syukei(m, 9) < Syukei(n, 9)
 エ. "優勝" を表示
 オ. Syukei(m, 9) > Syukei(n, 9)
 カ. Syukei(Sban, 9) + Byosu → Syukei(Sban, 9)
 キ. s は 1 から 1 ずつ増やして s ≤ 9 の間
 ク. Syukei(Tban, 9) + Byosu → Syukei(Tban, 9)
 ケ. Syukei(r, 9) ÷ 60 → Gji
 コ. s は 1 から 1 ずつ増やして s ≤ 8 の間

<流れ図>



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるガソリンスタンドの1週間分の売上データを読み、売上集計表をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hiduke)	時刻 (Jikoku)	会員種別 (Ksyu)	油種 (Ysyu)	販売量 (Hryo)
××××	××××	×	×	×××.××

(第1図)

実行結果

(売上集計表)									
9月12日									
(時間帯)	(レギュラー)		(ハイオク)		(軽油)		(灯油)		(合計)
9時台	138.28L	21,846円	312.49L	52,689円	261.33L	35,639円	161.89L	15,804円	125,978円
10時台	218.21L	34,534円	224.38L	37,839円	154.32L	21,205円	99.04L	9,627円	103,205円
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
20時台	294.50L	46,939円	152.01L	25,778円	199.04L	27,250円	81.52L	7,924円	107,891円
(日計)	1,804.76L	285,883円	2,085.37L	350,695円	1,669.51L	228,413円	1,262.57L	121,585円	986,576円
9月13日									
9時台	18.99L	2,996円	204.62L	34,353円	276.08L	37,554円	121.17L	11,454円	86,357円
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}

(第2図)

処理条件

1. 第1図のデータは日付、時刻の昇順に記録されている。なお、日付、時刻は次の例のように構成されており、時は9~20、分は0~59である。また、会員種別は1(非会員)、2(個人会員)、3(法人会員)、油種は1(レギュラー)~4(灯油)である。

例 0919 → 9 19 1325 → 13 25
 日付 月 日 時刻 時 分

2. 次の各配列にデータを記憶する。

- 配列 Ymei に油種名を、配列 Tanka に単価を記憶する。なお、Ymei と Tanka の添字は油種と対応している。

配列

Ymei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
		レギュラー	ハイオク	軽油	灯油
Tanka	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
		160	171	139	99

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

- 日が変わるごとに、月日を第2図のように表示する。
- 会員種別ごとに、次の計算式で販売金額を求める。なお、非会員は値引きなし、個人会員は単価から2円引き、法人会員は単価から5円引きである。

$$\text{販売金額} = \text{販売量} \times (\text{単価} - \text{値引額})$$

- 配列 Rkei の0行目に時間帯ごとの販売量を、1行目に日ごとの販売量を集計する。なお、列方向の添字は油種と対応している。

配列

Rkei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
(0)					
(1)					

(時間帯計)
(日計)

- 配列 Kkei の0行目に時間帯ごとの販売金額を、1行目に日ごとの販売金額を集計する。なお、Kkei の0列目には販売金額の合計を求める。また、列方向の添字は油種と対応している。

配列

Kkei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
(0)					
(1)					

(時間帯計)
(日計)
(合計)

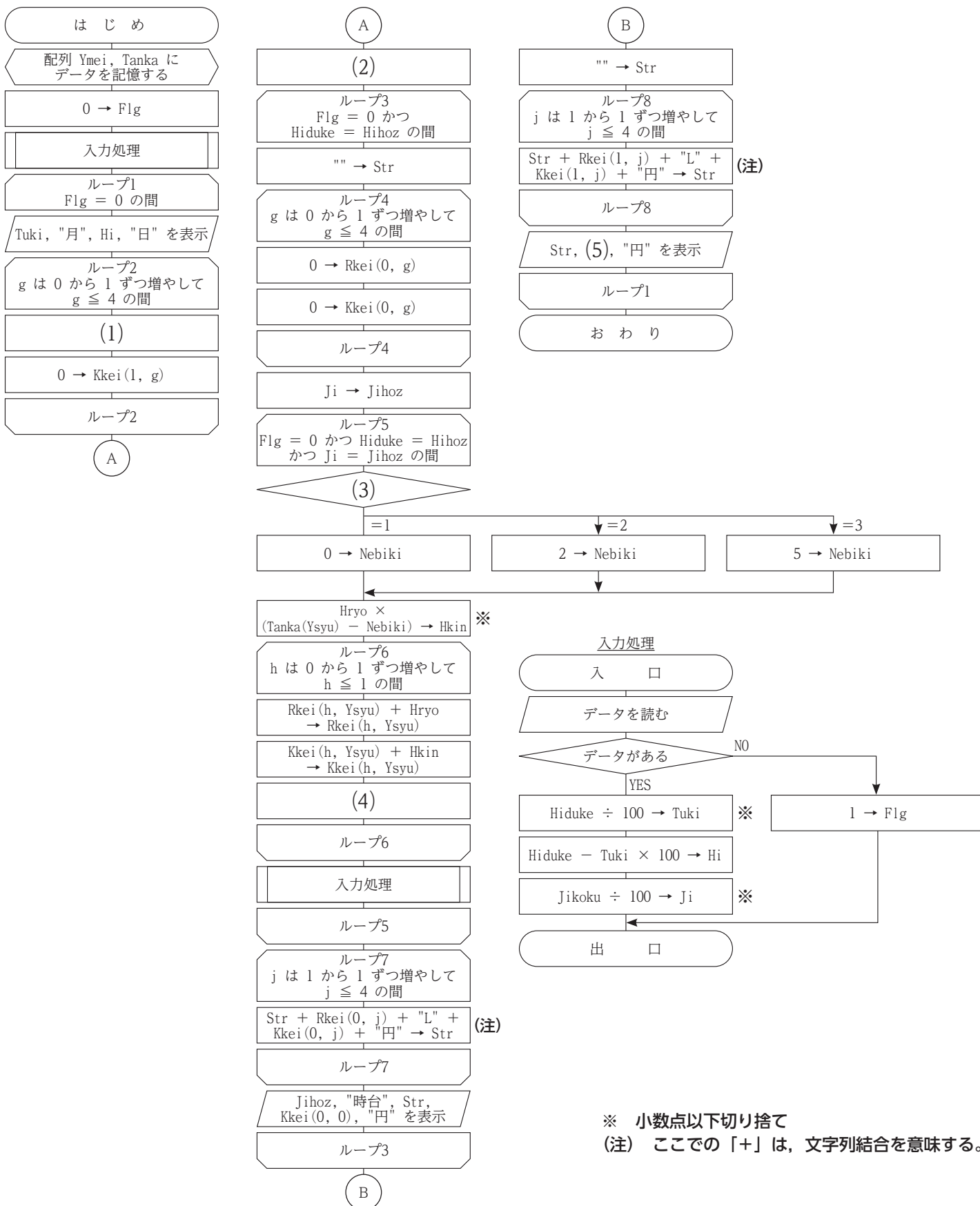
- 時が変わるごとに、時間帯から合計までを第2図のように表示する。
- 日が変わるごとに、日計を第2図のように表示する。

4. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. 0 → Rkei(0, g)
 イ. Kkei(0, 1)
 ウ. Hiduke → Hihoz
 エ. Kkei(h, 0) + Hkin → Kkei(h, 0)
 オ. Ysyu
 カ. 0 → Rkei(1, g)
 キ. Rkei(h, 0) + Hkin → Rkei(h, 0)
 ク. Kkei(1, 0)
 ケ. Ksyu
 コ. Hi → Hihoz

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て
 (注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるカルチャースクールにおける受講申し込みデータを読み、入力エラーの講座コードと店舗別受講実績、講座別受講実績をディスプレイに表示する。

入力データ

店舗番号 (Tban)	講座コード (Kcode)	受講者数 (Jsu)
×	×××	××

(第1図)

実行結果

(入力エラーの講座コード)				
N04				
H08				
(店舗別受講実績)				
(店舗名)		(受講者数合計)		(受講金額合計)
桐生店	382	2,561,000		
足利店	387	2,570,500		
館林店	418	2,783,000		
佐野店	400	2,657,500		
(講座別受講実績)				
(講座名)	(店舗名)	(受講者数)		
空手	佐野店	30	～	館林店 28
エアロビ	足利店	28	～	桐生店 27
}	}	}		}
着付け	桐生店	9	～	足利店 6
フランス語	桐生店	10	～	佐野店 2

(第2図)

処理条件

- 第1図の店舗番号は 1 (桐生店) ～ 4 (佐野店) である。
- 次の各配列にデータを記憶する。
 - 配列 Kco に講座コードを、配列 Kmei に講座名を、配列 Jryo に受講料を記憶する。なお、講座数は25講座以下である。また、Kco, Kmei, Jryo の添字は対応している。
 - 配列 Tmei に店舗名を記憶する。なお、Tmei の添字は店舗番号と対応している。

配列

Kco	Kmei	Jryo	Tmei	(0)	(1)	～	(4)
(0)	(0)	(0)			桐生店	～	佐野店
(1) S01	(1) 書道入門	(1) 4000					
(2) M01	(2) リコーダー	(2) 5000					
}	}	}					
(25)	(25)	(25)					

- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 入力した講座コードを Kco(0) に記憶する。
 - 講座コードをもとに配列 Kco を探索し、配列 Su に受講者数を集計し、受講金額を次の計算式で求め、配列 Kin に集計する。なお、Su の0行目には店舗ごとの合計を、0列目には講座コードごとの合計を求める。また、Su の行方向の添字は Kco の添字と対応し、Su の列方向の添字と Kin の添字は店舗番号と対応している。ただし、見つからなかった場合は、入力エラーの講座コードとして第2図のように表示する。

$$\text{受講金額} = \text{受講者数} \times \text{受講料}$$

配列

Su	(0)	(1)	～	(4)	Kin	(0)	(1)	～	(4)
(0)			～		(合計)			～	
(1)			～				桐生店	～	佐野店
(2)			～						
}	}	}	}	}					
(25)			～						
	(合計)	(桐生店)	～	(佐野店)					

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 店舗名から受講金額合計までを第2図のように表示する。
 - 配列 Kmei, 配列 Su を講座ごとに受講者数の合計の降順に並べ替える。
 - 配列 Work を利用して、店舗番号を受講者数の降順に並べ替え、講座名から受講者数までを第2図のように表示する。

配列

Work	(0)	(1)	～	(4)
			～	

- 講座コード以外のデータにエラーはないものとする。なお、各店舗の講座コードはエラーを含め、同一店舗で重複して入力されることはない。

解答群

ア. $k \leq f$	イ. Tmei(j)
ウ. Su(j, s)	エ. $g - 1 \rightarrow g$
オ. $g + 1 \rightarrow g$	カ. $k = \text{Max}$
キ. k は j + 1 から 1 ずつ	ク. k は 1 から 1 ずつ
ケ. Su(f, 0) + Jsu \rightarrow Su(f, 0)	コ. Su(j, Work(s))
サ. $k \leq \text{Max}$	シ. Tmei(Work(s))
ス. $j \neq \text{Max}$	セ. $k \leq f - 1$
ソ. Tmei(s)	タ. Su(g, 0) + Jsu \rightarrow Su(g, 0)

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					分

小計	
----	--

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】	(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	
			①	②		①	②

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ケ	ア	サ	キ	カ

【2】	1	2	3	4	5
	オ	キ	イ	ケ	エ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	イ	ア	ウ	3 分

各2点
15問小計
30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ア	エ	ウ	カ	オ

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ク	オ	コ	イ	ア

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	カ	ウ	ケ	エ	ク

各3点
15問小計
45

【7】	(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	
			①	②		①	②
	エ	タ	キ	ア	ス	シ	コ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各5点
5問小計
25

得点合計

100

2022年9月25日実施

令和4年度(第67回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第2級 筆記試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 第三者に内容がわからないようにある規則によって変換したデータを、元に戻すこと。
2. 企業や学校などの組織において、情報の共有やスケジュール管理などをネットワーク上でを行い、業務を効率化するためのソフトウェア。
3. プログラムの不具合やシステムの設計ミスなどによって生じる、安全性を確保する上での弱点や欠陥。
4. ネットワーク上で通信を行う際に用いられる一定の長さに分割されたデータ。送受信の際に送信元や宛先などの必要な情報を付加する。
5. コンピュータのファイルシステムにおいて、最上位のディレクトリよりも下位に作成されたすべてのディレクトリ。

解答群

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| ア. ルートディレクトリ | イ. ピアツーピア | ウ. 暗号化 |
| エ. グループウェア | オ. ファイアウォール | カ. パケット |
| キ. 復号 | ク. セキュリティホール | ケ. テザリング |
| コ. サブディレクトリ | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 産業財産権 2. IEEE 3. MIDI
4. UPS 5. ドット

<B群>

- ア. 小説、音楽、映画など、思想や感情を創作的に表現したものを保護するための権利。
- イ. 電子音楽の音の強さや音程などの演奏情報を記録する規格。記録したデータは自由に音程、音色を変えることができ、編曲する際などに使われている。
- ウ. アメリカに本部を置く、電気や情報工学分野の学術研究団体。これらの分野における規格の制定も行っている。
- エ. ディスプレイやプリンタなどにおいて、文字や画像などを表現するための構成要素となる、色情報を持たない最小単位の点。
- オ. アメリカにおける、工業規格の標準化や規格化を行う協会。自ら規格作成をするのではなく、提出された規格を承認する。
- カ. 音声データを圧縮する規格の一つ。音質をほとんど劣化させずに圧縮でき、PCやスマートフォンで音楽を聴く際などに使われている。
- キ. 補助記憶装置の一つで、磁性材料を表面に塗布させた円盤を高速回転させることにより、データを読み書きする装置。
- ク. 画像を点の集まりとして保存したファイル形式。画質の劣化はないがデータの容量が大きくなる。
- ケ. 停電などによりコンピュータ機器や設備の電力が断たれた場合に、電力を一定時間供給する電源装置。
- コ. 特許権、実用新案権、意匠権、商標権の総称。新しい発明や発想に関して模倣から保護し、独占的に使用できる権利。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 1101 と2進数の 110 との差を表す10進数。

ア. 7

イ. 14

ウ. 19

2. 企業や学校などの組織において、同一のソフトウェアを複数の機器やユーザが使用することを許可する使用許諾契約。

ア. フリーウェア

イ. サイトライセンス

ウ. ランサムウェア

3. パスワードなどの本人のみが知っている情報やICカードなどの本人のみが所持している物品、静脈などの本人の身体的特徴のうち、複数のものを組み合わせて認証を行う方式。

ア. シングルサインオン

イ. フルコントロール

ウ. 多要素認証

4. スマートフォンやタブレットなどのネットワーク接続に対応した機器同士の無線接続を保証する規格。

ア. SSID

イ. Wi-Fi

ウ. OSS

5. ある図書館におけるビジネス・経済書籍貸出表と、政治・社会書籍貸出表を積集合した仮想表を作成する。作成された仮想表のレコード件数。

ビジネス・経済書籍貸出表

利用者番号	利用者名
1105	上村 ○○
1113	久保 ○○
1119	瀬川 ○○
1120	谷口 ○
1125	松田 ○○○
1132	安原 ○○
1135	渡辺 ○○

政治・社会書籍貸出表

利用者番号	利用者名
1101	相田 ○○
1105	上村 ○○
1110	金原 ○○
1115	小久保 ○
1118	鈴木 ○○
1120	谷口 ○
1128	目黒 ○○○
1132	安原 ○○
1134	吉浦 ○○

ア. 3

イ. 4

ウ. 13

- 【4】 ある音楽動画配信サービス会社では、購入された作品を次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。なお、DVD購入価格はダウンロード価格の1.5倍である。

動画表

動画コード	動画名	出演者コード	ダウンロード価格
M01	THE SOUL	A001	2300
M02	冬眠	A005	1200
M03	野兎	A003	2500
M04	in 北海道	A005	800
M05	chocolat	A004	1200
M06	1stワンマン	A002	3200
M07	herbivorous	A003	3800
M08	ACE	A001	2700

出演者表

出演者コード	出演者名	ジャンル
A001	SOUL	ロック
A002	大袋	ポップス
A003	hare	ジャズ
A004	cocoa	ポップス
A005	badgers	ロック

利用表

利用日	顧客コード	動画コード	利用種別
2022/08/01	C0004	M08	2
2022/08/01	C0003	M02	2
2022/08/02	C0009	M03	1
2022/08/03	C0001	M05	1
2022/08/04	C0005	M05	1
2022/08/05	C0008	M02	1
2022/08/07	C0005	M05	2
2022/08/07	C0002	M03	1
2022/08/08	C0001	M06	1
2022/08/08	C0007	M03	2
2022/08/09	C0009	M06	1
2022/08/09	C0002	M02	2
2022/08/11	C0001	M03	1
2022/08/11	C0007	M07	1
2022/08/12	C0002	M07	1
2022/08/12	C0003	M01	2
2022/08/12	C0006	M04	1
2022/08/13	C0006	M02	1
2022/08/14	C0009	M06	2
2022/08/14	C0005	M06	1
2022/08/15	C0008	M01	1
2022/08/15	C0004	M01	2

顧客表

顧客コード	顧客名	性別	年齢
C0001	山下 ○○	女	18
C0002	小池 ○○	男	35
C0003	多田 ○○	男	27
C0004	加瀬 ○○	女	42
C0005	渡辺 ○○	女	20
C0006	広田 ○○	男	39
C0007	河野 ○○	女	64
C0008	清瀬 ○○	男	34
C0009	宮本 ○○	男	19

(注) 「利用種別」は、1 がダウンロード、2 がDVD購入である。

- 問1. 動画表の主キーと外部キーの組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、主キーは必要最低限かつ十分な条件を満たしていること。

(主キー)

ア. 動画コード

イ. 動画コード

ウ. 出演者コード

(外部キー)

なし

出演者コード

動画コード

問2. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 出演者名
FROM 出演者表
WHERE ジャンル = 'ポップス'
```

ア.

出演者名
大袋
cocoa

イ.

出演者名
SOUL
hare
badgers

ウ.

出演者名
SOUL
badgers

問3. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 動画名
FROM 動画表, 利用表
WHERE 動画表.動画コード = 利用表.動画コード
AND 利用日 = '2022/08/11'
```

ア.

動画名
ACE
冬眠

イ.

動画名
野兎
herbivorous

ウ.

動画名
1stワンマン
冬眠

問4. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 顧客名, ダウンロード価格 * 1.5 AS 金額
FROM 動画表, 顧客表, 利用表
WHERE 動画表.動画コード = 利用表.動画コード
AND 顧客表.顧客コード = 利用表.顧客コード
AND ダウンロード価格 >= 2500
AND 利用種別 = 2
```

ア.

顧客名	金額
加瀬 ○○	4050
河野 ○○	3750

イ.

顧客名	金額
宮本 ○○	3750
小池 ○○	3750
山下 ○○	3750

ウ.

顧客名	金額
加瀬 ○○	4050
河野 ○○	3750
宮本 ○○	4800

問5. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

```
SELECT COUNT(*) AS 実行結果
FROM 顧客表
WHERE 性別 = '女'
AND 年齢 <= 20
```

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるクリーニング店における洗濯物仕上がり日計算表である。このクリーニング店では、仕上がり日は3営業日後である。受付日から3日以内に日曜日が含まれる場合、仕上がり日は4日後となる。「受け付け」の「日付」をもとに「仕上がり」の「日付」を求める。B5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、この店の定休日は、日曜日のみである。

	A	B	C
1			
2	洗濯物仕上がり日計算表		
3		日付	曜日
4	受け付け	2022/9/23	金
5	仕上がり	2022/9/27	火

- ア. =IF(WEEKDAY(B4,2)=7,B4+5,B4+2)
 イ. =IF(WEEKDAY(B4,2)>=4,B4+3,B4+4)
 ウ. =IF(WEEKDAY(B4,2)>=4,B4+4,B4+3)

(注) WEEKDAY関数の第2引数が 2 の場合、戻り値として、1 (月曜日) ~ 7 (日曜日) を返す。

問2. 次の表は、10進数値→2進数値変換表である。B3に入力された10進数を、2進数に変換して「2進数値」に表示する。B6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をI6までコピーする。なお、入力する10進数は1~255の整数とする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	10進数値→2進数値変換表								
3	10進数値	83							
4									
5	桁の重み	128	64	32	16	8	4	2	1
6	2進数値	0	1	0	1	0	0	1	1

- ア. =INT(MOD(\$B\$3,B5)/2)
 イ. =MOD(INT(\$B\$3/B5),2)
 ウ. =INT(MOD(B3,B5)/2)

問3. 次の表は、ある氷菓子販売店における販売数および販売額一覧表である。「販売額」は、季節ごとに「値引率」を引いた「単価」に「販売数」を掛けて求める。G9に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をJ12までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	販売数および販売額一覧表									
3							値引率			
4							春季	夏季	秋季	冬季
5							10%	0%	10%	20%
6										
7			販売数				販売額			
8	品名	単価	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
9	A品	300	800	1,520	940	650	216,000	456,000	253,800	156,000
10	B品	450	620	1,060	810	510	251,100	477,000	328,050	183,600
11	C品	480	700	1,240	1,000	870	302,400	595,200	432,000	334,080
12	D品	520	230	450	280	200	107,640	234,000	131,040	83,200

$$= \text{a} * (1 - \text{b}) * \text{C9}$$

- ア. \$G\$5 イ. B\$9 ウ. \$G5
 エ. \$B\$9 オ. G\$5 カ. B\$9

問4. 次の表は、ある高等学校における学校説明会の第1回から第3回の参加者数表と、それを集計する合計参加者数表である。シート名「合計」のC4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

シート名「第1回」

	A	B	C	
1				
2	第1回参加者数表			
3	学科名	区分	人数	
4	普通科	生徒	125	
5		保護者	96	
6	商業科	生徒	163	
7		保護者	124	
8				
	第1回	第2回	第3回	合計

シート名「第2回」

	A	B	C	
1				
2	第2回参加者数表			
3	学科名	区分	人数	
4	普通科	生徒	221	
5		保護者	187	
6	商業科	生徒	254	
7		保護者	230	
8				
	第1回	第2回	第3回	合計

シート名「第3回」

	A	B	C	
1				
2	第3回参加者数表			
3	学科名	区分	人数	
4	普通科	生徒	184	
5		保護者	160	
6	商業科	生徒	185	
7		保護者	145	
8				
	第1回	第2回	第3回	合計

シート名「合計」

	A	B	C	
1				
2	合計参加者数表			
3	学科名	区分	人数	
4	普通科	生徒	530	
5		保護者	443	
6	商業科	生徒	602	
7		保護者	499	
8				
	第1回	第2回	第3回	合計

- ア. =SUM(第1回:第3回!C4)
 イ. =AVERAGE(第1回:第3回!C4)
 ウ. =SUM(合計!C4)

問5. 次の表は、関東地区における区間別旅客数ランキングである。D80は、「発地」が羽田以外の「旅客数」の合計を表示する。D80に設定する式として適切なものを選び記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	関東地区における区間別旅客数ランキング			
3	順位	発地	着地	旅客数
4	1	羽田	新千歳	9,058,751
5	2	羽田	福岡	8,725,291
6	3	羽田	那覇	5,961,204
7	4	羽田	伊丹	5,478,443
8	5	羽田	鹿児島	2,518,890
9	}	}	}	}
69	66	茨城	那覇	90,068
70	67	成田	仙台	84,572
71	68	羽田	中標津	78,969
72	69	成田	石垣	74,373
73	70	羽田	紋別	67,773
74	71	成田	長崎	59,611
75	72	成田	新潟	32,942
76	73	成田	高知	28,610
77	74	羽田	久米島	14,635
78	75	成田	下地島	694
79	旅客数総計			69,776,033
80	うち羽田発以外の旅客数			7,705,408

- ア. =D79-SUMIFS(B4:B78,D4:D78,"羽田")
 イ. =D79-SUMIFS(D4:D78,B4:B78,"羽田")
 ウ. =SUMIFS(D4:D78,B4:B78,"羽田以外")

【6】 次の表は、あるフォトコンテストにおける一次審査結果表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	フォトコンテスト一次審査結果表										
2	フォトコンテスト一次審査結果表										
3	フォトコンテスト一次審査結果表										
4	No.	参加者名	部門	表現性		独創性		瞬間性		得点合計	結果
5				得点	評価	得点	評価	得点	評価		
6	S01J	大西 ○○	人物	65	B	71	B	100	A	236	※
7	S02F	大沢 ○○	風景	34	C	91	B	89	B	214	※
8	S03D	池 ○○	動物	93	B	96	A	80	B	269	※
9	S04D	永沢 ○○	動物	73	B	34	C	87	B	194	※
10	S05F	佐藤 ○○	風景	71	B	70	B	76	B	217	※
11	S06J	恩田 ○○	人物	31	C	78	B	33	C	142	※
12	S07J	星 ○○	人物	75	B	46	C	42	C	163	※
13	S08D	須賀 ○○	動物	85	B	89	B	65	B	239	※
14	S09F	大出 ○○	風景	76	B	90	B	85	B	251	※
15	S10D	近藤 ○○	動物	70	B	56	C	78	B	204	※
16	S11J	江川 ○○	人物	89	B	69	B	77	B	235	※
17	S12J	城 ○○	人物	99	A	99	A	82	B	280	※
18	S13D	水村 ○○	動物	72	B	57	C	52	C	181	※
19	S14D	村上 ○○	動物	57	C	95	A	73	B	225	※
20	S15F	小泉 ○○	風景	50	C	100	A	84	B	234	※
21											
22	部門別集計表			評価表				得点合計上位者一覧表			
23	コード	部門	平均	得点		評価		順位	得点合計	参加者名	
24	F	風景	229.0	0 ~ 59		C		1	280	城 ○○	
25	D	動物	218.7	60 ~ 94		B		2	269	池 ○○	
26	J	人物	211.2	95 ~ 100		A		3	251	大出 ○○	

(注) ※印は、値の表記を省略している。

作成条件

- 「フォトコンテスト一次審査結果表」は、次のように作成する。なお、「得点合計」に同点はないものとする。
 - 「No.」は次のように構成されている。
例 S01J → S 01 J
選手コード 選手番号 部門コード
 - 「部門」は、「No.」の右端から1文字を抽出し、「部門別集計表」を参照して表示する。
 - 「表現性」の「評価」は、「得点」をもとに、「評価表」を参照して表示する。なお、「独創性」、「瞬間性」の「評価」も同様に求める。
 - 「得点合計」は、「表現性」から「瞬間性」の「得点」の合計を求める。
 - 「結果」は、K6に次の式を設定し、K20までコピーする。
=IF(OR(COUNTIFS(D6:I6,"A")>=1,J6>=250),"通過","")
- 「部門別集計表」の「平均」は、「部門」ごとに「フォトコンテスト一次審査結果表」の「得点合計」の平均を求める。ただし、小数第1位未満を四捨五入し、小数第1位まで表示する。
- 「得点合計上位者一覧表」は、次のように作成する。
 - 「得点合計」は、「フォトコンテスト一次審査結果表」の「得点合計」における上位3位を表示する。
 - 「参加者名」は、「得点合計」をもとに、「フォトコンテスト一次審査結果表」を参照して、「参加者名」を表示する。

問1. C6に設定する式として、適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC20までコピーする。

- ア. =VLOOKUP(MID(A6,2,1), \$A\$24:\$B\$26, 2, FALSE)
- イ. =VLOOKUP(RIGHT(A6,1), \$A\$24:\$B\$26, 2, FALSE)
- ウ. =VLOOKUP(RIGHT(A6,1), \$A\$24:\$B\$26, 2, TRUE)

問2. K6~K20に表示される 通過 の数を答えなさい。

問3. C24に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=ROUND(AVERAGEIFS(), 1)

- ア. \$J\$6:\$J\$20, \$C\$6:\$C\$20, B24
- イ. \$C\$6:\$C\$20, \$J\$6:\$J\$20, B24
- ウ. \$C\$6:\$C\$20, B24, \$J\$6:\$J\$20

問4. J24に設定する式として、適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =LARGE(\$J\$6:\$J\$20, J6)
- イ. =LARGE(\$J\$6:\$J\$20, I24)
- ウ. =LARGE(\$B\$6:\$B\$20, I24)

問5. K24に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

= (a) (\$B\$6:\$B\$20, (b) (J24, \$J\$6:\$J\$20, 0), 1)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ア. MATCH | イ. SEARCH | ウ. INDEX |
| エ. MAX | オ. FIND | カ. MIN |

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	
					(a)	(b)

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	キ	エ	ク	カ	コ

【2】	1	2	3	4	5
	コ	ウ	イ	ケ	エ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	イ	ウ	イ	ア

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	ア	イ	ウ	2

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		
	ウ	イ	カ	オ	ア	イ

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	
					(a)	(b)
	イ	6	ア	イ	ウ	ア

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2022年9月25日実施

令和4年度（第67回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第2級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

次の表は、あるフッキング教室における経営分析報告書である。作成条件にしたがって、シート名「講座表」とシート名「集計表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数〕

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 講座別集計表」は、次のように作成する。

(1) 「講座名」は、「コード」をもとに、シート名「講座表」を参照して表示する。

(2) 「講座数」は、シート名「集計表」から「コード」ごとの件数を求める。

(3) 「参加人数計」は、シート名「集計表」から「コード」ごとに「参加人数」の合計を求める。

(4) 「売上金額計」は、シート名「集計表」から「コード」ごとに「売上金額」の合計を求める。

(5) 「順位」は、「売上金額計」を基準として、降順に順位を求める。

(6) 「備考」は、「参加人数計」が 100 以上、または「売上金額計」が 200000 以上の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

5. 「2. コース別集計表」は、次のように作成する。

(1) 「参加人数合計」は、シート名「集計表」から「コース」ごとに「参加人数」の合計を求める。

(2) 「売上金額合計」は、シート名「集計表」から「コース」ごとに「売上金額」の合計を求める。

(3) 「合計」は、各列の合計を求める。

(4) 「平均売上金額」は、シート名「集計表」から「コース」ごとに「売上金額」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。

(5) 「割合」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

「売上金額合計 ÷ 売上金額合計の合計」

6. 複合グラフは、「2. コース別集計表」から作成する。

(1) 数値軸（縦軸）の目盛は、最小値（150）、最大値（400）および間隔（50）を設定する。

(2) 第2数値軸（縦軸）の目盛は、最小値（5,000）、最大値（30,000）および間隔（5,000）を設定する。

(3) 軸ラベルの方向を設定する。

(4) 凡例の位置を設定する。

(5) データラベルを設定する。

	A	B	C	D
1				
2	講座表			
3	コード	講座名	コース	金額
4	BA1	デミハンバーグ	ベーシック	2,100
5	BA2	さばのみそ煮	ベーシック	2,000
6	}	}	}	}
16	EX3	野菜コロッケ	エキスパート	2,100
17	EX4	ロールキャベツ	エキスパート	1,500

(講座表)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	集計表					
3	番号	開講日	コード	コース	参加人数	売上金額
4	1	2022/8/1	AD2	アドバンス	6	13,800
5	2	2022/8/1	BA1	ベーシック	14	29,400
6	}	}	}	}	}	}
92	89	2022/8/30	BA3	ベーシック	17	30,600
93	90	2022/8/30	EX4	エキスパート	8	12,000

(集計表)

	A	B	C	D	E	F	G	H
--	---	---	---	---	---	---	---	---

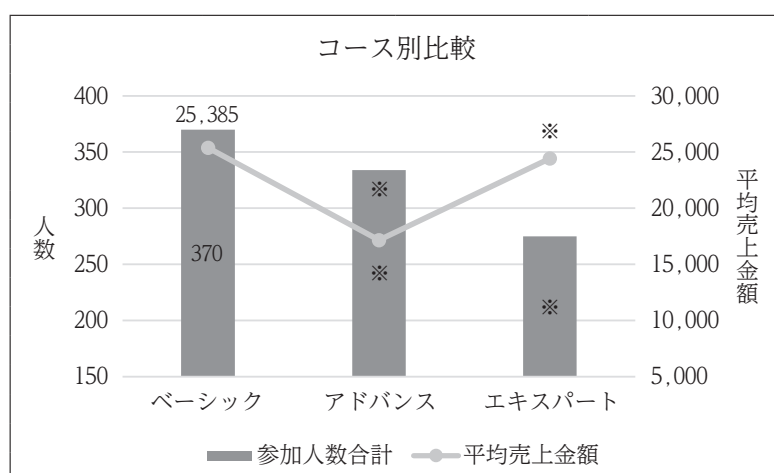
経営分析報告書

1. 講座別集計表

コード	講座名	講座数	参加人数計	売上金額計	順位	備考
BA3	チーズケーキ	7	102	183,600	3	○
BA1	※	※	※	※	※	※
BA4	※	※	※	※	※	※
BA2	※	※	※	※	※	※
EX4	※	※	※	※	※	※
EX1	※	※	※	※	※	※
AD6	※	※	※	※	※	※
AD1	※	※	※	※	※	※
EX3	※	※	※	※	※	※
EX2	※	※	※	※	※	※
AD2	※	※	※	※	※	※
AD4	※	※	※	※	※	※
AD5	※	※	※	※	※	※
AD3	※	※	※	※	※	※

2. コース別集計表

コース	参加人数合計	売上金額合計	平均売上金額	割合
ベーシック	370	660,000	25,385	33.8%
アドバンス	※	※	※	※
エキスパート	※	※	※	※
合計	※	※		



(報告書)

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技

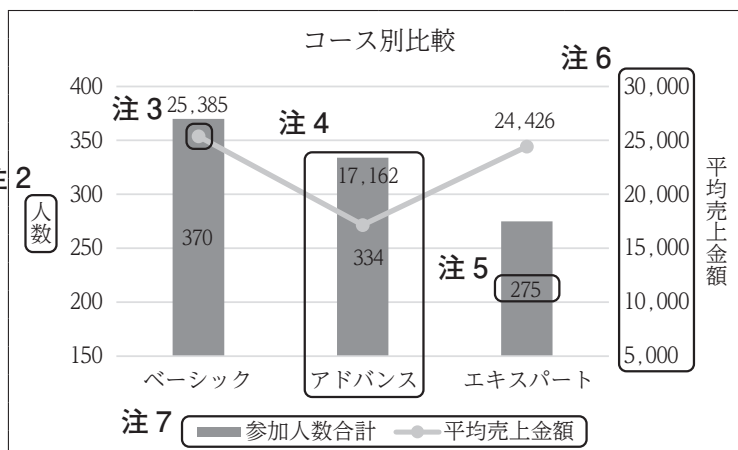
審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H
1	経営分析報告書						
2							
3							
4	1. 講座別集計表						
5	コード	講座名	講座数	参加人数計	売上金額計	順位	備考
6	BA3	チーズケーキ	7	102	183,600	3	○
7	BA1	デミハンバーグ	7	100	210,000	2	○
8	BA4	基本の肉じゃが	6	87	104,400	10	
9	BA2	さばのみそ煮	6	81	162,000	5	
10	EX4	ロールキャベツ	7	80	120,000	9	
11	EX1	ホールケーキ	7	76	266,000	1	○
12	AD6	炊き込みご飯	6	67	80,400	13	
13	AD1	ガトーショコラ	7	63	176,400	4	
14	EX3	野菜コロッケ	7	60	126,000	7	
15	EX2	バームクーヘン	6	59	147,500	6	
16	AD2	チキンソテー	7	53	121,900	8	
17	AD4	海鮮チリソース	5	52	88,400	12	
18	AD5	白玉あんみつ	6	50	65,000	14	
19	AD3	ビーフシチュー	6	49	102,900	11	

注1

2. コース別集計表

コース	参加人数合計	売上金額合計	平均売上金額	割合
ベーシック	370	660,000	25,385	33.8%
アドバンス	334	635,000	17,162	32.5%
エキスパート	275	659,500	24,426	33.7%
合計	979	1,954,500		



配点

- ① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点
 注1 EX1が○,AD6が空白。
- ② 罫線 …… 5点×1箇所=5点 (2つの表の罫線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 … 5点×6箇所=30点
 注2 方向。
 注3 ベーシックの平均売上金額が折れ線グラフであること。マーカーの有無は問わない。
 注4 アドバンスの参加人数合計が集合縦棒グラフであること。データラベルの有無は問わない。
 注5 数値(275)。
 注6 最小値 (5,000), 最大値 (30,000) および間隔 (5,000)。
 注7 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

2022年 9 月 25 日 実施

令和 4 年度 (第 67 回)
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第 2 級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は 50 分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 1010 と10進数の 7 との和を表す2進数。

ア. 1111

イ. 10001

ウ. 11001

2. 磁気ディスク装置において、複数の磁気ディスクの同心円状にある記録領域の集まり。アクセスアームを動かさずに読み書きができる。

ア. セクタ

イ. トラック

ウ. シリンダ

3. インターネット上の動画や音声データを再生する際、データを受信しながら同時に再生する方式。

ア. ストリーミング

イ. ピアツーピア

ウ. グループウェア

4. 標準では静止画を無圧縮で記録するため画質は劣化しないが、容量が相対的に大きくなるファイル形式。

ア. MP3

イ. BMP

ウ. CSV

5. 1枚につき解像度4,000×2,000ピクセルの画像200枚を、フルカラーで圧縮せずに保存する場合の記憶容量。ただし、フルカラーは24ビットカラーとし、1GB=10⁹Bとする。

ア. 4.8GB

イ. 14.4GB

ウ. 38.4GB

【4】 プログラムにしたがって処理するとき、(1)～(5)を答えなさい。なお、入力する a の値は 10 以上の整数とする。

- (1) a の値が 208 のとき、㉞の処理を何回実行するか答えなさい。
- (2) a の値が 208 のとき、㉝で出力される f の値を答えなさい。
- (3) a の値が 82735 のとき、㉞の処理を3回目に実行したあとの e の値を答えなさい。
- (4) a の値が 82735 のとき、㉝で出力される f の値を答えなさい。
- (5) プログラムの処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。ア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 処理を終了したとき、f の値は必ず 11 である。
 - イ. 処理を終了したとき、f の値は必ず 10 以上である。
 - ウ. 処理を終了したとき、f の値は必ず 11 未満である。

<プログラム>

```
Sub Program1()
  Dim a As Long
  Dim c As Long
  Dim d As Long
  Dim sw As Long
  Dim e As Long
  Dim f As Long
  Dim g As Long
  a = Val(InputBox("値を入力してください"))
  c = 0
  d = 0
  sw = 0
  Do While a >= 1
    e = Int(a / 10) ㉞
    f = a - e * 10
    a = e
    If sw = 0 Then
      c = c + f
      sw = sw + 1
    Else
      d = d + f
      sw = sw - 1
    End If
  Loop
  g = c - d
  e = Int(g / 11)
  f = g - e * 11
  MsgBox (f) ㉝
End Sub
```

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるフードデリバリーサービス会社の1か月分の配達データを読み、報酬額一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

配達員名 (Mei) ×～×	配達回数 (Kai) ××	配達距離(km) (Kyo) ×××

(第1図)

実行結果

(報酬額一覧)			
(配達員名)	(配達回数)	(配達距離(km))	(報酬額)
折本 ◇◇	39	117	24,180
森中 ○○	72	216	44,640
}	}	}	}
岡原 □□	35	70	20,300
橋村 ▲▲	59	59	31,860
(報酬額計)			298,400
(報酬額の平均)			27,127
(最高報酬額)			44,640
(最高報酬額の配達員名)		森中	○○

(第2図)

処理条件

- 第1図の入力データを読み、報酬額を次の計算式で求め、第2図のように表示する。

$$\text{報酬額} = \text{配達回数} \times 500 + \text{配達距離(km)} \times 40$$

- 入力データが終了したら、報酬額計を第2図のように表示する。

- 報酬額の平均を次の計算式で求め、報酬額の平均、最高報酬額、最高報酬額の配達員名を第2図のように表示する。なお、最高報酬額は同じ報酬額があった場合、先に入力されたデータを優先する。

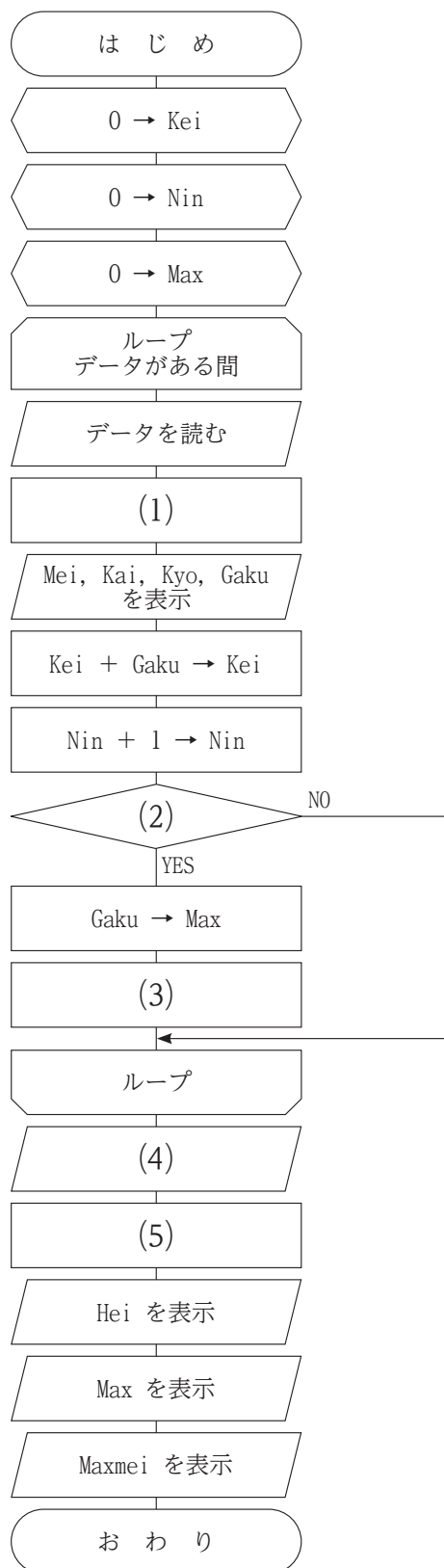
$$\text{報酬額の平均} = \text{報酬額計} \div \text{配達員の人数}$$

- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. $\text{Max} \div \text{Nin} \rightarrow \text{Hei}$
 イ. $\text{Gaku} < \text{Max}$
 ウ. $\text{Kei} \div \text{Nin} \rightarrow \text{Hei}$
 エ. $\text{Kai} \times 500 + \text{Kyo} \times 40 \rightarrow \text{Gaku}$
 オ. $\text{Gaku} > \text{Max}$
 カ. Nin を表示
 キ. $\text{Mei} \rightarrow \text{Maxmei}$
 ク. Kei を表示
 ケ. $\text{Kyo} \times 500 + \text{Kai} \times 40 \rightarrow \text{Gaku}$
 コ. $\text{Nin} \rightarrow \text{Maxmei}$

<流れ図>



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるマッサージチェーン店の1か月分の利用者データを読み、店舗別売上一覧表と分類別利用者人数一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

店舗番号 (Tban)	利用者区分 (Rku)	コースコード (Kcode)	売上金額 (Ukin)
×	×	×××	×～×

(第1図)

実行結果

(店舗別売上一覧表)			
(店舗名)	(施術時間計(分))	(売上金額計(円))	(備考)
本店	28,410	2,897,300	◎
}	}	}	}
商店街店	15,300	1,483,800	
駅ナカ店	14,725	1,729,800	○
(合計)		11,516,400	
(分類別利用者人数一覧表)			
(分類名)	(会員計)	(非会員計)	(利用者計)
もみほぐし	792	327	1,119
}	}	}	}
全身	376	142	518
(合計)	1,952	834	2,786

(第2図)

処理条件

1. 第1図の店舗番号は1(本店)～6(駅ナカ店)の6種類であり、利用者区分は1(会員)と2(非会員)である。なお、コースコードは、次のように構成されており、分類番号は1(もみほぐし)～4(全身)の4種類、施術時間(分)は施術を行う時間(分)が記録されている。

例 115 → 1 15
分類番号 施術時間(分)

2. 配列 Tmei に店舗名を、配列 Bmei に分類名を記憶する。なお、Tmei の添字は店舗番号と対応し、Bmei の添字は分類番号と対応している。

配列

Tmei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
		本店	大通り店	空港店	駅前店	商店街店	駅ナカ店
Bmei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)		
		もみほぐし	足つぼ	ハンド・ヘッド	全身		

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

・ 店舗ごとに配列 Ukei に売上金額を、配列 Jkei に施術時間(分)を集計する。なお、Ukei(0) には売上金額の合計を求める。また、Ukei, Jkei の添字は店舗番号と対応している。

配列

Ukei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(合計)							
Jkei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

・ 利用者区分が1の場合は分類番号ごとの利用者人数を配列 Knin に集計し、利用者区分が2の場合は分類番号ごとの利用者人数を配列 Hnin に集計する。なお、Knin(0) と Hnin(0) には利用者区分ごとの合計を求める。また、Knin, Hnin の添字は分類番号と対応している。

配列

Knin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
Hnin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
(合計)					

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

・ 店舗名から備考までを第2図のように表示する。なお、備考は売上金額計(円)が2000000以上の場合は◎を、1500000以上2000000未満の場合は○を表示する。

・ 売上金額合計を第2図のように表示する。

・ 分類ごとの利用者計を次の計算式で求め、分類名から利用者計までを第2図のように表示する。

利用者計 = 会員計 + 非会員計

・ 利用者人数の合計を次の計算式で求め、第2図のように表示する。

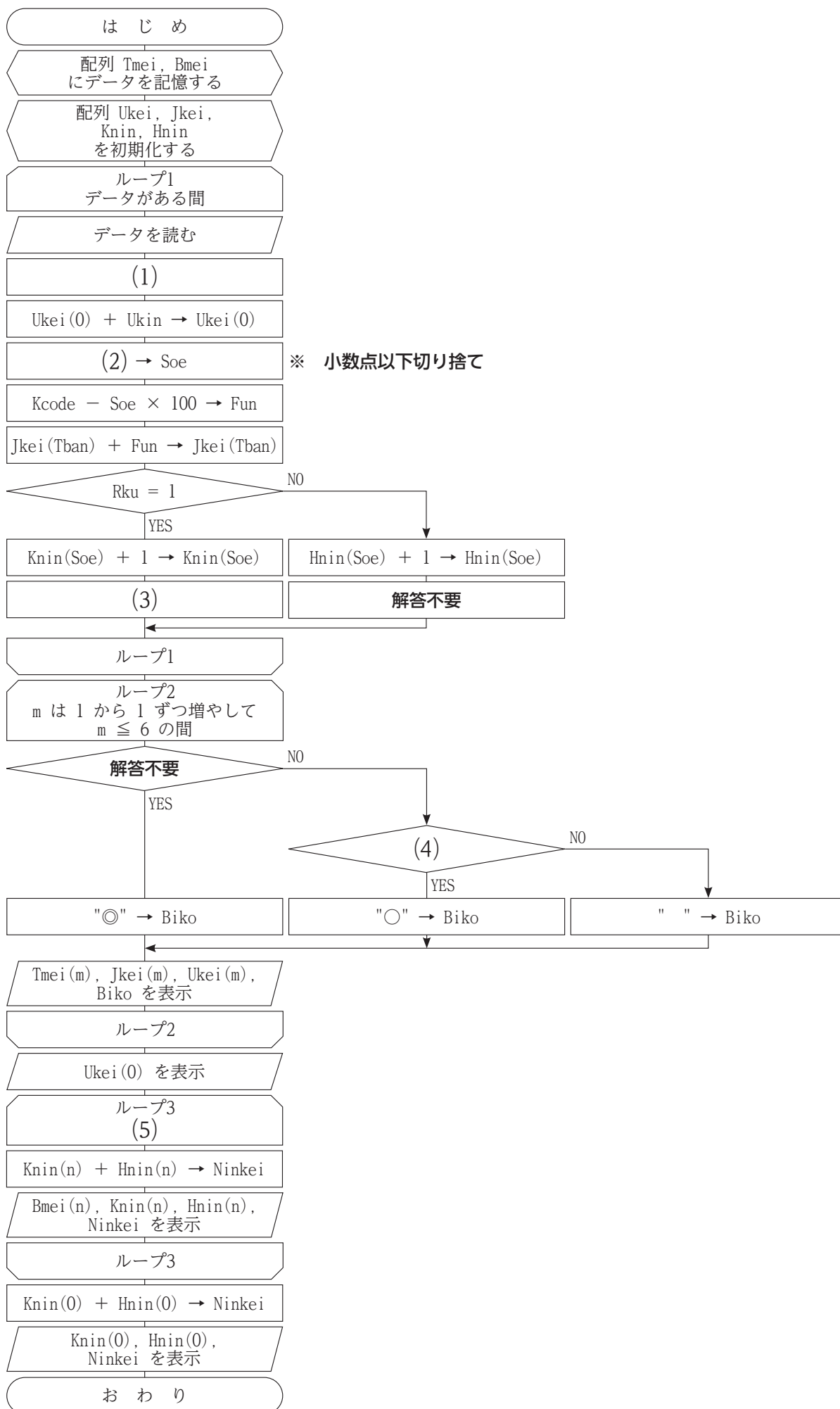
利用者人数の合計 = 会員計の合計 + 非会員計の合計

5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. $Ukin \div 100$
 イ. $Ukei(Tban) + Ukin \rightarrow Ukei(Tban)$
 ウ. $Hnin(0) + 1 \rightarrow Hnin(0)$
 エ. $Ukei(Kcode) + Ukin \rightarrow Ukei(Kcode)$
 オ. $Knin(0) + 1 \rightarrow Knin(0)$
 カ. $Ukei(m) \geq 1500000$
 キ. n は 1 から 1 ずつ増やして $n \leq 4$ の間
 ク. $Ukei(m) \leq 1500000$
 ケ. n は 1 から 1 ずつ増やして $n < 4$ の間
 コ. $Kcode \div 100$

<流れ図>



【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある地域の農業用水路の1日(24時間)の調査データを読み、調査結果をディスプレイに表示する。

入力データ

時分 (Jifun) ××××	用水路コード (Ycode) ××	調査数値		
		調査数値1 (Tdata1) ×～×	調査数値2 (Tdata2) ×～×	調査数値3 (Tdata3) ×～×

(第1図)

実行結果

(調査結果)				
(時分)	(用水路コード)	(調査数値1)	(調査数値2)	(調査数値3)
0001	B2	7.3	95.6	5.8
}	}	}	}	}
0208	D7	7.4	99.9	6.2
}	}	}	}	}
2359	Z4	7.1	100.0	4.8
(用水路調査箇所名) (用水路コード) (基準値超え回数) (割合(%))				
元町安藤	MA	0	0.0	
}	}	}	}	
大門七号	D7	5	13.9	
}	}	}	}	
馬場Q号	BQ	1	2.8	
(用水路コードを入力)D7				
(時分)0208 (基準値を超えた調査数値)3 [6.2]				
}	}			

(第2図)

処理条件

1. 第1図の用水路コードは次の表のように40種類である。なお、5路の用水路はそれぞれ8か所の調査箇所がある。

用水路(5路)	元町(1路目)	～	馬場(5路目)
調査箇所名(8か所)	元町安藤～元町城南	～	馬場の柵～馬場Q号
用水路コード	MA～MZ	～	BS～BQ

2. 配列 Ycod に用水路コードを、配列 Ymei に用水路調査箇所名を、配列 Kdat に検査用の基準値を記憶する。なお、Ycod と Ymei の添字は対応している。

配列

Ycod	(0)	(1)	～	(8)	～	(33)	～	(40)
		MA	～	MZ	～	BS	～	BQ
Ymei	(0)	(1)	～	(8)	～	(33)	～	(40)
		元町安藤	～	元町城南	～	馬場の柵	～	馬場Q号
Kdat	(0)	(1)	(2)	(3)				
		7.6	101.1	6.1				

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

- 配列 Tdat に調査数値のデータを記憶する。また、Tdat の添字は配列 Kdat の添字と対応している。
- 時分から調査数値3までを、第2図のように表示する。
- 用水路コードをもとに配列 Ycod を探索し、調査数値が検査用の基準値を超えている場合、配列 Kkai に基準値超え回数を求め、Kkai(0)に基準値超え回数の合計を求め、配列 Wcod に用水路コードを記憶し、配列 Wdat に時分、Kdat の添字、基準値を超えた調査数値を結合し記憶する。なお、Kkai の添字は Ycod の添字と対応しており、Wcod と Wdat の添字は対応している。また、Wcod と Wdat は調査に十分な範囲が用意されており、基準値超え回数の合計が 0 になることはない。

配列

Tdat	(0)	(1)	(2)	(3)				
					(調査数値1)	(調査数値2)	(調査数値3)	
Kkai	(0)	(1)	～	(8)	～	(33)	～	(40)
			～		～		～	
	(合計)							
Wcod	(0)	(1)	(2)	～	(99)	(100)		
				～				
Wdat	(0)	(1)	(2)	～	(99)	(100)		
				～				

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

- 割合(%)を次の計算式で求め、用水路調査箇所名から割合(%)を第2図のように表示する。

$$\text{割合(\%)} = \text{用水路コードごとの基準値超え回数} \times 100 \div \text{基準値超え回数の合計}$$

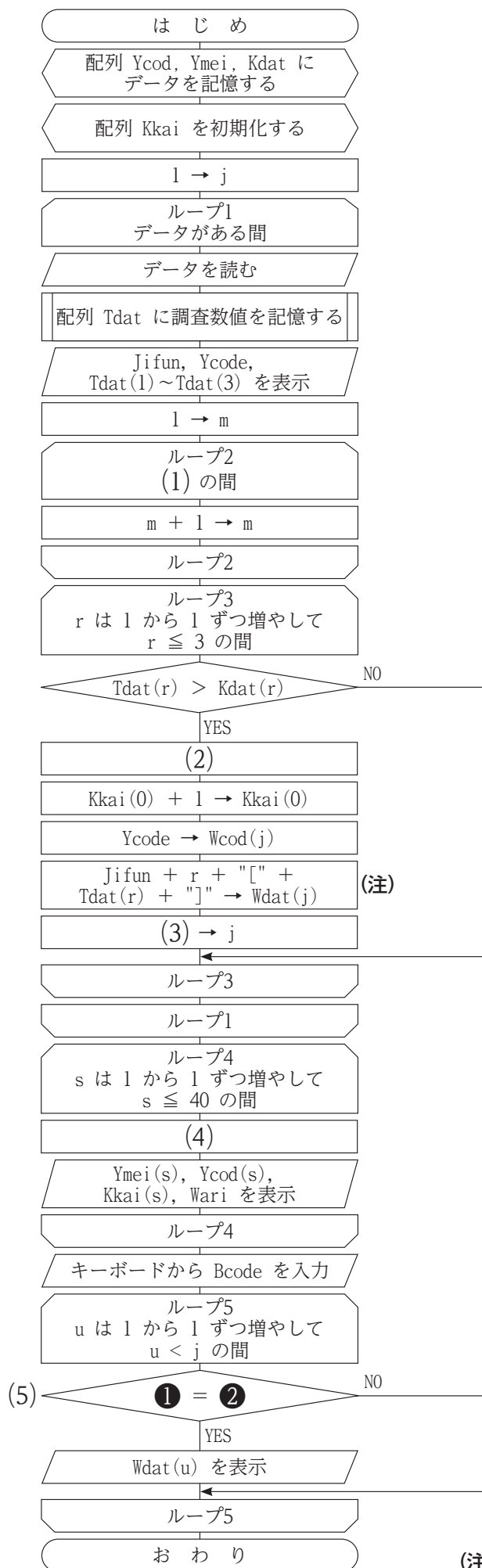
- 分析する用水路コードを Bcode に入力し、第2図のようにデータを表示する。

5. データにエラーはないものとする。

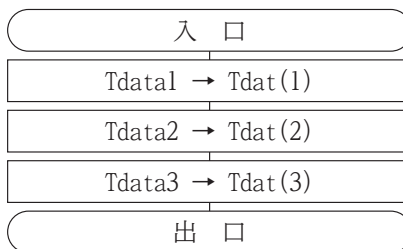
解答群

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ア. Wdat(Bcode) | イ. Wcod(j) |
| ウ. j + 1 | エ. Wcod(Ycode) |
| オ. Wcod(u) | カ. Kkai(j) + 1 → Kkai(j) |
| キ. Kkai(0) × 100 ÷ Kkai(s) → Wari | ク. Kkai(r) + 1 → Kkai(r) |
| ケ. Ycod(m) ≠ Ycode | コ. Ycod(j) ≠ Ycode |
| サ. Kkai(m) + 1 → Kkai(m) | シ. Wdat(u) |
| ス. Bcode | セ. Kkai(s) × 100 ÷ Kkai(0) → Wari |
| ソ. r + 1 | |

<流れ図>



配列 Tdat に調査数値を記憶する



(注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	回				

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
					①	②

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第67回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ク	ア	ケ	エ	イ

【2】	1	2	3	4	5
	オ	カ	ク	ア	エ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	ア	イ	ア

各2点
15問

小計	30
----	----

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	3回	10	82	4	ウ

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	エ	オ	キ	ク	ウ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	イ	コ	オ	カ	キ

各3点
15問

小計	45
----	----

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
					①	②
	ケ	サ	ウ	セ	オ	ス

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。順不同。

各5点
5問

小計	25
----	----

得点合計

100

2022年9月25日実施

令和4年度(第67回)
情報処理検定試験
第3級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は20分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. Webページ上の文字や画像をクリックすると、関連づけられたWebページに移動する機能。
2. 制御装置と演算装置などから構成された装置。中央処理装置とも呼ばれる。
3. 言語の認識や問題解決、ディープラーニングなど、人間が知能を使って行うことをコンピュータで実行するための技術。
4. スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで商品のバーコードを読み取り、売上金額や顧客情報を記録集計し、販売分析や在庫管理などに反映させるしくみ。
5. コンピュータのハードウェアやソフトウェアを利用するための、制御機能や管理機能を持ったソフトウェア。基本ソフトウェアとも呼ばれる。

解答群

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| ア. CPU | イ. 不正アクセス | ウ. IoT |
| エ. 電子商取引 | オ. OS | カ. ハイパーリンク |
| キ. AI | ク. 入力装置 | ケ. POSシステム |
| コ. EOS | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. レーザプリンタ 2. スクロール 3. ファイル名
4. メールサーバ 5. 有害サイト

<B群>

- ア. 微細なインク粒を用紙に吹き付けて印字する出力装置。
- イ. 他人を中傷する情報や犯罪行為を助長する情報など、閲覧することが青少年の健全な育成に好ましくないサイト。
- ウ. 表計算ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアなどで作成したデータを、保存する際に付ける名前。
- エ. レーザ光を感光ドラムにあて、トナーを付着させて用紙に転写し、定着させる出力装置。
- オ. ネットワークを通じて、接続された複数のコンピュータから印刷の要求を受け取り、プリンタに順次出力する機能を持つサーバ。
- カ. コンピュータの画面上で、プログラムやファイルの種類、フォルダなどを視覚的に分かりやすく表現した絵文字。
- キ. 特定のWebサイトの閲覧などを制限する機能。
- ク. 画面上に表示しきれない部分を上下方向、あるいは左右方向に移動し、表示させるための操作。
- ケ. コンピュータの利用者を識別するための、個別に割り振られた数字や文字列の組み合わせ。パスワードと合わせることで、本人確認ができる。
- コ. ネットワークを通じて、電子メールの送信や受信などの管理を行う機能を持つサーバ。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア，イ，ウの中から選び，記号で答えなさい。

1. 10進数の 29 を2進数で表したものの。

ア. 1101

イ. 10111

ウ. 11101

2. 1,000,000,000分の1秒を表す時間の単位。

ア. μs

イ. ns

ウ. ps

3. デジタル機器同士の接続で使われる，電波を利用した100m程度までの無線通信規格。イヤホンやマウスなどで利用される。

ア. Bluetooth

イ. HDMI

ウ. 生体認証

4. 一般家庭や企業などに，インターネットへの接続サービスや各種サービスを提供する業者。

ア. 検索エンジン

イ. インタフェース

ウ. プロバイダ

5. 偽装したWebサイトへ接続させるように誘導したメールを送信し，クレジットカード番号や銀行口座番号などの個人情報を不正に取得する行為。

ア. ワンクリック詐欺

イ. フィッシング詐欺

ウ. チェーンメール




【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある土産店の発注書である。D列には、あらかじめ式や関数が設定されており、B4の値を変更すると自動的にD4, D8の値もそれぞれ変更された。この機能の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 再計算
- イ. 絶対参照
- ウ. 相対参照

	A	B	C	D
1				
2	発注書			
3	品名	数量	単価	金額
4	オリジナルTシャツ	40	1,800	72,000
5	ロゴ入りバッグ	20	4,900	98,000
6	ロゴ入りキャップ	30	1,600	48,000
7	オリジナルタオル	70	1,400	98,000
8			合計	316,000

問2. 次の表は、関東地方森林面積一覧表である。「森林率」を%で表示したい。D4~D10を選択し、指定するボタンとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 
- イ. 
- ウ. 

	A	B	C	D
1				
2	関東地方森林面積一覧表			
3	都県名	森林面積 (ha)	国土面積 (ha)	森林率
4	茨城県	186,781	609,712	0.306342995
5	栃木県	349,006	640,809	0.544633424
6	群馬県	423,141	636,228	0.665077614
7	埼玉県	119,779	379,775	0.315394642
8	千葉県	157,276	515,764	0.304937917
9	東京都	78,926	219,100	0.360228206
10	神奈川県	94,695	241,592	0.391962482

問3. 次の表は、9月5日から9日までの研修参加時間記録表である。「日数」は社員が研修に参加した日数を表示する。G4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、研修に参加しなかった日は、－とする。

- ア. =COUNTA(A4:F4)
- イ. =COUNTA(B4:F4)
- ウ. =COUNT(B4:F4)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	研修参加時間記録表 (9月)						単位: 分
3	社員番号	5日	6日	7日	8日	9日	日数
4	K101	－	240	－	360	－	2
5	K102	270	180	300	－	240	4
6	K103	330	－	270	240	－	3
7	K104	180	－	－	－	300	2

問4. 次の表は、競泳50m自己記録表である。表はある項目を基準として昇順に並べ替えてある。基準とした項目名として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 自由形
- イ. 平泳ぎ
- ウ. バタフライ

	A	B	C	D	E
1					
2	競泳50m自己記録表				単位: 秒
3	選手名	自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ
4	水野 ○○	23.64	25.37	27.92	24.42
5	守本 ○○	22.68	28.23	29.02	25.15
6	西村 ○○	25.57	27.63	31.41	27.22
7	大塚 ○○	30.39	33.10	35.00	32.39
8	栗山 ○○	28.46	34.52	37.40	31.32
9	石野 ○○	33.29	36.69	40.99	35.49

問5. 次の表は、ある市の海釣り施設利用一覧表である。「利用者コード」の左端から4桁目より2文字は、「種別コード」を表している。「種別コード」を抽出するために、B4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =RIGHT(A4,4)
- イ. =LEFT(A4,2)
- ウ. =MID(A4,4,2)

	A	B	C	D
1				
2	海釣り施設利用一覧表			
3	利用者コード	種別コード	種別	使用料
4	101GE012608	GE	一般	920
5	107JH012609	JH	中学生以下	0
6	305GE012610	GE	一般	920
7	112SE012611	SE	高齢者	460
8	121JH012613	JH	中学生以下	0
9	316SE012614	SE	高齢者	460
10	124GE012616	GE	一般	920

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表のC1は、次の式が設定されている。C1に表示される値を答えなさい。

	A	B	C
1	100	30	*

(注) *印は、値の表記を省略している。

$$=A1/20*(A1-B1)$$

問2. 次の表とグラフは、ある県のキャンプ場利用者数を集計したものである。次の(1), (2)に答えなさい。

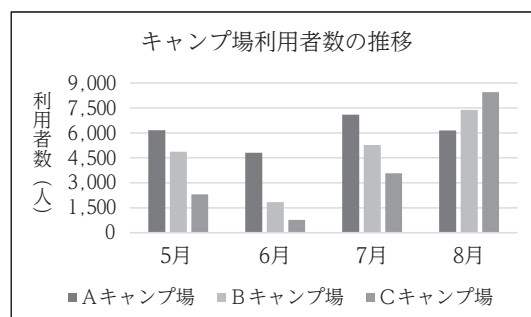
	A	B	C	D	E
1					
2	キャンプ場利用者数 単位：人				
3	キャンプ場名	5月	6月	7月	8月
4	Aキャンプ場	6,170	4,810	7,101	6,142
5	Bキャンプ場	4,866	1,841	5,268	7,386
6	Cキャンプ場	2,313	768	3,566	8,461
7	合計	13,349	7,419	15,935	21,989

(1) 作成されたグラフのデータの範囲として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. A3:E6
- イ. A3:E7
- ウ. A4:E7

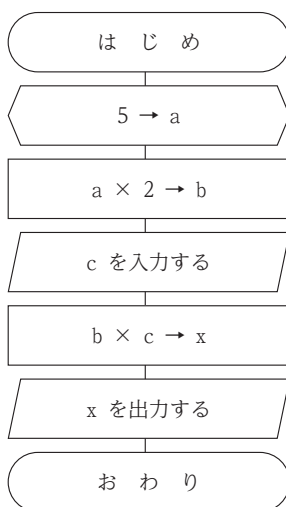
(2) グラフから読み取った内容として正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 「Bキャンプ場」の利用者数は、5月より6月が多い。
- イ. 8月の利用者数が、最も多いのは「Cキャンプ場」である。
- ウ. 「Aキャンプ場」の利用者数が、毎月増加している。



【6】 流れ図にしたがって処理するとき、次の各問いに答えなさい。なお、入力する c の値は 1 以上の整数とする。

<流れ図>



問1. c の値が 4 のとき、出力される x の値を答えなさい。

問2. c の値が 7 のとき、出力される x の値を答えなさい。

- 【7】 次の表は、ある国の主要魚種別の漁獲量の資料にもとづき、作成条件にしたがって作成されたものである。
各問いに答えなさい。

資料

2018年度 主要魚種別の漁獲量
単位：トン

魚種	漁獲量
まいわし	522
さば	542
ほたてがい	305
さんま	129
まあじ	118
するめいか	48
かつお	248

2019年度 主要魚種別の漁獲量
単位：トン

魚種	漁獲量
まいわし	557
さば	450
ほたてがい	339
さんま	46
まあじ	98
するめいか	40
かつお	229

2020年度 主要魚種別の漁獲量
単位：トン

魚種	漁獲量
まいわし	702
さば	377
ほたてがい	346
さんま	31
まあじ	98
するめいか	47
かつお	163

2021年度 主要魚種別の漁獲量
単位：トン

魚種	漁獲量
まいわし	767
さば	403
ほたてがい	342
さんま	58
まあじ	106
するめいか	45
かつお	216

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	主要魚種別の漁獲量の推移						
3	単位：トン						
4	魚種	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	平均	備考
5	まいわし	522	557	702	767	637	※
6	さば	542	450	377	403	443	※
7	ほたてがい	305	339	346	342	333	※
8	①	129	46	31	58	66	※
9	まあじ	②	98	98	106	105	※
10	するめいか	48	40	47	45	45	※
11	かつお	248	229	③	216	214	※
12	合計	1,912	1,759	1,764	1,937		
13	最大	542	④	702	767		
14	最小	48	40	31	⑤		
15	前年比	—	92.0%	100.3%	109.8%		

(注) ※印は、値の表記を省略している。

作成条件

1. 資料を参考にして、A5～E11にデータを入力する。
2. 「平均」は、「2018年度」から「2021年度」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
3. 「備考」のG5には、次の式を設定する。

$$=IF(E5>F5,"○","")$$
4. 「合計」は、各列の合計を求める。
5. 「最大」は、各列の最大を求める。
6. 「最小」は、各列の最小を求める。
7. 「前年比」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。
「当該年度の合計 ÷ 前年度の合計」

問1. 表の①～⑤に表示されるデータを答えなさい。

問2. F5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をF11までコピーする。

- ア. =AVERAGE(\$B\$5:\$E\$5)
- イ. =AVERAGE(B5,E5)
- ウ. =AVERAGE(B5:E5)

問3. G列に表示される ○ の数として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、G5の式をG11までコピーしてある。

- ア. 3
- イ. 4
- ウ. 5

問4. B12に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =SUM(B5:B11)
- イ. =COUNT(B5:B11)
- ウ. =MAX(B5:B11)

問5. C15に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =B12/C12
- イ. =B13/B12
- ウ. =C12/B12

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和4年度(第67回)情報処理検定試験 第3級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	
		(1)	(2)

【6】	問1	問2

【7】	問1				
	①	②	③	④	⑤

問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和4年9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和4年度(第67回)情報処理検定試験 第3級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	ア	キ	ケ	オ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ク	ウ	コ	イ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	イ	ア	ウ	イ

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ア	ア	ウ	イ	ウ

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2	
		(1)	(2)
	350	ア	イ

【6】	問1	問2
	40	70

【7】	問1				
	①	②	③	④	⑤
	さんま	118	163	557	45

問2	問3	問4	問5
ウ	イ	ア	ウ

※ 【7】問1は①～⑤のすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2022年9月25日実施

令和4年度（第67回）
情報処理検定試験
第3級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，シート名「シート1」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の資料は、ある地域で収穫された主な野菜の年間収穫量と気象データである。資料と作成条件にしたがってシート名「シート1」を作成しなさい。

資料

品目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
だいこん	5,480	5,493	5,910	5,347	5,404
キャベツ	14,810	12,553	16,250	15,038	13,329
きゅうり	4,719	5,036	4,839	5,004	5,209
なす	13,210	16,080	16,278	13,975	12,669
トマト	11,861	12,391	11,945	12,080	11,111

要素	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
降水量 (mm)	2,211	1,418	1,617	1,609	2,213
日照時間 (h)	1,832	2,069	2,095	1,982	1,852
平均気温 (°C)	18.1	17.6	17.7	17.9	17.7
最高気温 (°C)	37.0	37.5	38.3	37.6	37.6
最低気温 (°C)	0.2	3.8	2.4	4.8	5.2
雪日数	17	12	28	4	2
雷日数	20	24	22	28	28

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

- 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔設定する書式：罫線〕
〔設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数〕

- 表の※印の部分は、式や関数を利用して求める。また、※※印の部分は、資料より必要な値を入力する。
- グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。
- 「1. 主な野菜の年間収穫量」は、次のように作成する。
 - 「平均」は、「2017年」から「2021年」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
 - 「順位」は、「2021年」を基準として、降順に順位を求める。
 - 「合計」は、各列の合計を求める。
- 積み上げ縦棒グラフは、「1. 主な野菜の年間収穫量」から作成する。
 - 数値軸の目盛は、最小値 (0)、最大値 (60,000)、および間隔 (10,000) を設定する。
 - 軸ラベルの方向を設定する。
 - 凡例の位置を設定する。
- 「2. 気象データ」は、次のように作成する。
 - 「最大」は、「2017年」から「2021年」の最大値を求める。
 - 「最小」は、「2017年」から「2021年」の最小値を求める。
- 折れ線グラフは、「2. 気象データ」から作成する。
 - 数値軸の目盛は、最小値 (1,000)、最大値 (2,600)、および間隔 (400) を設定する。
 - データラベルを設定する。
 - 凡例の位置を設定する。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
---	---	---	---	---	---	---	---	---

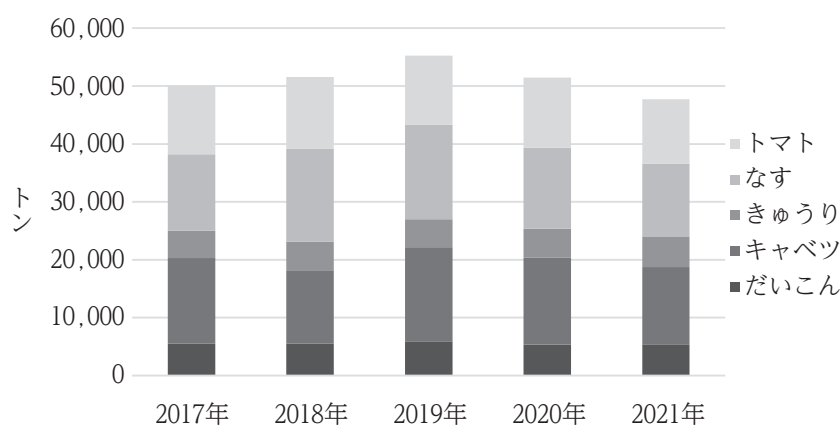
野菜収穫量と気象データ報告書

1. 主な野菜の年間収穫量

単位：トン

品目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	平均	順位
だいこん	5,480	5,493	5,910	5,347	5,404	5,527	4
キャベツ	14,810	12,553	16,250	15,038	13,329	※	※
きゅうり	4,719	5,036	4,839	5,004	5,209	※	※
なす	13,210	※※	※※	13,975	12,669	※	※
トマト	11,861	※※	※※	12,080	11,111	※	※
合計	50,080	※	※	※	※		

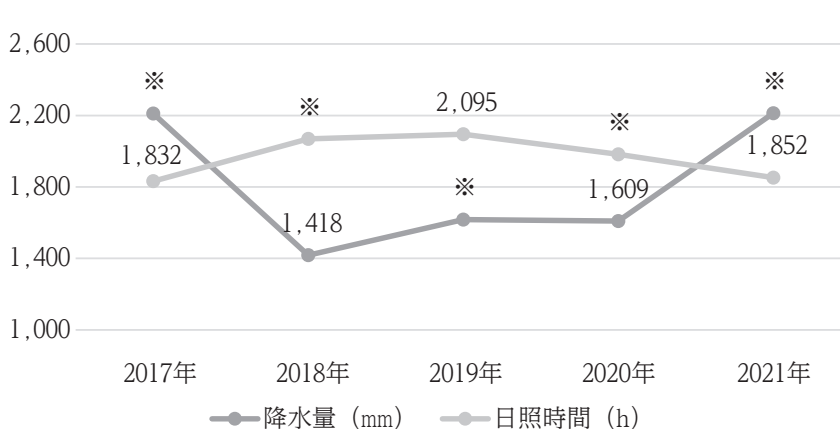
主な野菜の年間収穫量



2. 気象データ

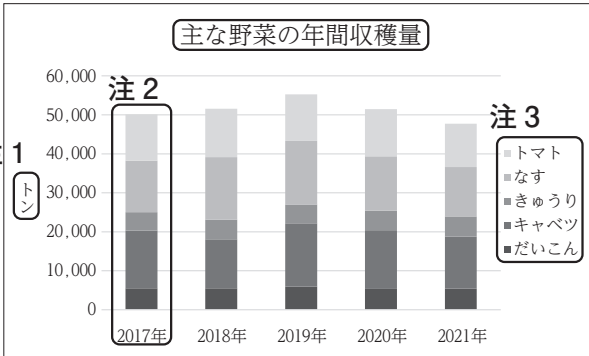
要素	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	最大	最小
降水量 (mm)	2,211	1,418	1,617	1,609	2,213	2,213	1,418
日照時間 (h)	1,832	2,069	2,095	1,982	1,852	※	※
平均気温 (°C)	18.1	17.6	17.7	17.9	17.7	18.1	※
最高気温 (°C)	37.0	37.5	38.3	※※	※※	※	※
最低気温 (°C)	0.2	3.8	2.4	※※	※※	※	※
雪日数	17	12	28	※※	※※	※	※
雷日数	20	24	22	28	28	※	※

降水量と日照時間

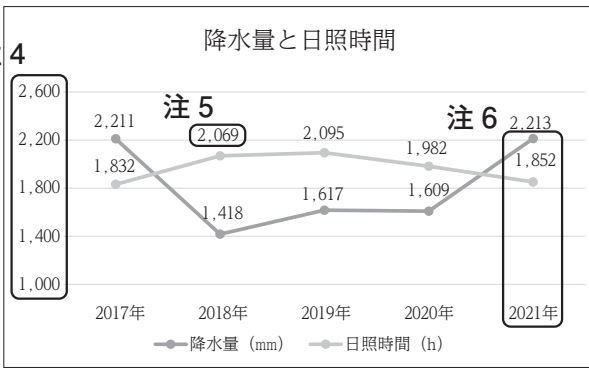


主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
 令和4年度(第67回)情報処理検定試験 第3級 実技
 審査基準

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	野菜収穫量と気象データ報告書								
2	1. 主な野菜の年間収穫量 単位:トン								
3									
4									
5	品目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	平均	順位	
6	だいこん	5,480	5,493	5,910	5,347	5,404	5,527	4	
7	キャベツ	14,810	12,553	16,250	15,038	13,329	14,396	1	
8	きゅうり	4,719	5,036	4,839	5,004	5,209	4,961	5	
9	なす	13,210	16,080	16,278	13,975	12,669	14,442	2	
10	トマト	11,861	12,391	11,945	12,080	11,111	11,878	3	
11	合計	50,080	51,553	55,222	51,444	47,722			
12	2. 気象データ								
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31	要素	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	最大	最小	
32	降水量 (mm)	2,211	1,418	1,617	1,609	2,213	2,213	1,418	
33	日照時間 (h)	1,832	2,069	2,095	1,982	1,852	2,095	1,832	
34	平均気温 (℃)	18.1	17.6	17.7	17.9	17.7	18.1	17.6	
35	最高気温 (℃)	37.0	37.5	38.3	37.6	37.6	38.3	37.0	
36	最低気温 (℃)	0.2	3.8	2.4	4.8	5.2	5.2	0.2	
37	雪日数	17	12	28	4	2	28	2	
38	雷日数	20	24	22	28	28	28	20	
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									



要素	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	最大	最小
降水量 (mm)	2,211	1,418	1,617	1,609	2,213	2,213	1,418
日照時間 (h)	1,832	2,069	2,095	1,982	1,852	2,095	1,832
平均気温 (℃)	18.1	17.6	17.7	17.9	17.7	18.1	17.6
最高気温 (℃)	37.0	37.5	38.3	37.6	37.6	38.3	37.0
最低気温 (℃)	0.2	3.8	2.4	4.8	5.2	5.2	0.2
雪日数	17	12	28	4	2	28	2
雷日数	20	24	22	28	28	28	20



配点

- ① コンマ 5点×1箇所=5点
(「1. 主な野菜の年間収穫量」のコンマがすべて設定されている)
- ② 表の作成()の箇所 5点×11箇所=55点
- ③ 罫線 5点×1箇所=5点
(「2. 気象データ」の罫線が正確にできている)
- ④ グラフの作成()の箇所 ... 5点×7箇所=35点

- 注1 方向。
- 注2 「2017年」が積み上げ縦棒グラフであること。
- 注3 位置はグラフの右側であること。順序は問わない。
- 注4 最小値 (1,000), 最大値 (2,600), および間隔 (400)。
- 注5 数値(2,069)。
- 注6 「2021年」が折れ線グラフであること。マーカーおよびデータラベルの有無は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

2023年 1 月29日実施

令和 4 年度 (第 68 回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. データベースにおける排他制御の一つで、他のトランザクションからのデータの更新、削除、参照などを一切禁止する制御のこと。
2. コンピュータなどをネットワークに接続する際、IPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるプロトコル。OSI参照モデルにおいて、アプリケーション層に該当する。
3. 電子メールを送受信する際、テキストデータだけでなく、音声データや画像データなども扱えるようにするための規格。
4. システム開発において、前工程で作成した仕様書や設計書をもとにプログラム言語を用いてプログラムを記述し、システムを構築する工程。
5. データベースにおいて、メモリから外部記憶装置にデータの変更や更新結果を、ファイルに書き込む処理が行われた時点のこと。

解答群

ア. 共有ロック	イ. チェックポイント	ウ. VoIP
エ. FTP	オ. ロールバック	カ. DHCP
キ. MIME	ク. データストア	ケ. 専有ロック
コ. ASP	サ. プログラミング	シ. 外部設計

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. ブラックボックステスト 2. 可用性 3. IMAP
4. システムログ 5. ソーシャルエンジニアリング

<B群>

- ア. システムの検証にあたり、入力データに対して、仕様書どおりにデータの出力が得られたかに着目するテスト。プログラムの内部構造や処理手順は着目しない。
- イ. インターネットなどの通信において、Webサーバへ接続した端末情報や接続時間、データ量など、ネットワークの接続状況を記録したもの。
- ウ. ぜい弱性のある入力フォームや掲示板などに、攻撃者が悪意のある別のWebサイトに誘導し、サイト訪問者の個人情報などを搾取するための攻撃。
- エ. 電子メールにおいて、受信者側のメールサーバ上に保存された電子メールを受信者側のメールサーバ上で管理、閲覧するために用いられるプロトコル。
- オ. RASISの示す指標の一つで、故意、過失または災害などによるシステムやデータの損失がなく、データの一貫性が保たれていること。
- カ. 機密情報などを不正に入手するために、専門的な情報通信技術を使用せずにパソコンの画面を覗き込むなど、本人や周辺の人への接触などを通じて情報を搾取する手法の総称。
- キ. システムの検証にあたり、プログラムの内部構造に着目し、一つひとつの処理や制御が意図したとおりに動作しているかを確認するテスト。
- ク. RASISの示す指標の一つで、システムが要求された機能を継続して使用できることを表したものの。指標として稼働率が用いられる。
- ケ. 電子メールにおいて、送信先のメールサーバまで電子メールを転送するために用いられるプロトコル。
- コ. 起動や終了、発生したエラーなど、コンピュータシステムの動作状況を、OSが時系列に記録したもの。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 障害が発生した際、システム全体を停止するのではなく、正常に稼働する部分だけでシステムを運用して、システムへの影響を最小限にとどめる設計思想。

ア. フォールトアボイダンス イ. フェールソフト ウ. リスクアセスメント

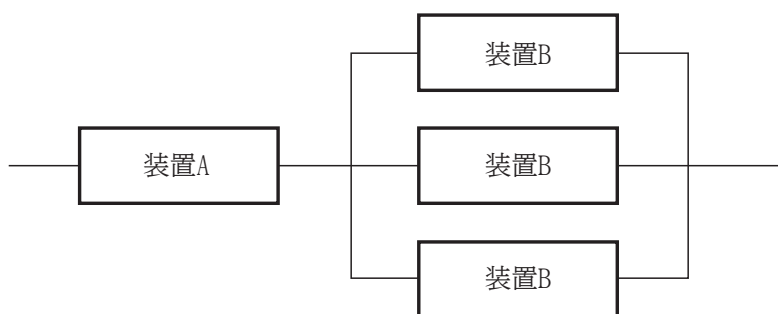
2. TCP/IPにおいて同じネットワーク内の全てのホストに対して、データを一齐に送信するときに使われる、ホスト部のビットがすべて1のアドレス。

ア. MACアドレス イ. ネットワークアドレス ウ. ブロードキャストアドレス

3. インターネットにおいて、IPアドレスとドメイン名の対応関係を管理し、相互に変換するしくみ。

ア. DNS イ. DMZ ウ. NAT

4. 装置A, 装置Bが、次のように配置されているシステム全体の稼働率を、小数第3位未満を四捨五入して求めなさい。なお、それぞれの稼働率は装置Aが0.9, 装置Bが0.8とし、装置Bは少なくとも1台が正常に稼働すればよいものとする。



ア. 0.461 イ. 0.691 ウ. 0.893

5. 通信速度が100Mbpsの通信回線を利用して、310MBのファイルをダウンロードするためにかかる時間は何秒か求めなさい。なお、伝送効率は62%とし、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、1MB=10⁶Bとする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. KJ法の手順として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 情報収集 → カード化 → グループ化 → 文章化 → 図解化
 イ. 情報収集 → 文章化 → グループ化 → カード化 → 図解化
 ウ. 情報収集 → カード化 → グループ化 → 図解化 → 文章化

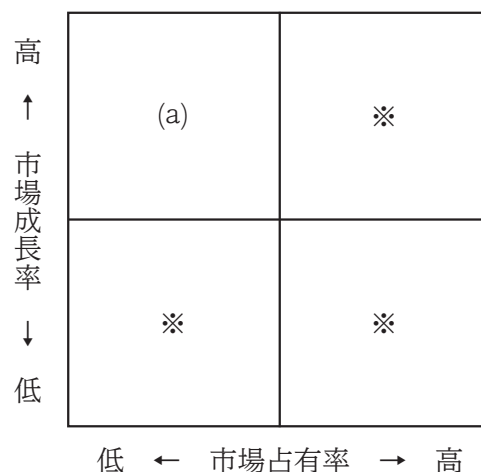
問2. PPM分析において市場成長率と市場占有率から見たとき、分類(a)の説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. 将来性のある事業。市場が将来伸びる可能性があるため継続した投資が必要だが、現段階の利益は少ない。

イ. 撤退を検討する事業。シェアが低いため利益を出しにくく、市場の成長にも期待が持てないため、積極的な投資の効果が望めない。

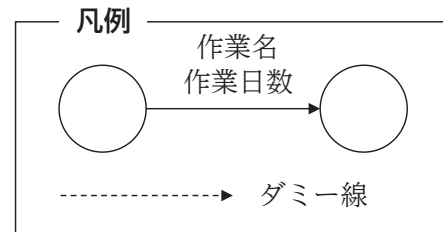
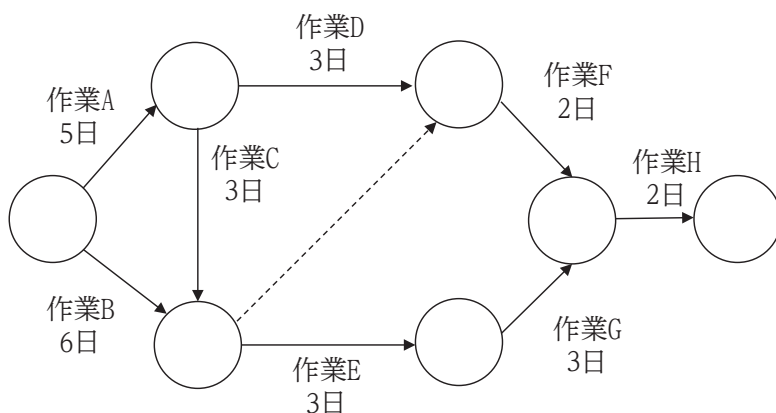
ウ. 収入が多く、成長も見込める事業。成長率が高い分野でトップクラスのシェアを持っているため、投資することでさらに高い利益があがることを見込まれる。

エ. 安定している事業。市場の拡大が頭打ちになった状態で大きなシェアを持っているため、最低限の投資で現状が維持できれば、安定した利益が出せる。



(注) ※印は、表記を省略している。

問3. 次の図は、あるプロジェクトにおけるアローダイアグラムである。このプロジェクトの開始にあたり、作業Dが遅れることが確実となった。このプロジェクトの完成期日に影響を及ぼさないためには、作業Dは3日に加えてあと何日の遅れまで許されるか、適切な日数を選び、記号で答えなさい。



ア. 4日

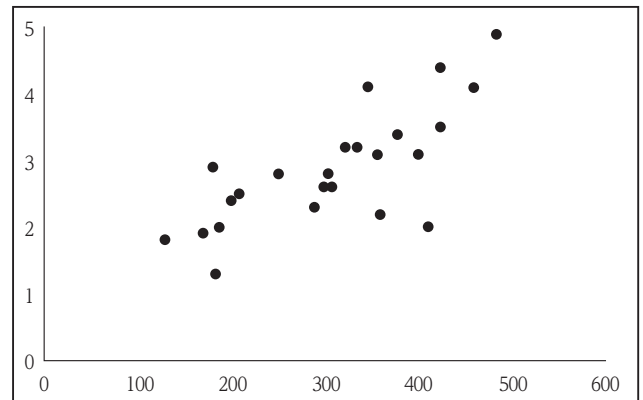
イ. 6日

ウ. 7日

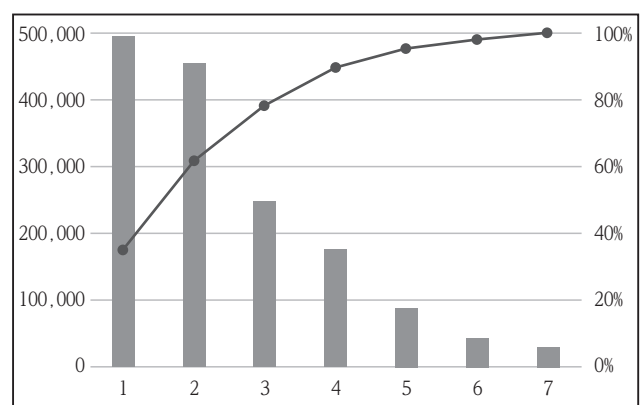
問4. データをいくつかの階級に分け、各階級に属する測定値の分布やばらつきを分析するための図の名称と図の組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

	名称	図
ア	散布図	b
イ	ヒストグラム	c
ウ	パレート図	a

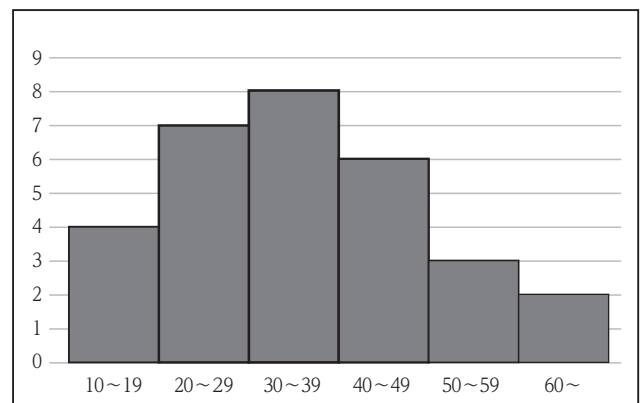
図 a.



b.



c.



問5. コアコンピタンスを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業経営に必要な人材、資金、設備、情報などの様々な経営資源を、統合的に管理する手法。各部署が持っている情報を統合的に管理し、業務を横断的に連携させることによって、経営資源の最適化や、経営の効率化を目指す。
- イ. 企業が保有している技術や能力、経営資源のうち、競合他社がまねできない中核を担う強みのこと。要件として、顧客に対して何らかの利益を生むことや、能力・技術が模倣されにくいこと、複数の製品やサービス、市場に適応できることを兼ね備えることが必要である。
- ウ. 顧客の情報を一元管理し、サービスの向上や販売促進に活用するシステム。顧客と接点のある部門で顧客情報を共有することができ、顧客ごとに最適なアフターケアやサービスなどを行うことができる。

- 【5】 ある中華料理チェーンでは、通信販売の注文データを次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の顧客（利用者）は登録手続きを行い、会員表にデータを入力する。
- ② 担当者は注文を受け付けると、商品ごとに注文内容を受注表に入力する。
- ③ 会員は一回の注文で複数種類の商品を注文できる。

会員表

会員コード	会員名	住所	メールアドレス
K001	赤石〇〇	〇〇県〇×市105番地	vyd9225@XXXXX.jp
K002	浅海××	××県◎〇町5丁目4番	goz3166@XXXX.jp
K003	井上〇〇	〇×県××町8丁目5番	amp8628@XXX.jp
K004	上田〇〇	〇〇県〇×市208番地	ncx6134@XXXX.jp
K005	江田〇×	〇〇府◎◎市311番地	xjb2892@XXXXX.jp
}	}	}	}
K200	加藤◇□	×△県△▽町265番地	lbn7358@X.jp
K201	木村〇◇	◎◎県△▽町177番地	rqe7757@X.jp
K202	佐藤△△	〇◎県◎〇町9丁目5番	ryx3478@XXXXX.jp
K203	鈴木△〇	△△県◎◎市1001番地	xdp5050@XXXXX.jp
K204	高橋〇〇	△□府◎〇町407番地	lxp4461@XXXX.jp
K205	立川△△	〇□県〇×市5丁目9番	wbb9758@XXXXX.jp
K206	土屋□×	◎×県◎▽市306番地	ths7489@X.jp
}	}	}	}

商品表

商品コード	商品名	単価
S01	冷凍餃子20個入	700
S02	冷凍餃子50個入	1500
S03	冷凍餃子100個入	2500
S04	冷凍しおラーメン5袋	2000
S05	冷凍みそラーメン5袋	2500
}	}	}
S15	冷凍チャーハン5袋	2500
S16	レトルト中華丼5袋	3000
}	}	}
S29	チャーシュー20枚	1500
S30	メンマ10袋	1000

受注表

受注コード	日付	会員コード	商品コード	数量
}	}	}	}	}
2212010101	2022/12/01	K001	S02	2
2212010201	2022/12/01	K002	S05	3
2212010301	2022/12/01	K015	S03	1
}	}	}	}	}
2212150501	2022/12/15	K002	S11	1
2212150502	2022/12/15	K002	S12	2
}	}	}	}	}
2212300101	2022/12/30	K007	S20	2
2212300201	2022/12/30	K008	S21	3
}	}	}	}	}
2301040101	2023/01/04	K005	S01	1
2301040102	2023/01/04	K005	S20	2
}	}	}	}	}
2301051001	2023/01/05	K120	S15	3
2301051101	2023/01/05	K200	S15	4
}	}	}	}	}

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある300円ショップ一日の販売数である。E列にはそれぞれ、「平均値」「最頻値」「中央値」を求める。E5に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (B4:B367)

	A	B	C	D	E
1					
2	300円ショップ一日の販売数				
3	販売時刻	1会計での数量			
4	10:02	9			
5	10:07	5			
6	10:07	12			
7	10:10	14			
8	10:10	14			
9	10:10	1			
∧	∧	∧			
366	20:09	1			
367	20:10	13			

平均値	7.39
最頻値	9
中央値	8

ア. ABS

イ. MEDIAN

ウ. MODE

問2. 次の表は、8文字～12文字のパスワードを生成するための表である。C5は乱数で求めた値をもとに、文字表を参照して「文字」を表示する。C5に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、この式をC16までコピーする。

=IF(A5<=\$C\$2,VLOOKUP((1,70),\$F\$4:\$G\$73,2,FALSE),"")

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	生成文字数	11				文字表	
3						コード	文字
4	パスワード生成表					1	1
5	1 文字目	E				2	2
6	2 文字目	d				3	3
∧	∧	∧				∧	∧
14	10 文字目	+				11	A
15	11 文字目	D				12	B
16	12 文字目					13	C
17						14	D
18	パスワード	EdM801#j0+D				15	E
∧	∧	∧				∧	∧
72						69	+
73						70	*

問3. 次の表は、あるお菓子セットの売上一覧表である。G9は「日付」が12月4日、かつ「商品番号」が1、または「日付」が12月5日、かつ「商品番号」が1の「数量」の合計を表示するために、次の式が設定されている。この式と同等の結果が得られる式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、同じ条件で「売上金額」の合計を表示するために、この式をH9にコピーする。

G9 : =DSUM(\$A\$3:\$D\$560,G8,\$F\$3:\$G\$5)

H9 : =DSUM(\$A\$3:\$D\$560,H8,\$F\$3:\$G\$5)

ア. =SUMIFS(C4:C560,\$A4:\$A560,\$F4,\$B4:\$B560,\$G4)+SUMIFS(C4:C560,\$A4:\$A560,\$F5,\$B4:\$B560,\$G5)

イ. =SUMIFS(C4:C560,\$A4:\$A560,\$F4,\$B4:\$B560,\$G4,\$A4:\$A560,\$F5,\$B4:\$B560,\$G5)

ウ. =SUMIFS(C4:C560,\$A4:\$A560,\$F4:\$F5,\$B4:\$B560,\$G4:\$G5)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	売上一覧表					条件表		
3	日付	商品番号	数量	売上金額		日付	商品番号	
4	12月1日	2	8	5,200		12月4日	1	
5	12月1日	5	10	5,800		12月5日	1	
6	12月1日	4	8	3,600				
7	12月1日	2	5	3,250				
8	12月1日	1	7	4,760				
9	12月1日	5	10	5,800				
10	12月1日	5	1	580				
∧	∧	∧	∧	∧				
48	12月4日	3	6	3,240				
49	12月4日	1	7	4,760				
50	12月5日	3	8	4,320				
51	12月5日	1	3	2,040				
∧	∧	∧	∧	∧				
560	12月31日	2	3	1,950				

計算表		数量	売上金額
合計		15	10,200

問4. 次の表は、社員名簿と勤務時間一覧表である。社員名簿の「番号」と「名前」を勤務時間一覧表に横方向に並べて表示する。E4に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、空欄には同じものが入り、この式をX4までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	~	U	V	W	X
1															
2	社員名簿		勤務時間一覧表												
3	番号	名前		番号	名前	番号	名前	番号	名前	~	番号	名前	番号	名前	
4	1	相田 ○○		1	相田 ○○	2	加藤 ○○	3	菊地 ○○	~	9	松井 ○○	10	山口 ○○	
5	2	加藤 ○○		1月4日		3		4		5	~		10		7
6	3	菊地 ○○		1月5日		8		5		10	~		3		
7	4	小池 ○○		1月6日		8				9	~				9
8	5	高崎 ○○		1月7日		7		7		8	~		3		
9	6	戸田 ○○		1月8日				4		~			10		10
10	7	野原 ○○		1月9日		7		5		8	~		4		9
11	8	福田 ○○		1月10日		3				4	~		9		
12	9	松井 ○○		1月11日		3		8		3	~		3		8
13	10	山口 ○○		1月12日				5		~			4		3
?										~					

=IFERROR(VLOOKUP(ROUNDUP([]()/2,0)-2,\$A\$4:\$B\$13,
ROUNDUP([](D1)/2-ROUNDDOWN([](D1)/2,0),0)+1,FALSE),"")

問5. 次の表は、ある企業が製造している製品生産計画表である。次の条件から「金額」の合計が最大となる各商品の「数量」を求めたい。表計算ソフトウェアのデータ分析機能に設定する空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

条件

- ・ D13には次の式を入力し、D15までコピーする。
=B13*C13
- ・ D16には次の式を入力する。
=SUM(D13:D15)
- ・ 「加工」「組立」「検査」時間は、それぞれの「上限時間」を超えない。
- ・ 「数量」は、それぞれの「最大数量」を超えない。

- ア. (a) \$B\$13:\$B\$15
(b) \$D\$13:\$D\$15
(c) \$B\$9>\$B\$6*\$B\$13+\$C\$6*\$B\$13+\$D\$6*\$B\$13

- イ. (a) \$D\$16
(b) \$B\$13:\$B\$15
(c) \$B\$9>=\$B\$6*\$B\$13+\$B\$7*\$B\$14+\$B\$8*\$B\$15

- ウ. (a) \$D\$16
(b) \$D\$13:\$D\$15
(c) \$B\$9>=\$B\$6*\$B\$13+\$C\$6*\$B\$13+\$D\$6*\$B\$13

	A	B	C	D	E
1					
2	製品生産計画				
3					
4	製造時間表 (1個あたり)				
5	商品名	加工	組立	検査	
6	A	3	3	1	
7	B	4	2	2	
8	C	3	2	2	
9	上限時間	1,600	1,200	2,800	
10					
11	結果表				
12	商品名	数量	単価	金額	最大数量
13	A		2,500	0	300
14	B		2,800	0	200
15	C		3,000	0	150
16			合計	0	



実行結果

	A	B	C	D	E
?					
11	結果表				
12	商品名	数量	単価	金額	最大数量
13	A	216	2,500	540,000	300
14	B	125	2,800	350,000	200
15	C	150	3,000	450,000	150
16			合計	1,340,000	

パラメータ設定

目的セルの設定: [] (a)

目標値: 最大値 最小値 指定値 [0]

変数セルの変更: [] (b)

制約条件

\$B\$13<=\$E\$13
\$B\$13:\$B\$15=整数
\$B\$14<=\$E\$14
\$B\$15<=\$E\$15

[] (c)
[] ※
[] ※

[追加] [変更] [削除] [解決] [閉じる]

(注) ※印は、値の表記を省略している。

- 【7】 次の表は、あるシューズ販売店の注文書兼料金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「注文書兼料金計算書」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		注文書兼料金計算書						
3								
4						日 付	2023/1/17	
5								
6		1. お客様情報						
7			入力欄				確認欄	
8		名	前	小林〇〇				
9		学 校 番 号	1			中 学 校 名	〇〇市東中学校	
10		入 学 年 度	2021	年度			OK	
11								
12		2. 注文内容						
13			サイズ	数量		サイズ適応	商品コード	料金
14		体育館シューズ	27.0	1		OK	GS201	3,680
15		外用シューズ	27.0	1		OK	OS456	3,700
16		上 靴		0				
17								
18		シューズケース		1			SC6100	600
19							名入れ方法	刺しゅう
20		名入れ文字	漢字（ひらがな・カタカナ含）で入力してください					
21			小林〇〇					
22							文 字 数	4
23								
24		3. 注文料金						
25		商 品 代 金	7,980					
26		名 入 れ 料 金	80					
27		新 入 生 割 引	0					
28		料 金 合 計	8,060					
29		請 求 金 額	8,050					

シート名「中学校データ」

	A	B	C	D
1				
2		中学校データ		
3		学校番号	中学校名	名入れ方法
4		1	〇〇市東中学校	刺しゅう
5		2	〇〇市西中学校	無
6		3	〇〇市第三中学校	無
7		4	〇〇市第二中学校	無
11		8	〇〇市第二中学校	プリント
12		9	〇〇市第三中学校	無

シート名「商品表」

	A	B	C	D	E
1					
2		商品表			
3		No.	種類	商品コード	単価
4		1	体育館シューズ	GS105	3,450
5		2	体育館シューズ	GS130	3,380
6		3	体育館シューズ	GS201	3,680
7		4	体育館シューズ	GS250	3,800
8		5	外用シューズ	OS456	3,700
9		6	外用シューズ	OS505	3,400
10		7	外用シューズ	OS555	3,200
11		8	上靴	UB045	1,000
12		9	上靴	UB105	1,200
13		10	上靴	UB208	1,500
14		11	上靴	UB300	1,300
15		12	シューズケース	SC6050	500
16		13	シューズケース	SC6100	600
17		14	シューズケース	SC6280	1,000

作成条件

1. シート名「注文書兼料金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、「請求金額」を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または NG の場合、その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。
3. 注文のない商品には「数量」に 0 を入力し、確認欄に何も表示しない。
4. シート名「中学校データ」にある市内の中学校は、すべて学校で指定したシューズを購入することになっている。
5. 「サイズ」は、20.0cmから32.0cmまでの0.5cm単位で小数第1位まで入力し、表示されるように設定されている。
6. 名入れは、シューズケースのみであり、学校によって方法が異なり、名入れがない場合もある。また、「名入れ文字」は、学校で指定した文字とし、最大20文字までである。
7. 名入れがある学校で注文のあった場合、シューズケースすべてに名入れする。なお、「名入れ料金」は、「名入れ方法」が 刺しゅう の場合、1文字につき20円とし、プリント の場合、文字数に関係なくシューズケース1個につき一律100円である。
8. 「新入生割引」は、「入学年度」が 2023 の場合、「商品代金」と「名入れ料金」の合計金額の10%とする。
9. 「料金合計」は、「商品代金」と「名入れ料金」の合計金額から、「新入生割引」を引いて求める。
10. 「請求金額」は、サービスとして「料金合計」を50円単位で切り捨てて求める。

作成手順

1. シート名「注文書兼料金計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) H4は、本日の日付を自動的に表示するための関数が設定されている。
 - (2) C8は、「名前」を入力する。
 - (3) C9は、「学校番号」を入力する。また、H9は、C9をもとに、シート名「中学校データ」を参照し、「中学校名」を表示する。
 - (4) C10は、「入学年度」を西暦で入力する。また、H10は、C10が 2020 から 2023 の場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (5) C14~D16は、「サイズ」と「数量」を入力する。
 - (6) F14は、「サイズ」が 20.0 から 32.0 以外の場合や、小数第1位が 0 または 5 以外の場合、NG を表示し、それ以外の場合、OK を表示する。なお、F15、F16も同様に表示する。
 - (7) G14は、C9とB14をもとに、シート名「商品表」を参照し、「商品コード」を表示する。なお、G15、G16も同様に表示する。
 - (8) H14は、G14をもとに、シート名「商品表」を参照し、「単価」を求め、D14を掛けて求める。なお、H15、H16も同様に求める。
 - (9) D18は、「数量」を入力する。
 - (10) G18は、C9とB18をもとに、シート名「商品表」を参照し、「商品コード」を表示する。
 - (11) H18は、G18をもとに、シート名「商品表」を参照し、「単価」を求め、D18を掛けて求める。
 - (12) H19は、C9をもとに、シート名「中学校データ」を参照し、「名入れ方法」を表示する。
 - (13) C20は、C9をもとに、シート名「中学校データ」を参照し、「名入れ文字」が 無 の場合、入力不要 を表示し、それ以外の場合、参照した「名入れ文字」に で入力してください を文字列結合して表示する。
 - (14) C21は、C20にしたがい名入れの文字を入力する。また、H22は、C21の文字数が20を超えた場合、文字オーバー を表示し、それ以外の場合、文字数を表示する。
 - (15) C25は、H14~H16の合計にH18を加えて求める。
 - (16) C26は、作成条件7にしたがって、「名入れ料金」を求める。
 - (17) C27は、作成条件8にしたがって、「新入生割引」を求める。ただし、整数未満を四捨五入する。
 - (18) C28は、C25~C26の合計から、C27を引いて「料金合計」を求める。
 - (19) C29は、C28をもとに作成条件10にしたがって「請求金額」を求める。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。」

問1. シート名「注文書兼料金計算書」のF14に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(\$H\$10<>"OK",C14="",D14="",D14=0),"",IF(OR(C14<20,C14>32,MOD(□(a)□(b)), "NG", "OK"))

ア. (a) C14,0.5 (b) =5 イ. (a) C14,0.5 (b) <>0 ウ. (a) C14,5 (b) =0

問2. シート名「注文書兼料金計算書」のG14に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、この式をG16までコピーする。

=IF(F14="OK",INDEX((商品表!\$C\$4:\$C\$7,商品表!\$C\$8:\$C\$10,商品表!\$C\$11:\$C\$14),
MATCH("*"&\$C\$9&"*",□(商品表!\$E\$3,MATCH(B14,商品表!\$B\$4:\$B\$14,0),0,
COUNTIFS(商品表!\$B\$4:\$B\$14,B14),1),0),1,MATCH(B14,\$B\$14:\$B\$16,0)),"")

問3. シート名「注文書兼料金計算書」のC26に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(H22="",H22="字数オーバー",C25=""),"",
IF(□))

ア. H19="刺しゅう",H22*20,IF(H19="プリント",100,0)
イ. H19="刺しゅう",H22*100*D18,IF(H19="プリント",H22*20*D18,0)
ウ. H19="刺しゅう",H22*20*D18,IF(H19="プリント",100*D18,0)

問4. シート名「注文書兼料金計算書」のC29に設定する次の式の空欄をうめなさい。

=IF(C28="", "", □(C28,50))

問5. シート名「注文書兼料金計算書」が次のように表示されているとき、C29に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					秒

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ケ	カ	キ	サ	イ

【2】	1	2	3	4	5
	ア	ク	エ	コ	カ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	ア	ウ	40 秒

各2点
15問

小計

30

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	ア	ア	イ	イ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	ア	ウ	イ	ア	NOT EXISTS

各3点
10問

小計

30

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	RANDBETWEEN	ア	COLUMN	イ

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	OFFSET	ウ	FLOOR	7,800

※ 記述問題の大文字, 小文字, コンマの有無は問わない。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2023年1月29日実施

令和4年度(第68回)
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第1級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は10ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を整数で答えなさい。

1. 8ビットの処理装置で、16進数の 75 を左に2ビット論理シフトした値を16進数で表したものの。

ア. 1D

イ. 54

ウ. D4

2. システムの開発工程の一つで、画面設計や帳票設計など、ユーザインタフェースの設計を行うこと。

ア. 外部設計

イ. 内部設計

ウ. プログラム設計

3. ユーザ側の端末には最低限の機能しか持たせず、サーバ側でアプリケーションソフトウェアなどの資源を一元管理するシステム。

ア. サブネットマスク

イ. アクセスログ

ウ. シンクライアント

4. TCP/IPネットワークで標準的に用いられ、電子メールを送信する際や、メールサーバ間で電子メールを転送する際に用いられるプロトコル。

ア. IMAP

イ. SMTP

ウ. POP

5. Aさん一人では10日間、Bさん一人では8日間かかる仕事がある。この仕事をAさん、Bさんが共同で行った場合、この仕事の完成までに要する日数は何日間か。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(3)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている文字列を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Moji にはデータが記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されている。

配列

Moji	(0)	(1)	~	(n - 1)	(n)
		cricket	~	mantis	ant

2. 配列 Moji の文字列を昇順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Moji の内容を表示する。

解答群

- ア. Moji(0) = Moji(min)
イ. Moji(i) < Moji(min)
ウ. min = n
エ. Moji(0) = Moji(g)
オ. Moji(i) > Moji(min)
カ. min = g

<プログラム>

```
Sub Program1(Moji() As String, n As Long)
```

```
Dim g As Long
```

```
Dim min As Long
```

```
Dim i As Long
```

```
Dim k As Long
```

```
For g = 1 To n - 1
```

```
    (1)
```

```
For i = g + 1 To n
```

```
    If (2) Then
```

```
        min = i
```

```
    End If
```

```
Next i
```

```
If g <> min Then
```

```
    (3)
```

```
Moji(g) = Moji(min)
```

```
Moji(min) = Moji(0)
```

```
End If
```

```
Next g
```

```
For k = 1 To n
```

```
    MsgBox (Moji(k))
```

```
Next k
```

```
End Sub
```

問2. プログラムの説明を読んで、プログラムの(4)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

引数で渡された配列に記憶されている数値に順位をつけてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Kiroku にはデータが記憶されている。なお、データ件数は n に記憶されている。

配列

Kiroku	(0)	(1)	~	(n - 1)	(n)
		75.6	~	66.1	101.9

2. 配列 Jun を利用し、配列 Kiroku の数値の降順に順位をつける。なお、数値が同じ場合は同順位とする。

配列

Jun	(0)	(1)	~	(n - 1)	(n)
			~		

3. 順位をつけ終わったら、配列 Kiroku と配列 Jun の内容を表示する。

解答群

- ア. $Jun(r) = Jun(r) + 1$
 イ. $r = p$ To $n - 1$
 ウ. $Jun(s) = Jun(s) + 1$
 エ. $r = 1$ To $n - 1$

<プログラム>

```
Sub Program2(Kiroku() As Double, _
    Jun() As Long, n As Long)
    Dim p As Long
    Dim r As Long
    Dim s As Long
    For p = 1 To n
        Jun(p) = 1
    Next p
    For (4)
        For s = r + 1 To n
            If Kiroku(r) < Kiroku(s) Then
                (5)
            ElseIf Kiroku(r) > Kiroku(s) Then
                解答不要
            End If
        Next s
    Next r
    For p = 1 To n
        MsgBox (Format(Kiroku(p), "##0.0") & _
            " " & Jun(p) & "位")
    Next p
End Sub
```

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるホテルチェーンのアンケート回答データを読み、アンケート集計結果をディスプレイに表示する。

入力データ

店舗番号 (Tban)	評価項目番号 (Hban)	評価点数 (Hten)
××	×	×

(第1図)

実行結果

(アンケートの平均評価)							
(店舗名)	(合計)	(部屋)	(風呂)	(食事)	(接客)	(清潔感)	(価格)
大崎店	3.7	3.5	4.0	3.6	3.4	3.8	4.0
目黒店	3.7	3.4	4.6	3.5	3.9	3.7	3.4
}	}	}	}	}	}	}	}
(評価項目番号(1～6)または合計(0)を入力) 3							
評価項目名：食事							
(店舗名)	(平均評価)						
駒込店	2.0						
浜松町店	2.3						
}	}						

(第2図)

処理条件

- 第1図の店舗番号は 1 (大崎店)～15 (品川店) である。なお、評価項目番号は 1 (部屋)～6 (価格) であり、評価点数には 1～5 が記録されている。また、すべての店舗のすべての項目について、1件以上の評価が行われている。
- 配列 Tmei に店舗名を、配列 Hmei に評価項目名を記憶する。なお、Hmei(0) には 合計 を記憶する。また、Tmei の添字は店舗番号と、Hmei の添字は評価項目番号と対応している。

配列

Tmei	Hmei (0)	(1)	(2)	～	(6)
(0)	合計	部屋	風呂	～	価格
(1)	大崎店				
(2)	目黒店				
}	}				
(15)	品川店				

- 第1図の入力データを読み、配列 Ten に評価点数を集計し、配列 Ken に件数を求める。なお、Ten と Ken の0列目には 合計 を求める。また、Ten と Ken の行方向の添字は店舗番号と、列方向の添字は評価項目番号と対応している。

配列

Ten	(0)	(1)	(2)	～	(6)
(0)				～	
(1)				～	
(2)				～	
}	}	}	}	}	}
(15)				～	

(合計)

Ken	(0)	(1)	(2)	～	(6)
(0)				～	
(1)				～	
(2)				～	
}	}	}	}	}	}
(15)				～	

(合計)

- 入力データが終了したら次の処理を行う。

・ 配列 Ten を利用し、店舗番号ごとの平均評価を次の計算式で求め、店舗名から価格までを第2図のように表示する。

$$\text{平均評価} = \frac{\text{評価点数計}}{\text{評価件数}}$$

・ 評価項目番号(1～6)または合計(0)を入力し、評価項目名を第2図のように表示する。

・ 配列 Tmp を利用し、入力された評価項目番号または合計をもとに、店舗番号を平均評価の昇順に並べ替える。なお、平均評価が同じ場合は、店舗番号の昇順とする。

配列

Tmp
(0)
(1)
(2)
}
(15)

・ 店舗名と入力された評価項目番号または合計の平均評価を第2図のように表示する。

- キーボードから評価項目番号として -1 が入力されたら処理を終了する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. k は 1 から 1 ずつ増やして $k \leq 15$ の間
 イ. $Ten(h, g) \div Ken(h, g) \rightarrow Ten(h, g)$
 ウ. $Tmei(Tmp(g))$
 エ. $Ten(Tmp(m), Komoku) \geq Ten(Tmp(m + 1), Komoku)$
 オ. $Ten(g, h) \div Ken(g, h) \rightarrow Ten(g, h)$
 カ. $Tmei(g)$
 キ. k は 14 から 1 ずつ減らして $k \geq 1$ の間
 ク. $l \rightarrow Tmp(g)$
 ケ. $Ten(Tmp(m), Komoku) > Ten(Tmp(m + 1), Komoku)$
 コ. $g \rightarrow Tmp(g)$

【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるジェラートショップの1週間分の売上データを読み、売上状況表をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hi) ××××	商品コード (Sc) ×××	数量 (Su) ××
--------------------	----------------------	------------------

(第1図)

実行結果

(売上状況表)					
(フレーバー名) (数量合計) (売上金額合計) (上位3商品の商品名: 売上金額 判定)					
クラシック	471	166,300	チョコレート: 34,800 ◎ バニラ: 17,850 ○ パンプキン: 17,050 ○		
フルーツ	386	145,610	メロン: 29,600 ◎ マスカット: 29,250 ◎ オレンジ: 12,090		
}	}	}	}		
デラックス	351	159,950	Wチョコ: 17,760 ○ バニラリッチ: 16,280 ○ チョコミント: 16,100 ○		

(第2図)

処理条件

1. 第1図の商品コードは、次の例のように構成されており、フレーバー番号は1(クラシック)～5(デラックス)である。なお、フレーバー内の商品は3種類以上である。また、すべての商品について1件以上の売上データがある。

例 305 → $\begin{matrix} 3 & 05 \\ \text{フレーバー番号} & \text{フレーバー内番号} \end{matrix}$

2. 次の各配列にデータを記憶する。

・ 配列 Fmei にフレーバー名を記憶する。なお、Fmei の添字はフレーバー番号と対応している。

配列

Fmei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		クラシック	フルーツ	オリジナル	和風	デラックス

・ 配列 Scod に商品コードを、配列 Smei に商品名を、配列 Stan に単価を商品コードの昇順に記憶する。なお、商品数は80種類以下であり、Scod, Smei, Stan の添字は対応している。

配列

Scod	(0)	(1)	(2)	～	(80)
		101	102	～	
Smei	(0)	(1)	(2)	～	(80)
		バニラ	チョコレート	～	
Stan	(0)	(1)	(2)	～	(80)
		350	400	～	

3. 第1図の入力データを読み、商品コードをもとに配列 Scod を探索し、配列 Syukei の0行目に数量を集計する。なお、Syukei の列方向の添字は Scod の添字と対応している。

配列

Syukei	(0)	(1)	(2)	～	(80)	
(0)				～		(数量)
(1)				～		(売上金額)

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

・ 商品コードごとに、配列 Syukei の1行目に次の計算式で売上金額を求める。なお、Syukei の列方向の添字は Scod の添字と対応している。

$$\text{売上金額} = \text{数量} \times \text{単価}$$

・ フレーバー番号ごとに数量合計と売上金額合計を集計し、フレーバー名から売上金額合計までを第2図のように表示する。

・ フレーバー番号ごとに売上金額の上位3商品を求め、商品名から判定までを第2図のように表示する。なお、判定は、フレーバー番号ごとに上位3商品のそれぞれの割合を次の計算式で求め、0.2以上の場合は ◎ を、0.1以上の場合は ○ を表示する。また、売上金額に同じ値はないものとする。

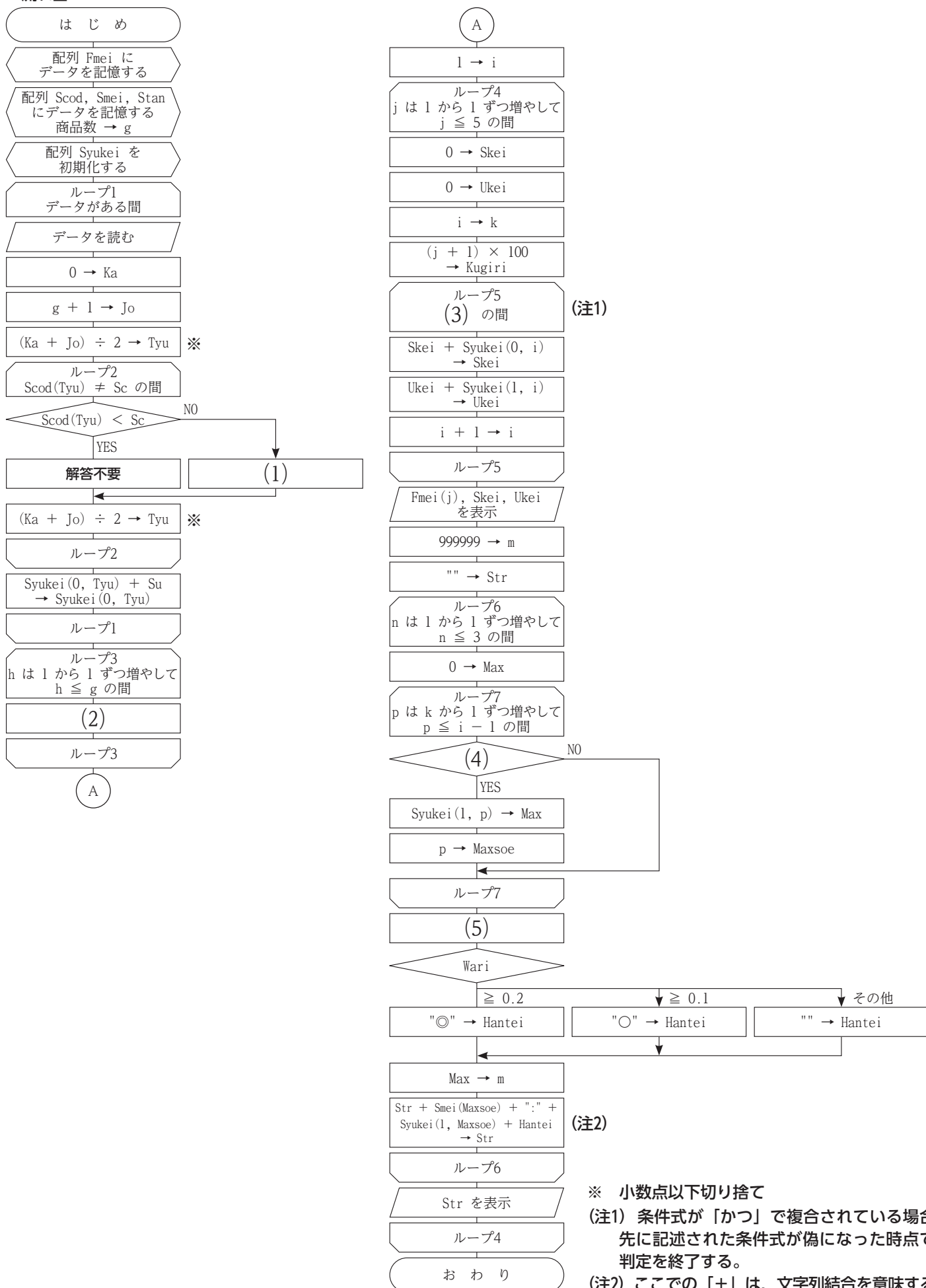
$$\text{割合} = \text{売上金額} \div \text{売上金額合計}$$

5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. $\text{Syukei}(l, p) > m$ かつ $\text{Syukei}(l, p) > \text{Max}$
 イ. $\text{Syukei}(l, \text{Maxsoe}) \div \text{Ukei} \rightarrow \text{Wari}$
 ウ. $\text{Tyu} - 1 \rightarrow \text{Jo}$
 エ. $\text{Syukei}(0, h) \times \text{Stan}(h) \rightarrow \text{Syukei}(l, h)$
 オ. $\text{Syukei}(0, \text{Tyu}) \times \text{Stan}(h) \rightarrow \text{Syukei}(l, \text{Tyu})$
 カ. $i \leq g$ かつ $\text{Scod}(i) < \text{Kugiri}$
 キ. $\text{Tyu} \rightarrow \text{Jo}$
 ク. $\text{Syukei}(l, p) < m$ かつ $\text{Syukei}(l, p) > \text{Max}$
 ケ. $i \leq j + k$ かつ $\text{Scod}(i) < \text{Kugiri}$
 コ. $\text{Syukei}(l, p) \div \text{Ukei} \rightarrow \text{Wari}$

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

(注1) 条件式が「かつ」で複合されている場合、先に記述された条件式が偽になった時点で、判定を終了する。

(注2) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるサウナチェーンの1か月分の入館データを読み、売上集計表、各店舗の集計結果をディスプレイに表示する。

入力データ

月日 (Tukihi)	区分 (Kubun)	店舗コード (Tcode)	クーポンコード (Ccode)
××××	×	×	×

(第1図)

実行結果

(売上集計表) (月日)	(店舗名)	(入館者数)	(入館料合計)
11月 1日	札幌店	104人	169,920
	東京店	112人	259,200
	}	}	}
	福岡店	64人	114,240
		日計:	835,360
	}	}	}
11月 3日*	札幌店	152人	360,720
	}	}	}
		日計:	1,229,200
		月計:	31,893,400
(各店舗の集計結果)			
(店舗名)	(入館者数合計)	(月間目標入館者数)	(目標達成率)
札幌店	2,408人	2,000人	120%
}	}	}	}
福岡店	2,435人	2,400人	101%

(第2図)

処理条件

1. 第1図のデータは、月日、店舗コードの昇順に記録されており、月日は次の例のように構成されている。なお、区分は0(平日)と1(土日祝日)、店舗コードは1(札幌店)~5(福岡店)、クーポンコードは0(クーポン利用なし)と1(クーポン利用あり)である。

例 1012 → 10 12
月 日

2. 配列 Tmei に店舗名を、配列 Hryo に平日入館料を、配列 Msu に月間目標入館者数を記憶する。なお、Tmei, Hryo, Msu の添字は対応している。

配列

Tmei	(0)	(1)	(2)	~	(5)
		札幌店	東京店	~	福岡店
Hryo	(0)	(1)	(2)	~	(5)
		1800	2700	~	2100
Msu	(0)	(1)	(2)	~	(5)
		2000	3000	~	2400

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

- ・ 月日を第2図のように表示する。なお、土日祝日の場合は、月日の後に * を表示する。
- ・ 配列 Nsu の0行目に入館者数を集計する。なお、Nsu の1行目には合計を求める。また、Nsu の列方向の添字は店舗コードと対応している。

配列

Nsu	(0)	(1)	(2)	~	(5)
(0)				~	
(1)				~	(合計)

- ・ 入館料を次の計算式で求める。なお、土日祝日の入館料は平日入館料の1.5倍であり、クーポン利用がある場合は20%引きとなる。

$$\text{入館料} = \text{平日入館料} \times (1 + \text{区分} \times 0.5) \times (1 - \text{クーポンコード} \times 0.2)$$

- ・ 店舗コードが変わるごとに、店舗名から入館料合計までを第2図のように表示する。
- ・ 日が変わるごとに、日計を第2図のように表示する。

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

- ・ 月計を求め、第2図のように表示する。
- ・ 配列 Tcod に店舗コードを記憶し、配列 Mritu に各店舗の目標達成率を次の計算式で求める。

$$\text{目標達成率} = \text{入館者数合計} \div \text{月間目標入館者数}$$

配列

Tcod	(0)	(1)	(2)	~	(5)
				~	
Mritu	(0)	(1)	(2)	~	(5)
				~	

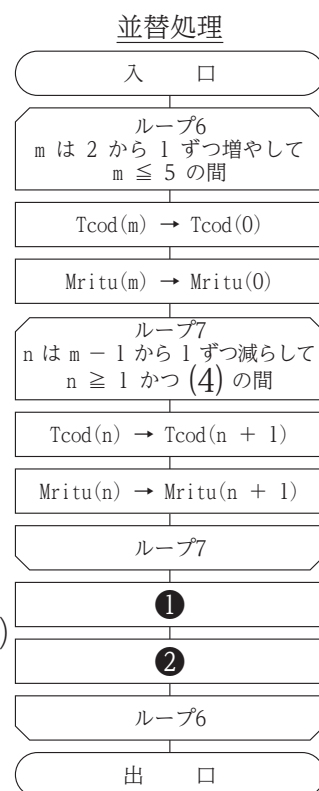
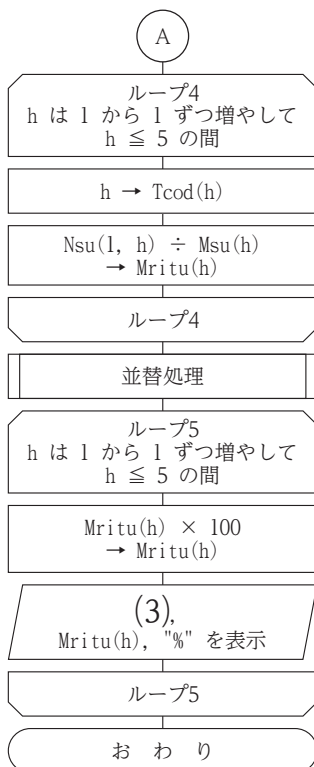
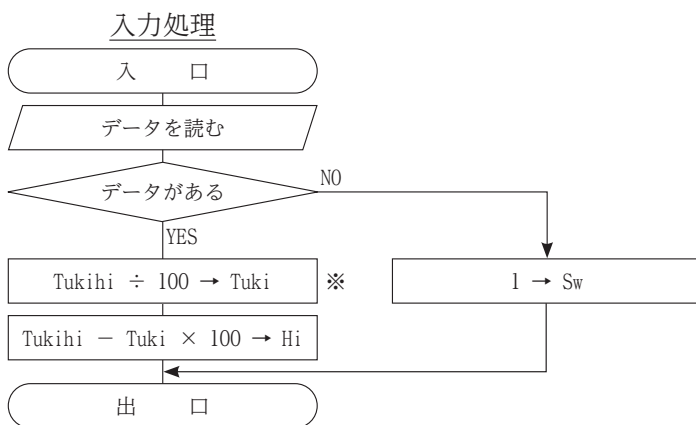
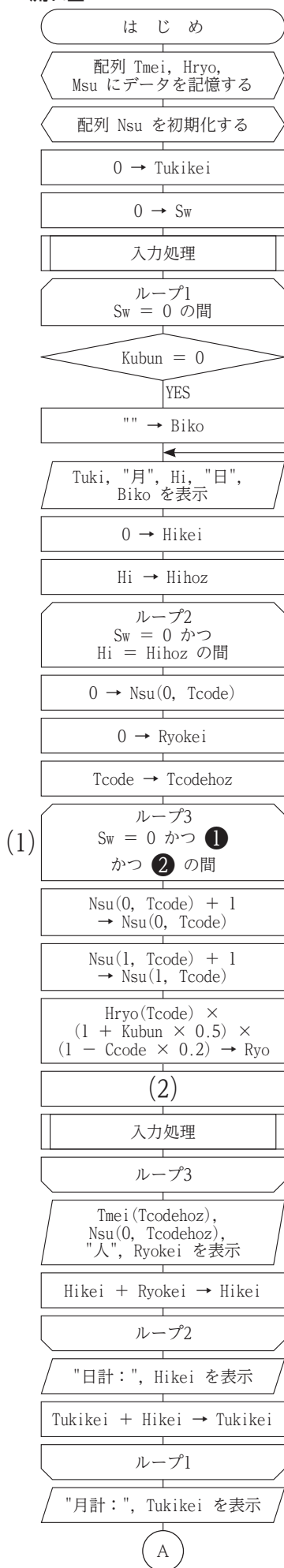
- ・ 配列 Tcod と配列 Mritu を、目標達成率の降順に並べ替え、店舗名から目標達成率までを第2図のように表示する。なお、目標達成率が同じ場合は、店舗コードの昇順とする。

5. データにエラーはないものとする。

解答群

- | | |
|---|---|
| ア. Mritu(n) < Mritu(0) | イ. Tcod(n + 1) → Tcod(0) |
| ウ. Mritu(n) > Mritu(m) | エ. Mritu(n) < Mritu(m) |
| オ. Mritu(0) → Mritu(n + 1) | カ. Tmei(n), Nsu(1, n), "人", Msu(n), "人" |
| キ. Mritu(n + 1) → Mritu(0) | ク. Tcode = Tcodehoz |
| ケ. Mritu(n) > Mritu(0) | コ. Ryokeyi + Ryo → Ryokeyi |
| サ. Hi = Hihoz | シ. Kubun = 0 |
| ス. Hikei + Ryo → Hikei | セ. Tcod(0) → Tcod(n + 1) |
| ソ. Tmei(Tcod(h)), Nsu(1, Tcod(h)), "人", Msu(Tcod(h)), "人" | |
| タ. Tmei(h), Nsu(1, h), "人", Msu(h), "人" | |

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					日間

小計	
----	--

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】	(1)		(2)	(3)	(4)	(5)	
	①	②				①	②

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	エ	シ	イ	コ	ケ

【2】	1	2	3	4	5
	ク	ウ	ア	オ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ア	ウ	イ	5 日間

各2点
15問小計
30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	カ	イ	エ	エ	ア

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	オ	コ	キ	ケ	ウ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	キ	エ	カ	ク	イ

各3点
15問小計
45

【7】	(1)		(2)	(3)	(4)	(5)	
	①	②				①	②
	サ	ク	コ	ソ	ア	セ	オ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。順不同。

各5点
5問小計
25

得点合計

100

2023年 1 月29日実施

令和 4 年度 (第 68 回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. プリンタのインクやマルウェア対策など、コンピュータやシステムを継続的に運用する上で必要となる費用。
2. 磁気ディスク装置において、データを読み書きする部分を目的の位置まで移動させるための部品。
3. 複数のファイルを一つにまとめることや一つにまとめられたファイルから元のファイルを取り出す際に使われるソフトウェア。
4. 動画や画像、音楽など、文字データとして読み込むことのできない形式のファイル。
5. 一定期間は無料で試用することができるが、継続して利用する場合には規定の代金を支払う必要があるソフトウェア。

解答群

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ア. アーカイバ | イ. シェアウェア | ウ. テキストファイル |
| エ. イニシャルコスト | オ. 磁気ヘッド | カ. ランニングコスト |
| キ. フリーウェア | ク. バイナリファイル | ケ. 解凍 |
| コ. アクセスアーム | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. ランサムウェア 2. JPEG 3. CSV
4. ISO 5. 肖像権

<B群>

- ア. 動画や音声を圧縮したファイル形式。デジタルテレビ放送や、インターネット上での動画や音声配信などに利用される。
- イ. 国際的な取引を円滑に行うことができるように、工業製品などの標準化を進めることを目的として設立された機構。
- ウ. 電子文書用のファイル形式。閲覧環境に依存しないため、機器やOSの違いに影響されず、ほぼ同様の書式で表示することができる。
- エ. メールやWebページなどからコンピュータに侵入し、コンピュータ内のデータを暗号化し、ファイルを利用できない状態にした上で、元に戻すことと引き換えに金銭を要求するマルウェア。
- オ. データをコンマで区切って並べたファイル形式。互換性が高いため、異なるソフトウェア間でのデータをやりとりする際に使われる。
- カ. コンピュータのキーボード操作を監視し、入力履歴を記録するソフトウェアやハードウェア。悪意を持った第三者に使われ、個人情報盗まれるなど悪用されることがある。
- キ. 他人から撮影された自分の顔や姿などを、無断で公表されないように主張することができる権利。
- ク. 日本国内の産業製品や測定法などが定められた規格。自動車や家電などの産業製品に関するものや、情報処理、サービスに関するものがある。
- ケ. 静止画像のデータを圧縮したファイル形式。圧縮率が高く、フルカラーの画像を扱うことができるが、加工して保存を繰り返すと画質が劣化してしまう。
- コ. 絵画や小説、コンピュータプログラム、データベースなどの知的創作物について、創作者が利用の許諾や禁止を決めることができる権利。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 1010 と10進数の 9 との積を表す2進数。

ア. 10011

イ. 1001000

ウ. 1011010

2. 組織内部のネットワークとインターネットの間に設置され、外部から内部への不正な侵入を遮断することや外部への不正なアクセスを禁止することでネットワークを保護する装置。

ア. ファイアウォール

イ. フルコントロール

ウ. セキュリティホール

3. 米国規格協会によって制定された文字コード。数字やアルファベット、記号などを7ビットのコードで表す。

ア. JISコード

イ. ASCIIコード

ウ. Unicode

4. コンピュータ同士が対等な立場でデータのやり取りを行い、データや機能を提供する側と、利用する側の役割を互いに兼ねるネットワーク形態。

ア. ピアツーピア

イ. クライアントサーバシステム

ウ. ストリーミング

5. ある学校における情報処理と簿記の講習参加者表を和集合した仮想表を作成する。作成された仮想表のレコード件数。

情報処理講習参加者表

学籍番号	参加者名
1105	安達 ○○
1109	伊藤 ○○
1209	今泉 ○○
1223	田口 ○
1235	望月 ○○○
1301	藍原 ○○
1519	相馬 ○○
1520	田尾 ○○○

簿記講習参加者表

学籍番号	参加者名
1101	相沢 ○○
1105	安達 ○○
1235	望月 ○○○
1429	松下 ○
1519	相馬 ○○
1520	田尾 ○○○

ア. 4

イ. 10

ウ. 14

- 【4】 ある洋菓子店では、販売した商品を次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。

商品表

商品コード	商品名	価格
S01	ショートケーキ	460
S02	バターケーキ	420
S03	サントノーレ	540
S04	マカロン	200
S05	タルト	350
S06	プリン	200
S07	バームクーヘン	250
S08	クッキー	180

販売表

番号	顧客コード	種別コード	商品コード	数量
1	K001	C1	S03	5
2	K001	C1	S08	3
3	K004	C2	S05	4
4	K006	C2	S01	2
5	K007	C2	S01	2
6	K007	C2	S06	2
7	K009	C1	S01	5
8	K010	C1	S07	4
9	K003	C3	S01	4
10	K003	C3	S02	5
11	K005	C2	S03	6
12	K008	C1	S04	10
13	K002	C1	S08	4
14	K006	C1	S06	2
15	K004	C2	S03	3
16	K004	C2	S07	3
17	K001	C3	S05	3
18	K009	C1	S04	2
19	K010	C1	S01	4
20	K008	C3	S03	4
21	K003	C2	S04	3
22	K003	C2	S02	2

注文種別表

種別コード	注文方法
C1	店頭
C2	WEB
C3	電話

顧客表

顧客コード	顧客名	性別	市区町村	番地	電話番号
K001	阿部 ○○	女	A市	柳崎1115	XXX-XXXX-4419
K002	横山 ○○	女	B市	北本町13	XXXX-XX-2015
K003	水野 ○○	女	C市	丘23-1	XX-XXXX-2298
K004	大口 ○	女	D区	湊269-2	XXX-XXXX-8756
K005	関 ○○	男	E区	東2-1	XXX-XXXX-6513
K006	後藤 ○	女	F区	西452	XXX-XXXX-7539
K007	村口 ○○	男	A市	太田36	XXX-XXXX-9862
K008	佐々木 ○	男	C市	北中250	XXX-XXXX-1349
K009	浅田 ○○	女	E区	北成瀬171	XX-XXXX-5569
K010	中沢 ○○	女	C市	一木27	XXXX-XX-6719

- 問1. 次の表は、顧客表をもとに作成したものである。このようなりレーショナル型データベースの操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

顧客コード	顧客名	性別	市区町村	番地	電話番号
K005	関 ○○	男	E区	東2-1	XXX-XXXX-6513
K007	村口 ○○	男	A市	太田36	XXX-XXXX-9862
K008	佐々木 ○	男	C市	北中250	XXX-XXXX-1349

ア. 射影

イ. 結合

ウ. 選択

問2. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 商品名
FROM 商品表
WHERE 価格 < 200
```

ア.

商品名
マカロン
プリン

イ.

商品名
クッキー

ウ.

商品名
マカロン
プリン
クッキー

問3. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 顧客名, 性別
FROM 顧客表, 販売表
WHERE 顧客表.顧客コード = 販売表.顧客コード
AND 市区町村 = 'C市'
AND 数量 >= 5
```

ア.

顧客名	性別
水野 ○○	女
佐々木 ○	男

イ.

顧客名	性別
浅田 ○○	女
関 ○○	男

ウ.

顧客名	性別
阿部 ○○	女
水野 ○○	女
佐々木 ○	男

問4. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 顧客名, 価格 * 数量 AS 代金
FROM 商品表, 注文種別表, 顧客表, 販売表
WHERE 商品表.商品コード = 販売表.商品コード
AND 顧客表.顧客コード = 販売表.顧客コード
AND 注文種別表.種別コード = 販売表.種別コード
AND 商品名 = 'サントノーレ'
AND 注文方法 = 'WEB'
```

ア.

顧客名	代金
後藤 ○	920
村口 ○○	920

イ.

顧客名	代金
阿部 ○○	2700
佐々木 ○	2160

ウ.

顧客名	代金
関 ○○	3240
大口 ○	1620

問5. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

```
SELECT SUM(数量) AS 実行結果
FROM 販売表
WHERE 顧客コード = 'K004'
```

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある通販サイト運営会社における会員一覧表である。この会社では、会員の誕生日にクーポンを付与し、「誕生日クーポン」に「利用可」と表示する。D4に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、本日は2023年1月29日である。ただし、空欄には同じものが入り、この式をD54までコピーする。

=IF(□□(TODAY())=□□(C4),"利用可","")

- ア. MONTH
- イ. DAY
- ウ. YEAR

	A	B	C	D
1				
2	会員一覧表			
3	会員コード	会員名	生年月日	誕生日クーポン
4	C00001	安武 ○○	1955/2/1	
5	C00002	笹野 ○○	1985/1/29	利用可
6	C00003	北川 ○○	1972/10/26	
7	}	}	}	}
53	C00050	堅持 ○○	1978/1/10	利用可
54	C00051	西尾 ○○	1962/9/16	
55	クーポン利用可能人数 8人			

問2. 次の表は、チョコレート販売店の料金計算表である。B4に「希望購入量」を入力すると、「購入価格」が計算される。B9に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、「購入価格」は希望購入量を超えない最大の量をセット価格で購入し、残りはバラ売り価格で購入する。

- ア. =MOD(B4,B6)*D7+INT(B4/B6)/B7*D6
- イ. =INT(B4/B6)*D6+MOD(B4,B6)/B7*D7
- ウ. =MOD(B4,B6)*D6+INT(B4/B6)/B7*D7

	A	B	C	D	E
1					
2	料金計算表				
3					
4	希望購入量	580	g		
5					
6	セット価格	125	gあたり	900	円
7	バラ売り価格	10	gあたり	85	円
8					
9	購入価格	4,280	円		

問3. 次の表は、夜行バス料金表である。A9, C9にそれぞれ発着バス停を入力すると、料金が計算される。E9に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	夜行バス料金表					
3		東京	名古屋	大阪	福岡	
4	東京		2,000	3,000	8,000	
5	名古屋	2,000		1,800	7,650	
6	大阪	3,000	1,800		3,600	
7	福岡	8,000	7,650	3,600		
8						
9	福岡	~	名古屋	→	7,650	円

- ア. =HLOOKUP(A9,\$B\$3:\$E\$7,MATCH(C9,\$A\$4:\$A\$7,0)+1,FALSE)
- イ. =HLOOKUP(A9,\$B\$3:\$E\$7,MATCH("名古屋",\$A\$4:\$A\$7,0),FALSE)
- ウ. =HLOOKUP(A9,\$B\$3:\$E\$7,2,FALSE)

問4. 次の表は、ある企業の契約企業一覧表である。「企業形態」は、「会社名」から会社の形態を抽出する。C4に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC34までコピーする。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	契約企業一覧表					
3	取引先No	会社名	企業形態		企業形態	企業数
4	1	株式会社〇〇製作所	株式会社		株式会社	16
5	2	〇〇精機合同会社	合同会社		合同会社	8
6	3	合資会社〇〇工房	合資会社		合資会社	5
7	4	〇〇化粧品株式会社	株式会社		合名会社	2
8	5	〇〇化成株式会社	株式会社			
9	6	〇〇化成株式会社	株式会社			
10	7	〇〇化成株式会社	株式会社			
11	8	〇〇化成株式会社	株式会社			
12	9	〇〇化成株式会社	株式会社			
13	10	〇〇化成株式会社	株式会社			
14	11	〇〇化成株式会社	株式会社			
15	12	〇〇化成株式会社	株式会社			
16	13	〇〇化成株式会社	株式会社			
17	14	〇〇化成株式会社	株式会社			
18	15	〇〇化成株式会社	株式会社			
19	16	〇〇化成株式会社	株式会社			
20	17	〇〇化成株式会社	株式会社			
21	18	〇〇化成株式会社	株式会社			
22	19	〇〇化成株式会社	株式会社			
23	20	〇〇化成株式会社	株式会社			
24	21	〇〇化成株式会社	株式会社			
25	22	〇〇化成株式会社	株式会社			
26	23	〇〇化成株式会社	株式会社			
27	24	〇〇化成株式会社	株式会社			
28	25	〇〇化成株式会社	株式会社			
29	26	〇〇化成株式会社	株式会社			
30	27	〇〇化成株式会社	株式会社			
31	28	〇〇化成株式会社	株式会社			
32	29	合同会社〇〇	合同会社			
33	30	〇〇合名会社	合名会社			
34	31	〇〇化成合同会社	合同会社			

=(B4,SEARCH("

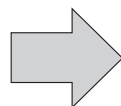
ア. RIGHT
 工. ??会社

イ. LEFT
 オ. *会社

ウ. MID
 カ. *会社*

問5. 次の表は、ある水族館の目標来場者数計算表である。次の条件から「目標利益」を100000として、次のようなパラメータ設定を行い、表計算ソフトウェアのデータ分析機能を実行し、「目標来場者数」を求める。実行したデータ分析機能の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C
1			
2	目標来場者数計算表		
3	チケット単価	1,800	円/人
4	変動費	500	円/人
5	固定費	612,500	円
6	目標来場者数	0	人
7	目標利益	-612,500	円



実行結果

	A	B	C
1			
2	目標来場者数計算表		
3	チケット単価	1,800	円/人
4	変動費	500	円/人
5	固定費	612,500	円
6	目標来場者数	548	人
7	目標利益	100,000	円

条件

- ・B3は1800を入力する。
- ・B4は500を入力する。
- ・B5は612500を入力する。
- ・B7は次の式を入力する。
 $=B3*B6-(B4*B6+B5)$

パラメータ設定

数式入力セル:	<input type="text" value="\$B\$7"/>
目標値:	<input type="text" value="100000"/>
変化させるセル:	<input type="text" value="\$B\$6"/>
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

ア. クロス集計

イ. ゴールシーク

ウ. フィルタ

問1. C5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC16までコピーする。

- ア. =VLOOKUP(RIGHT(A5,2), \$A\$20:\$B\$22, 2, FALSE)
- イ. =VLOOKUP(LEFT(A5,2), \$A\$20:\$B\$22, 2, TRUE)
- ウ. =VLOOKUP(LEFT(A5,2), \$A\$20:\$B\$22, 2, FALSE)

問2. I5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =IF(AND(D5<=2500, G5>=60.0%), "高満足度", "")
- イ. =IF(OR(D5<=2500, G5>=60.0%), "高満足度", "")
- ウ. =IF(AND(D5<=2500, G5>=60.0%), "", "高満足度")

問3. D20に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =AVERAGEIFS(\$C\$5:\$C\$16, \$H\$5:\$H\$16, B20)
- イ. =SUMIFS(\$C\$5:\$C\$16, \$H\$5:\$H\$16, B20)
- ウ. =SUMIFS(\$H\$5:\$H\$16, \$C\$5:\$C\$16, B20)

問4. E20に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=(\$C\$5:\$C\$16, B20)

- ア. COUNT
- イ. COUNTIFS
- ウ. COUNTA

問5. B26に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、この式をB28までコピーする。

=INDEX((a), MATCH((b)(\$H\$5:\$H\$16, A26), \$H\$5:\$H\$16, 0), 1)

- ア. \$B\$5:\$B\$16
- イ. SMALL
- ウ. LARGE
- エ. \$A\$5:\$I\$16
- オ. \$C\$5:\$C\$16
- カ. MAX

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	
					(a)	(b)

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ア	ク	イ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ケ	オ	イ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ア	イ	ア	イ

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	ア	ウ	10

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	
	ア	イ	ア	ウ	エ	イ

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	
					(a)	(b)
	ウ	ア	ウ	イ	ア	ウ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2023年 1 月29日実施

令和 4 年度 (第 68 回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1 ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の表は、あるカフェチェーン店における売上報告書である。作成条件にしたがって、シート名「店舗表」とシート名「売上表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数〕

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 地区別売上表」は、次のように作成する。

(1) 「購入者数合計」は、シート名「売上表」から「地区名」ごとに「購入者数」の合計を求める。

(2) 「売上金額合計」は、シート名「売上表」から「地区名」ごとに「売上金額」の合計を求める。

(3) 「合計」は、各列の合計を求める。

(4) 「売上金額平均」は、シート名「売上表」から「地区名」ごとに「売上金額」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。

(5) 「客単価」は、次の式で求める。ただし、整数未満を切り上げ、整数部のみ表示する。

$$\text{売上金額合計} \div \text{購入者数合計}$$

(6) 「割合」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

$$\text{売上金額合計} \div \text{売上金額合計の合計}$$

5. 複合グラフは、「1. 地区別売上表」から作成する。

(1) 数値軸（縦軸）の目盛は、最小値（6,000）、最大値（8,500）および間隔（500）を設定する。

(2) 第2数値軸（縦軸）の目盛は、最小値（900）、最大値（1,000）および間隔（20）を設定する。

(3) 軸ラベルの方向を設定する。

(4) 凡例の位置を設定する。

(5) データラベルを設定する。

6. 「2. 店舗別売上表」は、次のように作成する。

(1) 「店舗名」は、「店舗コード」をもとに、シート名「店舗表」を参照して表示する。

(2) 「前週売上金額」は、「店舗コード」をもとに、シート名「店舗表」を参照して表示する。

(3) 「今週売上金額」は、シート名「売上表」から「店舗コード」ごとに「売上金額」の合計を求める。

(4) 「増減率」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位までを表示する。

$$\text{今週売上金額} \div \text{前週売上金額} - 1$$

(5) 「順位」は、「今週売上金額」を基準として、降順に順位を求める。

(6) 「備考」は、「増減率」が 10.0% 以上、または「順位」が 5 位以内の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上表					
3	番号	日付	店舗コード	地区名	購入者数	売上金額
4	1	2023/1/22	TE1	東	408	355,037
5	2	2023/1/22	TE2	東	352	338,402
6	}	}	}	}	}	}
86	83	2023/1/28	TW2	西	344	348,151
87	84	2023/1/28	TW3	西	295	365,381

(売上表)

	A	B	C	D
1				
2	店舗表			
3	店舗コード	地区名	店舗名	前週売上金額
4	TE1	東	公園前	2,134,356
5	TE2	東	駅前ビル	2,361,658
6	}	}	}	}
14	TW2	西	3丁目	2,058,589
15	TW3	西	ガーデン	2,405,347

(店舗表)

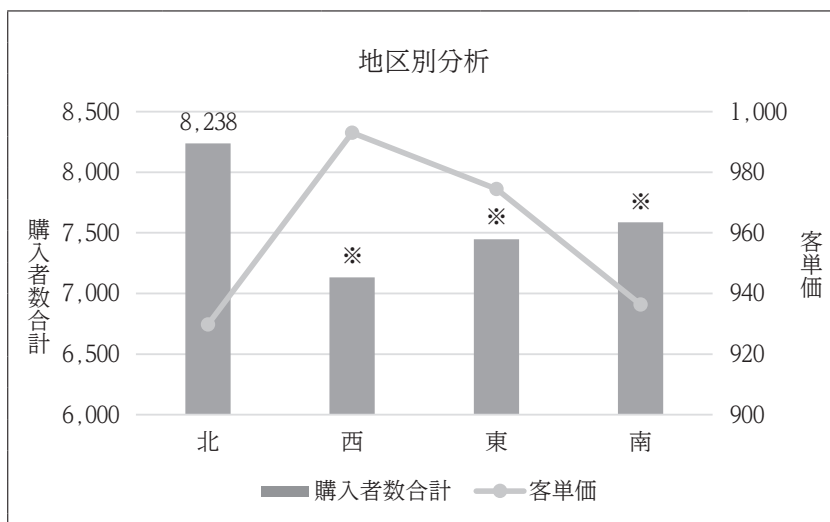
	A	B	C	D	E	F	G	H
--	---	---	---	---	---	---	---	---

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43

売上報告書

1. 地区別売上表

地区名	購入者数合計	売上金額合計	売上金額平均	客単価	割合
北	8,238	7,679,682	365,699	933	26.4%
西	※	※	※	※	※
東	※	※	※	※	※
南	※	※	※	※	※
合計	※	※			



2. 店舗別売上表

店舗コード	店舗名	前週売上金額	今週売上金額	増減率	順位	備考
TS1	タワー	2,449,456	2,458,128	0.4%	4	○
TW3	※	※	※	※	※	※
TS3	※	※	※	※	※	※
TE2	※	※	※	※	※	※
TN3	※	※	※	※	※	※
TE3	※	※	※	※	※	※
TW1	※	※	※	※	※	※
TN2	※	※	※	※	※	※
TN1	※	※	※	※	※	※
TE1	※	※	※	※	※	※
TS2	※	※	※	※	※	※
TW2	※	※	※	※	※	※

(報告書)

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技

審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H
1	売上報告書						
2							
3							
4	1. 地区別売上表						
5	地区名	購入者数合計	売上金額合計	売上金額平均	客単価	割合	
6	北	8,238	7,679,682	365,699	933	26.4%	
7	西	7,133	7,083,433	337,306	994	24.3%	
8	東	7,446	7,256,250	345,536	975	24.9%	
9	南	7,586	7,103,161	338,246	937	24.4%	
10	合計	30,403	29,122,526				
11							
12	注1 地区別分析						
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30	2. 店舗別売上表						
31	店舗コード	店舗名	前週売上金額	今週売上金額	増減率	順位	備考
32	TS1	タワー	2,449,456	2,458,128	0.4%	4	○
33	TW3	ガーデン	2,405,347	2,408,382	0.1%	8	
34	TS3	海岸	2,378,325	2,314,775	-2.7%	11	
35	TE2	駅前ビル	2,361,658	2,411,907	2.1%	6	
36	TN3	北口	2,321,223	2,606,805	12.3%	1	○
37	TE3	東口	2,313,553	2,408,970	4.1%	7	
38	TW1	インター	2,310,456	2,290,017	-0.9%	12	
39	TN2	テラス	2,254,715	2,565,083	13.8%	2	○
40	TN1	駅前	2,188,521	2,507,794	14.6%	3	○
41	TE1	公園前	2,134,356	2,435,373	14.1%	5	○
42	TS2	地下街	2,127,786	2,330,258	9.5%	10	
43	TW2	3丁目	2,058,589	2,385,034	15.9%	9	○

配点

- ① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点
 ② 罫線 …… 5点×1箇所=5点 (2つの表の罫線が正確にできている)
 ③ グラフの作成 () の箇所 … 5点×6箇所=30点

注1 最小値 (6,000), 最大値 (8,500) および間隔 (500)。

注2 北の客単価が折れ線グラフであること。マーカーの有無は問わない。

注3 西の購入者数合計が集合縦棒グラフであること。データラベルの有無は問わない。

注4 数値 (7,586)。

注5 方向。

注6 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

注7 TN3が ○ , TE3が空白。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

2023年1月29日実施

令和4年度(第68回)
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第2級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 31 と2進数の 11001 との差を表す10進数。

ア. 6

イ. 16

ウ. 18

2. 音程や音の長さなどの演奏のための情報をデジタルデータとして記録した、電子楽器を制御するためのファイル形式。

ア. OSS

イ. MP3

ウ. MIDI

3. 原始プログラムを翻訳したときにコンパイラが指摘する、構文規則に反する記述やスペルミスなどの誤り。

ア. 論理エラー

イ. 文法エラー

ウ. デバッグ

4. 作品を制作した時点から自動的に発生する権利で、小説や音楽、絵画など、知的な創作活動から生まれるものを保護する権利。

ア. 肖像権

イ. 著作権

ウ. 産業財産権

5. コンピュータの中央処理装置が直接解釈して実行できる形式の言語。

ア. 機械語

イ. C言語

ウ. Java

【4】 プログラムにしたがって処理するとき、(1)~(5)を答えなさい。なお、入力する x の値は 100 以上 9999 以下の整数とする。

- (1) x の値が 572 のとき、㉗の処理を2回目に実行したあとの c の値を答えなさい。
- (2) x の値が 572 のとき、㉑で出力される b の値を答えなさい。
- (3) x の値が 1069 のとき、㉗の処理を何回実行するか答えなさい。
- (4) x の値が 1069 のとき、㉕で出力される f の値を答えなさい。
- (5) プログラムの処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。ア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 処理を終了したとき、 a の値は必ず g の値と等しい。
 - イ. 処理を終了したとき、 a の値は必ず g の値より大きい。
 - ウ. 処理を終了したとき、 a の値は必ず g の値より小さい。

<プログラム>

```
Sub Program1()
    Dim x As Long
    Dim a As Long
    Dim b As Long
    Dim c As Long
    Dim e As Long
    Dim f As Long
    Dim g As Long
    x = Val(InputBox("値を入力してください"))
    a = Int(x / 100)
    b = 1
    c = 1
    Do While a >= c
        b = b + 1
        c = b * b ㉗
    Loop
    b = b - 1
    a = b * b * 100
    a = x - a
    e = b * 20
    f = 1
    g = e + 1
    Do While a >= g
        f = f + 1
        g = (e + f) * f
    Loop
    f = f - 1
    MsgBox (b) ㉑
    MsgBox (f) ㉕
End Sub
```

【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるベビー用品販売会社の乳児ハイハイ大会のデータを読み、結果一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

名前 (Na) ×～×	月齢 (Getu) ××	秒数 (Byo) ×××

(第1図)

実行結果

(乳児ハイハイ大会結果)			
(名前)	(月齢)	(秒数)	(賞)
伊藤 ○○	7	105	敢闘賞
}	}	}	}
三宅 ☆☆	9	50	優秀賞
}	}	}	}
中村 ◎□	11	50	優秀賞
}	}	}	}
中嶋 ◎◎	8	200	努力賞
(参加者数)	308		
(秒数の最小)	50		
(秒数の最小の名前)	三宅 ☆☆ 中村 ◎□		

(第2図)

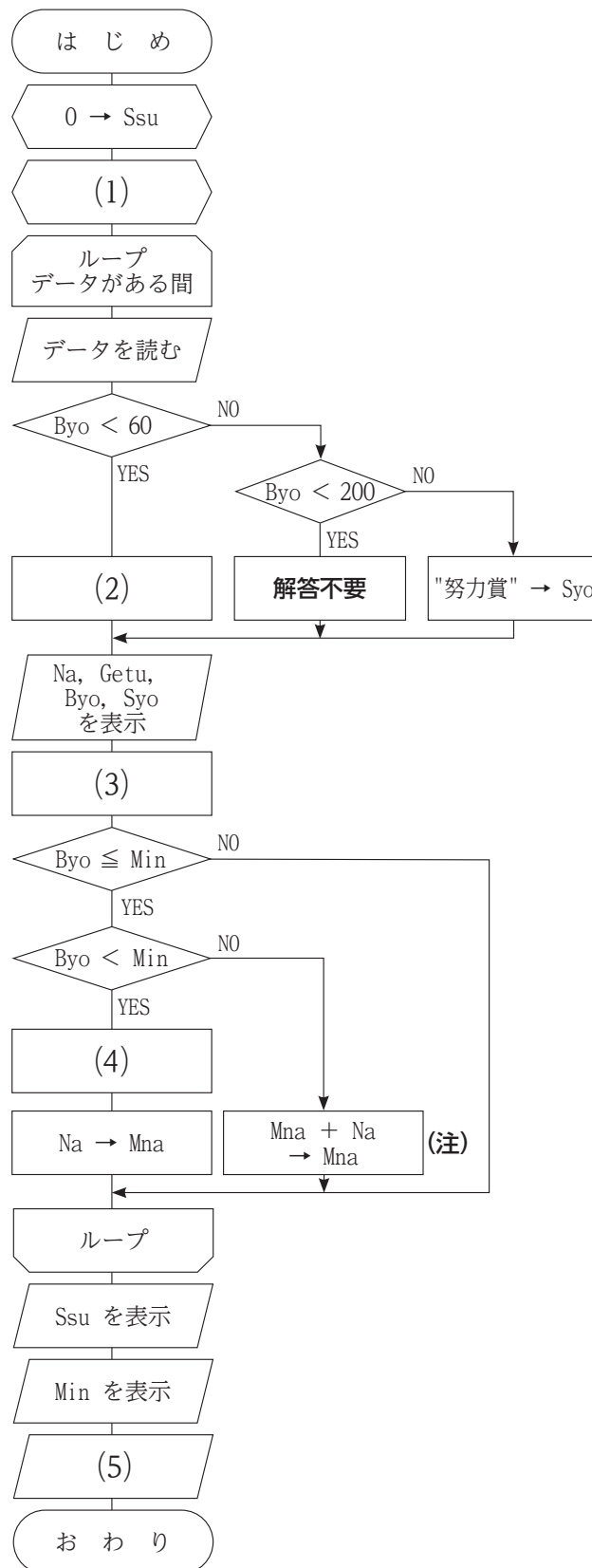
処理条件

- 第1図の入力データを読み、第2図のように表示する。なお、賞は秒数が 60 未満の場合は 優秀賞 を、60 以上 200 未満の場合は 敢闘賞 を、200 以上の場合は 努力賞 を表示する。
- 入力データが終了したら、参加者数、秒数の最小、秒数の最小の名前を、第2図のように表示する。なお、秒数の最小は同じ秒数があった場合、先に入力されたデータを優先し、秒数の最小の名前をすべて表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. 999 → Min
 イ. "敢闘賞" → Syo
 ウ. Min → Byo
 エ. Ssu + 1 → Ssu
 オ. 0 → Min
 カ. "優秀賞" → Syo
 キ. Na を表示
 ク. Ssu + Byo → Ssu
 ケ. Byo → Min
 コ. Mna を表示

<流れ図>



(注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるスーパーマーケットチェーン店の1か月の資源回収データを読み、資源別回収量一覧表と店舗別回収量一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hiduke)	資源番号 (Siban)	店舗コード (Tenco)	回収量(kg) (Kairyo)
××××	××	××	×～×

(第1図)

実行結果

(資源別回収量一覧表)			
(資源名)	(回収量計(kg))	(割合(%))	
ペットボトル	8,448	4.1	
食品トレイ	1,267	0.6	
}	}	}	
段ボール	152,620	74.3	
紙パック	2,271	1.1	
(合計)	205,382		
(店舗別回収量一覧表)			
(店舗名)	(回収量計(kg))	(前年同月比(%))	(備考)
長嶺店	10,521	101.1	増加
帯山店	9,911	95.2	
}	}	}	}
三角店	9,890	101.0	増加
人吉店	10,216	98.4	

(第2図)

処理条件

- 第1図の資源番号は 1 (ペットボトル) ～10 (紙パック) の10種類であり、店舗コードは20種類である。なお、すべての資源、店舗の回収データがある。
- 配列 Sm に資源名を、配列 Tc に店舗コードを、配列 Tm に店舗名を、配列 Zk に店舗ごとの前年同月回収量(kg)を記憶する。なお、Sm の添字は資源番号と対応し、Tc, Tm, Zk の添字は対応している。

配列

Sm	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
		ペットボトル	食品トレイ	～	段ボール	紙パック
Tc	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
		NA	OB	～	MI	HI
Tm	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
		長嶺店	帯山店	～	三角店	人吉店
Zk	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
		10403	10406	～	9791	10379

- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 資源ごとに配列 Skai に回収量(kg)を集計する。なお、Skai(0)には合計を求める。また、Skai の添字は資源番号と対応している。

配列

Skai	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
				～		
	(合計)					

- 店舗コードをもとに配列 Tc を探索し、配列 Tkai に回収量(kg)を集計する。なお、Tkai の添字は Tc の添字と対応している。

配列

Tkai	(0)	(1)	(2)	～	(19)	(20)
				～		

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 割合(%)を次の計算式で求め、資源名から割合(%)までを第2図のように表示する。

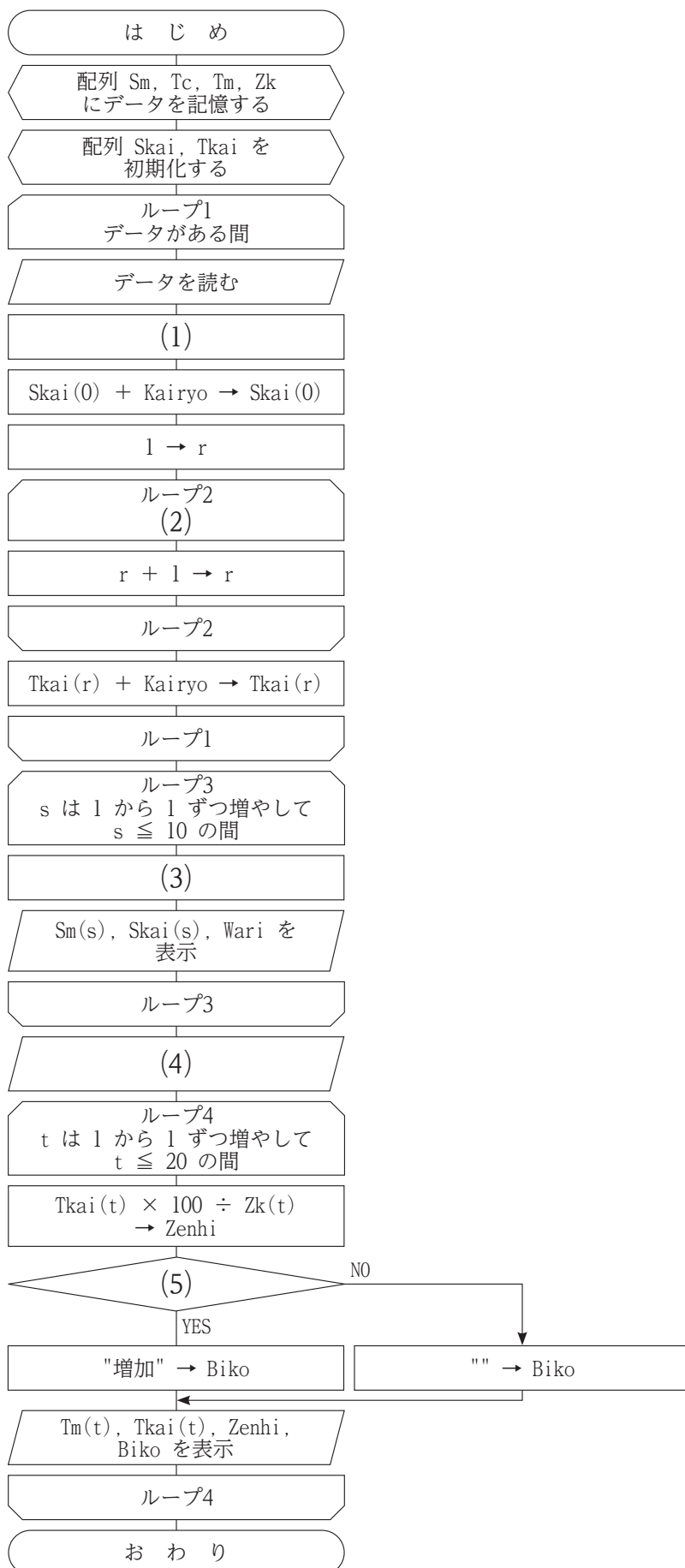
$$\text{割合(\%)} = \text{資源別回収量計(kg)} \times 100 \div \text{資源別回収量(kg)の合計}$$
 - 資源別回収量(kg)の合計を第2図のように表示する。
 - 前年同月比(%)を次の計算式で求め、店舗名から備考までを第2図のように表示する。なお、備考は前年同月比(%)が100を超える場合は 増加 を表示する。

$$\text{前年同月比(\%)} = \text{店舗別回収量計(kg)} \times 100 \div \text{店舗別前年同月回収量(kg)}$$
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Tc(r) = Tenco の間
 イ. Tc(r) ≠ Tenco の間
 ウ. Zenhi < 100
 エ. Tkai(s) × 100 ÷ Skai(0) → Wari
 オ. Skai(0) を表示
 カ. Skai(Tenco) + Kairyo → Skai(Tenco)
 キ. Skai(Siban) + Kairyo → Skai(Siban)
 ク. Skai(s) × 100 ÷ Skai(0) → Wari
 ケ. Zenhi > 100
 コ. Skai(s) を表示

<流れ図>



【7】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある高校の1週間における学習ソフトウェアのアンケート回答データを読み、平均学習時間一覧表と評価別分析表をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hi)	クラスコード (Kcod)	学習時間(分) (Gji)	評価番号 (Hban)
××	××××	×~×	×

(第1図)

実行結果

(平均学習時間一覧表)			
(学年)	(1組) ~ (4組)	(学年の平均)	
1年	4時間46分 ~ 4時間13分	4時間44分	
2年	3時間27分 ~ 3時間39分	3時間18分	
3年	5時間15分 ~ 5時間14分	5時間25分	

(評価別分析表)					
(回答者数の合計) 468					
(学年)	(満足)	~	(不満)	(回答者数)	(未回答者数)
1年	65	~	8	152	9
2年	59	~	1	156	3
3年	59	~	15	160	0

(第2図)

処理条件

1. 第1図のクラスコードは次の例のように構成されており、学年は 1~3, 組は 1~4 である。なお、評価番号は 1 (満足) ~ 5 (不満) である。また、全ての学年、組で回答データがある。

例 3201 → 3 2 01
学年 組 出席番号

2. 配列 Zsu に学年別に在籍数を記憶する。なお、Zsu の添字は学年と対応している。

配列

Zsu	(0)	(1)	(2)	(3)
		161	159	160

3. 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。

・ 配列 Gkei に学年、組別に学習時間(分)を集計し、配列 Kkei に学年、組別に回答者数を求める。なお、Gkei と Kkei の添字は対応している。

配列

Gkei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	~	(9)	(10)	(11)	(12)
						~				
(学年集計)										
Kkei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	~	(9)	(10)	(11)	(12)
						~				
	(1組) (2組) (3組) (4組)				~	(1組) (2組) (3組) (4組)				
	(1年)						(3年)			

・ 配列 Gsu に学年別に回答者数を求める。なお、Gsu(0) には合計を求める。また、Gsu の添字は学年と対応している。

配列

Gsu	(0)	(1)	(2)	(3)
(合計)				

・ 配列 Hkei に学年、評価番号別に回答者数を求める。

配列

Hkei	(0)	(1)	~	(5)	~	(11)	~	(15)	
			~		~		~		
	(満足)				(不満)		(満足)		(不満)
	(1年)						(3年)		

4. 入力データが終了したら、次の処理を行う。

・ 組の平均学習時間を次の計算式で求める。

$$\text{組の平均学習時間} = \text{組の学習時間計} \div \text{組の回答者数計}$$

・ 学年の学習時間の合計を Gkei(0) に集計する。

・ 学年の平均学習時間を次の計算式で求め、学年から学年の平均までを第2図のように表示する。

$$\text{学年の平均学習時間} = \text{学年の学習時間の合計} \div \text{学年の回答者数計}$$

・ 回答者数の合計を第2図のように表示する。

・ 未回答者数を次の計算式で求め、学年から未回答者数までを、第2図のように表示する。

$$\text{未回答者数} = \text{学年の在籍数} - \text{学年の回答者数計}$$

5. データにエラーはないものとする。

解答群

ア. $Gkei(0) \div Kkei(0) \rightarrow Hei$

ウ. $Hban + (4 \times Gk - 1) \rightarrow Hb$

オ. $Gsu(Soe2)$

キ. $Gkei(0)$

ケ. $Hban$

サ. $Zsu(Soe2)$

ス. $m = 4$

ソ. $Gkei(n) \div Kkei(n) \rightarrow Hei$

イ. $(Kcod - Gk) \div 100$

エ. $Zsu(0)$

カ. $m = 0$

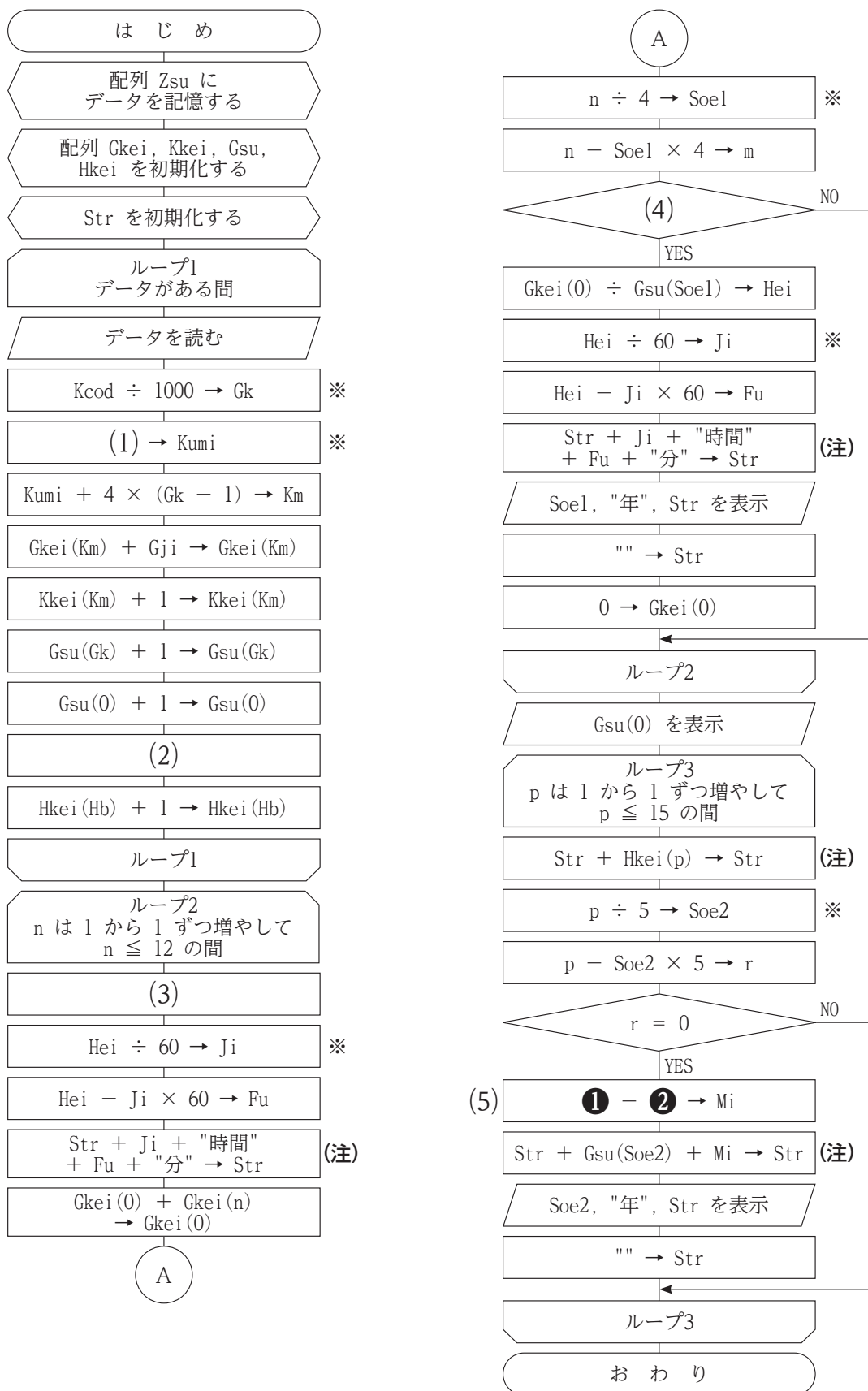
ク. $Gkei(n) \div Gkei(0) \rightarrow Hei$

コ. $Hban + 5 \times (Gk - 1) \rightarrow Hb$

シ. $Gkei(Soe2)$

セ. $(Kcod - Gk \times 1000) \div 100$

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

(注) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			回		

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計	
----	--

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
					①	②

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和4年度(第68回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	エ	ク	オ	コ	ウ

【2】	1	2	3	4	5
	ケ	イ	オ	ア	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	イ	イ	ア

各2点
15問小計
30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	9	2	3 回	2	ウ

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	ア	カ	エ	ケ	コ

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	キ	イ	ク	オ	ケ

各3点
15問小計
45

【7】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
					①	②
	セ	コ	ソ	カ	サ	オ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各5点
5問小計
25

得点合計

100

2023年1月29日実施

令和4年度(第68回)
情報処理検定試験
第3級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は6ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は20分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 11101 を10進数で表したもの。

ア. 23

イ. 29

ウ. 58

2. 約1,000,000,000,000バイトの記憶容量を表したもの。

ア. 1MB

イ. 1GB

ウ. 1TB

3. 1本のケーブルで映像や音声、制御信号を合わせて送受信するためのインタフェース規格。例えば、テレビとブルーレイディスク装置などを接続する際に使用する。

ア. Bluetooth

イ. HDMI

ウ. 生体認証

4. データ処理方式の一つで、データを一定期間または一定量ためておき、まとめて処理する方式。

ア. バッチ処理

イ. リアルタイム処理

ウ. フォルダ

5. これまで公開されていない、個人情報や私生活上の事実を本人に無断で公開し、不快と感じさせてしまうこと。

ア. プライバシーの侵害

イ. ネット詐欺

ウ. チェーンメール

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある高校の通学方法集計表である。表のD列とE列の間に「2021年」と「2022年」のデータを追加する。2列分の空白列を挿入するための指定方法として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E			
1	通学方法集計表							
2	通学方法				2018年	2019年	2020年	平均
3	徒歩	84	79	83	82			
4	自転車	160	183	191	178			
5	電車	435	439	416	430			
6	バス	142	119	129	130			
7	合計	821	820	819	820			

ア.

D	E	F
---	---	---

(D列とE列を選択)

イ.

D	E	F
---	---	---

(E列とF列を選択)

ウ.

D	E	F
---	---	---

(D列とF列を選択)

問2. 次の表は、ある年の国別映画観客動員数ランキングである。C3に
入力した文字をC列の右端に揃えたい。指定するボタンとして
適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C
1	国別映画観客動員数ランキング		
2	単位：千人		
3	順位	国名	観客動員数
4	1	インド共和国	1,981,252
5	2	中華人民共和国	1,620,038
6	3	アメリカ合衆国	1,239,743
7	4	メキシコ合衆国	337,925
8	5	大韓民国	219,894

ア. 

イ. 

ウ. 

問3. 次の表は、ある印刷業者の名刺納期確認表である。「納期」は、
「本日」に「制作日数」を加えて表示する。C4に設定する式として
適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、本日は2023年1月29日
である。

	A	B	C
1	名刺納期確認表		
2	本日	制作日数	納期
3	2023/1/29	3	2023/2/1

ア. =A4+B4

イ. =A4-B4

ウ. =A4*B4

問4. 次の表は、さやいんげんの生産量上位8都道府県一覧表で
ある。「順位」は、「生産量(t)」の降順に順位を求める。
C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。
ただし、この式をC11までコピーする。

	A	B	C
1	さやいんげんの生産量上位8都道府県一覧表		
2	都道府県名	生産量(t)	順位
3	北海道	4,690	2
4	福島県	3,260	3
5	茨城県	1,540	6
6	栃木県	866	8
7	群馬県	960	7
8	千葉県	6,030	1
9	鹿児島県	2,360	4
10	沖縄県	2,020	5

ア. =RANK(B4,B4:B11,0)

イ. =RANK(B4,\$B\$4:\$B\$11,1)

ウ. =RANK(B4,\$B\$4:\$B\$11,0)

問5. 次の表は、ある家電量販店の冬物家電一覧表である。
「品番」の右端から2文字は、「色種別」を表して
いる。「色種別」を抽出するために、C4に設定する式
として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1	冬物家電一覧表			
2	品名	品番	色種別	カラー
3	ハイブリッド加湿器	HK404BK	BK	ブラック
4	超音波加湿器	CK403WH	WH	ホワイト
5	セラミックヒーター	SH502BW	BW	ブラウン
6	ハロゲンヒーター	HH205SL	SL	シルバー
7	カーボンヒーター	KH502WH	WH	ホワイト
8	電気掛敷毛布	DM304GY	GY	グレー

ア. =RIGHT(B4,2)

イ. =LEFT(B4,2)

ウ. =MID(B4,3,2)

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表のC1は、次の式が設定されている。C1に表示される値を答えなさい。

	A	B	C
1	10	40	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

$$=A1^3/(A1+B1)$$

問2. 次の表とグラフは、おでん専門店の評価表である。各項目の評価は5点満点で数値の大きい方が高い。次の(1), (2)に答えなさい。

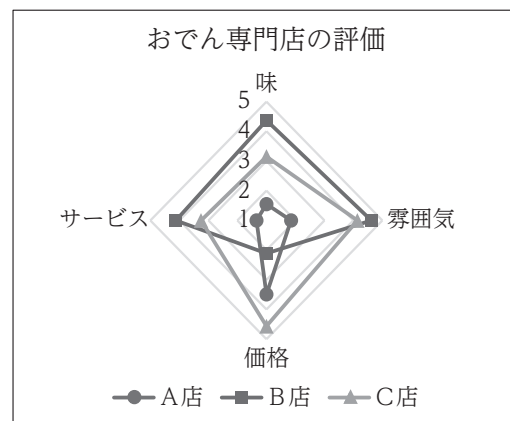
	A	B	C	D	E
1	おでん専門店の評価表 (5点満点)				
2	店名	味	雰囲気	価格	サービス
3	A店	1.55	1.85	3.49	1.34
4	B店	4.37	4.62	2.11	4.12
5	C店	3.15	4.14	4.56	3.25

(1) 作成されたグラフの名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. レーダーチャート
- イ. 集合縦棒グラフ
- ウ. 円グラフ

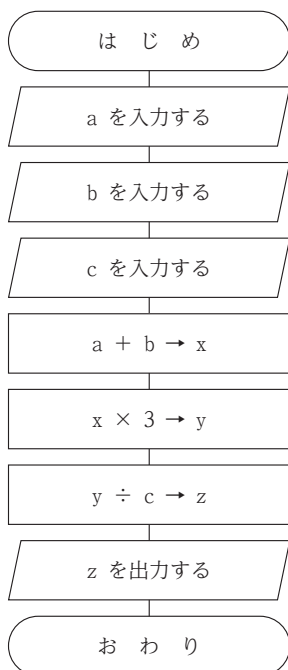
(2) グラフから読み取った内容として正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア. C店は、他の2店と比較して、「味」と「サービス」の数値が大きい。
- イ. 「雰囲気」は、すべての店で数値が4以上である。
- ウ. B店は、「価格」の評価が自店の他項目と比較して、数値が小さい。



【6】 流れ図にしたがって処理するとき、次の各問いに答えなさい。なお、入力する a, b, c の値は 1 以上の整数とする。

<流れ図>



問1. a の値が 2, b の値が 8, c の値が 6 のとき、出力される z の値を答えなさい。

問2. a の値が 5, b の値が 9, c の値が 7 のとき、出力される z の値を答えなさい。

【7】 次の表は、ある県におけるレジャー施設入場者数の資料にもとづき、作成条件にしたがって作成されたものである。各問いに答えなさい。

資料

施設名	入場者数
A 動物園	702
B 水族館	824
C パーク	475
D ガーデン	647
E リゾート	727
F 温泉	225

施設名	入場者数
A 動物園	856
B 水族館	573
C パーク	548
D ガーデン	595
E リゾート	508
F 温泉	283

施設名	入場者数
A 動物園	1,067
B 水族館	579
C パーク	535
D ガーデン	550
E リゾート	749
F 温泉	307

施設名	入場者数
A 動物園	984
B 水族館	571
C パーク	665
D ガーデン	447
E リゾート	720
F 温泉	318

施設名	入場者数
A 動物園	702
B 水族館	287
C パーク	637
D ガーデン	338
E リゾート	326
F 温泉	350

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	入場者数一覧表								
3	単位：百人								
4	施設名	8月	9月	10月	11月	12月	入場者数計	構成比	備考
5	A 動物園	702	856	1,067	984	702	4,311	25.2%	
6	B 水族館	824	①	579	571	287	2,834	16.6%	
7	C パーク	475	548	535	③	637	2,860	16.7%	○
8	D ガーデン	647	595	550	447	338	2,577	15.1%	
9	E リゾート	727	508	②	720	326	3,030	17.7%	
10	F 温泉	225	283	307	318	350	1,483	8.7%	○
11	合計	3,600	3,363	3,787	3,705	2,640	17,095		
12	平均	④	561	631	618	440			
13	最大	824	856	1,067	984	⑤			
14	最小	225	283	307	318	287			

作成条件

1. 資料を参考にして、B5～F10に入場者数を入力する。
2. 「合計」は、各列の合計を求める。
3. 「平均」は、各列の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。
4. 「最大」は、各列の最大を求める。
5. 「最小」は、各列の最小を求める。
6. 「入場者数計」は、「8月」から「12月」の合計を求める。
7. 「構成比」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

「入場者数計 ÷ 入場者数計の合計」

8. 「備考」は、「12月」が「8月」より大きい場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

問1. 表の①～⑤に表示される数値を答えなさい。

問2. B11に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =SUM(B5:F5)
- イ. =SUM(B5,B10)
- ウ. =SUM(B5:B10)

問3. B14に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =MAX(B5:B10)
- イ. =MIN(B5:B10)
- ウ. =COUNT(B5:B10)

問4. H5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をH10までコピーする。

- ア. =\$G\$5/G11
- イ. =G5/\$G\$11
- ウ. =G5/G11

問5. I5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =IF(F5>B5,"○","")
- イ. =IF(F5<B5,"○","")
- ウ. =IF(F5>=B5,"○","")

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和4年度(第68回)情報処理検定試験 第3級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	
		(1)	(2)

【6】	問1	問2

【7】	問1				
	①	②	③	④	⑤

問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和5年1月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
令和4年度(第68回)情報処理検定試験 第3級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ケ	ア	キ	オ	イ

【2】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ウ	ク	エ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ウ	イ	ア	ア

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	ウ	ア	ウ	ア

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2	
		(1)	(2)
	20	ア	ウ

【6】	問1	問2
	5	6

【7】	問1				
	①	②	③	④	⑤
	573	749	665	600	702

問2	問3	問4	問5
ウ	イ	イ	ア

※ 【7】問1は①～⑤のすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2023年1月29日実施

令和4年度（第68回）
情報処理検定試験
第3級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって，シート名「シート1」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって，1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の資料は、あるスナック菓子メーカーの商品開発会議で使用する世代別の食べる^{ひん}頻度と世代別の主な購入理由である。資料と作成条件にしたがってシート名「シート1」を作成しなさい。

資料

食べる頻度	20代	30代	40代	50代	60代
ほぼ毎日	48	44	109	91	85
週4～5回	64	60	145	152	148
週2～3回	138	217	402	406	425
週1回	159	205	501	394	402
週1回未満	503	431	734	885	890

購入理由	20代	30代	40代	50代	60代
価格が手頃	183	279	488	472	450
味が良い	202	233	431	453	467
素材が好き	93	48	91	135	197
体に良さそう	47	75	210	12	199
食感が良い	90	45	66	29	50
食べきれ	187	7	216	256	299

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

- 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

（設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，日付，%，小数の表示桁数）

- 表の※印の部分は、式や関数を利用して求める。また、※※印の部分は、資料より必要な値を入力する。
- グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。
- H1は、本日の日付を表示する。なお、本日は、2023年1月29日とする。

- 「1. 世代別の食べる頻度」は、次のように作成する。

- (1) 「合計」は、「20代」から「60代」の合計を求める。
- (2) 「世代別合計」は、各列の合計を求める。
- (3) 「週1回未満割合」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

【週1回未満 ÷ 世代別合計】

- 100%積み上げ横棒グラフは、「1. 世代別の食べる頻度」から作成する。

- (1) 数値軸の目盛は、最小値 (0.0)，最大値 (1.0)，および間隔 (0.5) を設定する。
- (2) 軸ラベルの方向を設定する。
- (3) 凡例の位置を設定する。
- (4) データラベルを設定する。

- 「2. 世代別の主な購入理由」は、次のように作成する。

- (1) 「平均」は、「20代」から「60代」の平均を求める。ただし、小数第1位まで表示する。
- (2) 「最大」は、各列の最大値を求める。
- (3) 「最小」は、各列の最小値を求める。

- 円グラフは、「2. 世代別の主な購入理由」から作成する。なお、データラベルを設定し、割合を%で小数第1位まで表示する。

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

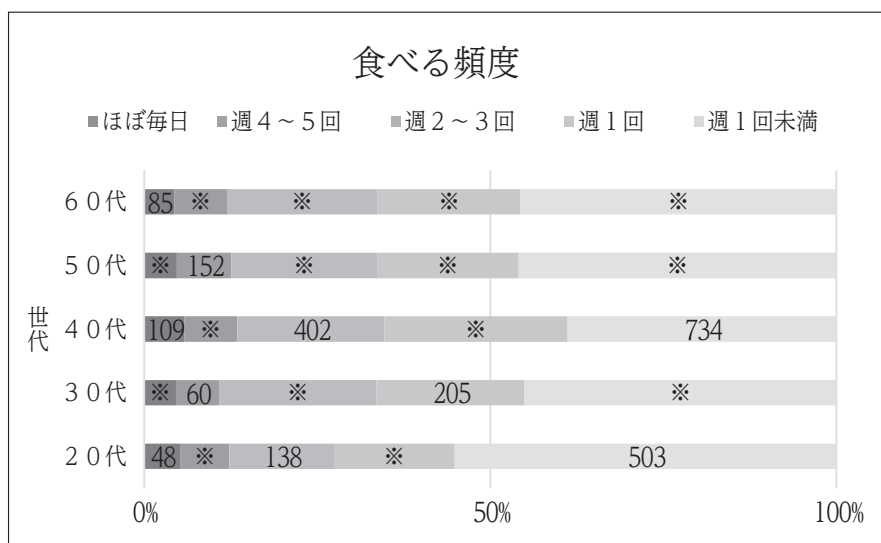
2023/1/29

市場調査報告書

1. 世代別の食べる頻度

単位：人

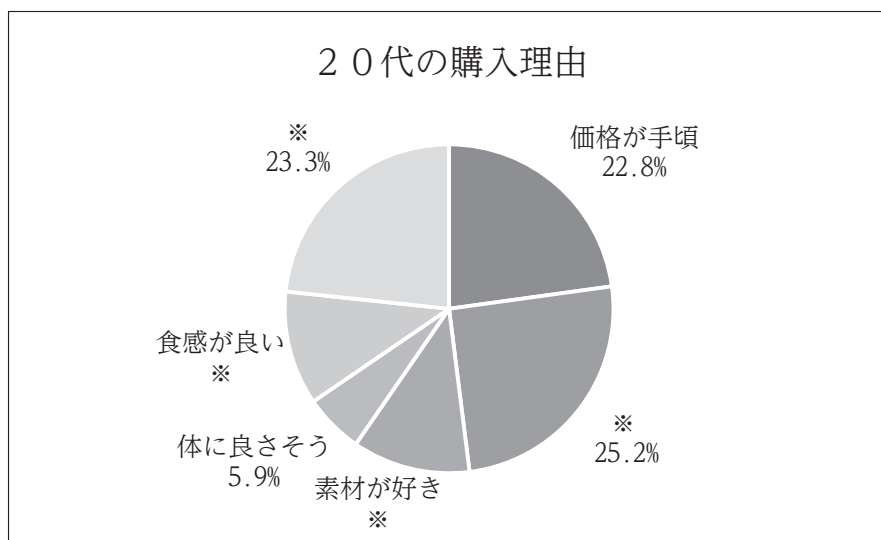
食べる頻度	20代	30代	40代	50代	60代	合計
ほぼ毎日	48	44	109	91	85	377
週4～5回	64	60	145	152	148	※
週2～3回	138	217	402	※※	※※	※
週1回	159	205	501	※※	※※	※
週1回未満	503	431	734	※※	※※	※
世代別合計	912	※	※	※	※	
週1回未満割合	55.2%	※	※	※	※	



2. 世代別の主な購入理由

単位：人

購入理由	20代	30代	40代	50代	60代	平均
価格が手頃	183	279	488	472	450	374.4
味が良い	202	233	431	453	467	※
素材が好き	93	48	91	※※	※※	※
体に良さそう	47	75	210	※※	※※	※
食感が良い	90	45	66	※※	※※	※
食べきれる	187	7	216	※※	※※	※
最大	202	※	※	※	※	
最小	47	※	※	※	※	



(シート1)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会
 令和4年度(第68回)情報処理検定試験 第3級 実技
 審査基準

2023/1/29

市場調査報告書

1. 世代別の食べる頻度 単位：人

食べる頻度	20代	30代	40代	50代	60代	合計
ほぼ毎日	48	44	109	91	85	377
週4～5回	64	60	145	152	148	569
週2～3回	138	217	402	406	425	1,588
週1回	159	205	501	394	402	1,661
週1回未満	503	431	734	885	890	3,443
世代別合計	912	957	1,891	1,928	1,950	
週1回未満割合	55.2%	45.0%	38.8%	45.9%	45.6%	

食べる頻度

注1 注2 注3

2. 世代別の主な購入理由 単位：人

購入理由	20代	30代	40代	50代	60代	平均
価格が手頃	183	279	488	472	450	374.4
味が良い	202	233	431	453	467	357.2
素材が好き	93	48	91	135	197	112.8
体に良さそう	47	75	210	12	199	108.6
食感が良い	90	45	66	29	50	56.0
食べられる	187	7	216	256	299	193.0
最大	202	279	488	472	467	
最小	47	7	66	12	50	

20代の購入理由

注4 注5

配点

- ① コンマ…………… 5点×1箇所=5点
(「1. 世代別の食べる頻度」のコンマがすべて設定されている)
- ② 表の作成()の箇所 …… 5点×11箇所=55点
- ③ 罫線 …………… 5点×1箇所=5点
(「2. 世代別の主な購入理由」の罫線が正確にできている)
- ④ グラフの作成()の箇所 … 5点×7箇所=35点

注1 方向。

注2 「40代」が100%積み上げ横棒グラフであること。データラベルの有無および系列の重なりは問わない。

注3 数値(159)。

注4 円グラフであること。

注5 数値(11.6%)。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

令和4年度 第67回 情報処理検定試験 申込者数・受験者数・合格者数集計表

NO. 県 名 種 別	1 級									2 級									NO. 県 名 種 別	3 級			合 計					
	ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合 計			ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合 計				高校	一般	計	高校	一般	計			
	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計										
1 北海道	申込者	1,150	0	1,150	190	0	190	1,340	0	1,340	1,617	0	1,617	274	0	274	1,891	0	1,891	1 北海道	申込者	1,542	3	1,545	4,773	3	4,776	
	実受験者	1,007	0	1,007	175	0	175	1,182	0	1,182	1,437	0	1,437	252	0	252	1,689	0	1,689		実受験者	1,380	3	1,383	4,251	3	4,254	
	合格者	384	0	384	82	0	82	466	0	466	937	0	937	163	0	163	1,100	0	1,100		合格者	1,131	2	1,133	2,697	2	2,699	
2 青 森	申込者	235	2	237	94	0	94	329	2	331	313	0	313	111	0	111	424	0	424	2 青 森	申込者	483	0	483	1,236	2	1,238	
	実受験者	222	1	223	92	0	92	314	1	315	296	0	296	110	0	110	406	0	406		実受験者	450	0	450	1,170	1	1,171	
	合格者	66	0	66	33	0	33	99	0	99	165	0	165	76	0	76	241	0	241		合格者	272	0	272	612	0	612	
3 岩 手	申込者	344	0	344	94	0	94	438	0	438	364	0	364	85	0	85	449	0	449	3 岩 手	申込者	273	0	273	1,160	0	1,160	
	実受験者	316	0	316	90	0	90	406	0	406	336	0	336	76	0	76	412	0	412		実受験者	247	0	247	1,065	0	1,065	
	合格者	106	0	106	19	0	19	125	0	125	177	0	177	39	0	39	216	0	216		合格者	205	0	205	546	0	546	
4 宮 城	申込者	365	1	366	26	0	26	391	1	392	236	0	236	95	0	95	331	0	331	4 宮 城	申込者	721	0	721	1,443	1	1,444	
	実受験者	337	1	338	22	0	22	359	1	360	201	0	201	84	0	84	285	0	285		実受験者	645	0	645	1,289	1	1,290	
	合格者	106	1	107	5	0	5	111	1	112	99	0	99	39	0	39	138	0	138		合格者	512	0	512	761	1	762	
5 秋 田	申込者	153	0	153	0	0	0	153	0	153	262	2	264	2	0	2	264	2	266	5 秋 田	申込者	613	0	613	1,030	2	1,032	
	実受験者	148	0	148	0	0	0	148	0	148	238	1	239	1	0	1	239	1	240		実受験者	580	0	580	967	1	968	
	合格者	49	0	49	0	0	0	49	0	49	131	0	131	1	0	1	132	0	132		合格者	512	0	512	693	0	693	
6 山 形	申込者	90	0	90	6	0	6	96	0	96	408	0	408	8	0	8	416	0	416	6 山 形	申込者	448	0	448	960	0	960	
	実受験者	82	0	82	5	0	5	87	0	87	372	0	372	8	0	8	380	0	380		実受験者	400	0	400	867	0	867	
	合格者	22	0	22	4	0	4	26	0	26	204	0	204	8	0	8	212	0	212		合格者	330	0	330	568	0	568	
7 福 島	申込者	535	0	535	99	0	99	634	0	634	632	0	632	105	0	105	737	0	737	7 福 島	申込者	793	0	793	2,164	0	2,164	
	実受験者	507	0	507	97	0	97	604	0	604	589	0	589	98	0	98	687	0	687		実受験者	760	0	760	2,051	0	2,051	
	合格者	200	0	200	66	0	66	266	0	266	418	0	418	74	0	74	492	0	492		合格者	691	0	691	1,449	0	1,449	
8 茨 城	申込者	337	0	337	129	0	129	466	0	466	713	0	713	201	0	201	914	0	914	8 茨 城	申込者	794	0	794	2,174	0	2,174	
	実受験者	297	0	297	112	0	112	409	0	409	644	0	644	192	0	192	836	0	836		実受験者	723	0	723	1,968	0	1,968	
	合格者	78	0	78	37	0	37	115	0	115	391	0	391	129	0	129	520	0	520		合格者	535	0	535	1,170	0	1,170	
9 栃 木	申込者	876	1	877	176	0	176	1,052	1	1,053	688	0	688	94	0	94	782	0	782	9 栃 木	申込者	890	1	891	2,724	2	2,726	
	実受験者	803	1	804	167	0	167	970	1	971	607	0	607	90	0	90	697	0	697		実受験者	815	1	816	2,482	2	2,484	
	合格者	194	0	194	72	0	72	266	0	266	295	0	295	41	0	41	336	0	336		合格者	690	1	691	1,292	1	1,293	
10 群 馬	申込者	1,232	0	1,232	347	0	347	1,579	0	1,579	275	0	275	28	0	28	303	0	303	10 群 馬	申込者	558	0	558	2,440	0	2,440	
	実受験者	1,146	0	1,146	330	0	330	1,476	0	1,476	246	0	246	24	0	24	270	0	270		実受験者	479	0	479	2,225	0	2,225	
	合格者	524	0	524	127	0	127	651	0	651	135	0	135	12	0	12	147	0	147		合格者	436	0	436	1,234	0	1,234	
11 埼 玉	申込者	808	0	808	67	0	67	875	0	875	1,743	4	1,747	253	0	253	1,996	4	2,000	11 埼 玉	申込者	1,405	0	1,405	4,276	4	4,280	
	実受験者	728	0	728	52	0	52	780	0	780	1,603	3	1,606	233	0	233	1,836	3	1,839		実受験者	1,290	0	1,290	3,906	3	3,909	
	合格者	215	0	215	16	0	16	231	0	231	988	1	989	134	0	134	1,122	1	1,123		合格者	1,049	0	1,049	2,402	1	2,403	
12 千 葉	申込者	807	0	807	75	0	75	882	0	882	605	2	607	291	0	291	896	2	898	12 千 葉	申込者	1,031	1	1,032	2,809	3	2,812	
	実受験者	721	0	721	70	0	70	791	0	791	535	1	536	270	0	270	805	1	806		実受験者	939	1	940	2,535	2	2,537	
	合格者	305	0	305	31	0	31	336	0	336	317	1	318	191	0	191	508	1	509		合格者	833	0	833	1,677	1	1,678	
13 山 梨	申込者	199	0	199	25	0	25	224	0	224	179	0	179	215	0	215	394	0	394	13 山 梨	申込者	295	0	295	913	0	913	
	実受験者	186	0	186	25	0	25	211	0	211	170	0	170	211	0	211	381	0	381		実受験者	283	0	283	875	0	875	
	合格者	30	0	30	8	0	8	38	0	38	98	0	98	118	0	118	216	0	216		合格者	280	0	280	534	0	534	
14 東 京	申込者	261	0	261	1	0	1	262	0	262	288	0	288	88	0	88	376	0	376	14 東 京	申込者	595	0	595	1,233	0	1,233	
	実受験者	213	0	213	0	0	0	213	0	213	247	0	247	82	0	82	329	0	329		実受験者	516	0	516	1,058	0	1,058	
	合格者	43	0	43	0	0	0	43	0	43	115	0	115	24	0	24	139	0	139		合格者	425	0	425	607	0	607	
15 神 奈 川	申込者	273	0	273	56	1	57	329	1	330	341	56	1	342	60	1	61	401	2	403	15 神 奈 川	申込者	516	5	521	1,246	8	1,254
	実受験者	239	0	239	52	1	53	291	1	292	290	1	291	58	0	58	348	1	349	実受験者		458	5	463	1,097	7	1,104	
	合格者	72	0	72	19	0	19	91	0	91	182	1	183	34	0	34	216	1	217	合格者		388	4	392	695	5	700	
16 新 潟	申込者	437	1	438	74	0	74	511	1	512	245	1	246	1	0	1	246	1	247	16 新 潟	申込者	114	0	114	871	2	873	
	実受験者	412	0	412	69	0	69	481	0	481	214	0	214	1	0	1	215	0	215		実受験者	103	0	103	799	0	799	
	合格者	116	0	116	17	0	17	133	0	133	96	0	96	0	0	0	96	0	96		合格者	87	0	87	316	0	316	
17 富 山	申込者	389	0	389	144	0	144	533	0	533	223	0	223	40	0	40	263	0	263	17 富 山	申込者	726	0	726	1,522	0	1,522	
	実受験者	365	0	365	133	0	133	498	0	498	204	0	204	36	0	36	240	0	240		実受験者	658	0	658	1,396	0	1,396	
	合格者	112	0	112	32	0	32	144	0	144	109	0	109	5	0	5	114	0	114		合格者	542	0	542	800	0</		

NO. 県名	種別	1 級									2 級									NO. 県名	種別	3 級			合 計		
		ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合 計			ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合 計					高校	一般	計	高校	一般	計
		高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計								
25 滋 賀	申込者	198	0	198	47	0	47	245	0	245	273	0	273	79	0	79	352	0	352	25 滋 賀	申込者	173	0	173	770	0	770
	実受験者	167	0	167	44	0	44	211	0	211	239	0	239	77	0	77	316	0	316		実受験者	129	0	129	656	0	656
	合格者	38	0	38	23	0	23	61	0	61	96	0	96	58	0	58	154	0	154		合格者	64	0	64	279	0	279
26 京 都	申込者	226	0	226	10	0	10	236	0	236	116	2	118	7	0	7	123	2	125	26 京 都	申込者	404	2	406	763	4	767
	実受験者	212	0	212	8	0	8	220	0	220	92	2	94	3	0	3	95	2	97		実受験者	374	2	376	689	4	693
	合格者	79	0	79	3	0	3	82	0	82	41	0	41	0	0	0	41	0	41		合格者	318	1	319	441	1	442
27 大 阪	申込者	502	1	503	48	0	48	550	1	551	464	0	464	175	0	175	639	0	639	27 大 阪	申込者	1,109	0	1,109	2,298	1	2,299
	実受験者	444	1	445	44	0	44	488	1	489	352	0	352	110	0	110	462	0	462		実受験者	856	0	856	1,806	1	1,807
	合格者	164	1	165	13	0	13	177	1	178	150	0	150	66	0	66	216	0	216		合格者	551	0	551	944	1	945
28 兵 庫	申込者	1,066	1	1,067	263	0	263	1,329	1	1,330	624	4	628	368	0	368	992	4	996	28 兵 庫	申込者	1,791	18	1,809	4,112	23	4,135
	実受験者	903	0	903	239	0	239	1,142	0	1,142	514	4	518	345	0	345	859	4	863		実受験者	1,642	18	1,660	3,643	22	3,665
	合格者	236	0	236	74	0	74	310	0	310	260	3	263	252	0	252	512	3	515		合格者	1,473	8	1,481	2,295	11	2,306
29 奈 良	申込者	304	0	304	5	0	5	309	0	309	72	0	72	3	0	3	75	0	75	29 奈 良	申込者	231	0	231	615	0	615
	実受験者	291	0	291	5	0	5	296	0	296	68	0	68	3	0	3	71	0	71		実受験者	204	0	204	571	0	571
	合格者	197	0	197	2	0	2	199	0	199	34	0	34	2	0	2	36	0	36		合格者	163	0	163	398	0	398
30 和 歌 山	申込者	161	0	161	59	0	59	220	0	220	118	0	118	81	0	81	199	0	199	30 和 歌 山	申込者	198	0	198	617	0	617
	実受験者	132	0	132	47	0	47	179	0	179	99	0	99	73	0	73	172	0	172		実受験者	187	0	187	538	0	538
	合格者	46	0	46	22	0	22	68	0	68	55	0	55	53	0	53	108	0	108		合格者	167	0	167	343	0	343
31 鳥 取	申込者	174	0	174	49	0	49	223	0	223	140	0	140	1	0	1	141	0	141	31 鳥 取	申込者	155	0	155	519	0	519
	実受験者	160	0	160	44	0	44	204	0	204	124	0	124	1	0	1	125	0	125		実受験者	135	0	135	464	0	464
	合格者	27	0	27	7	0	7	34	0	34	54	0	54	0	0	0	54	0	54		合格者	95	0	95	183	0	183
32 島 根	申込者	148	3	151	56	0	56	204	3	207	252	2	254	113	0	113	365	2	367	32 島 根	申込者	127	0	127	696	5	701
	実受験者	131	3	134	52	0	52	183	3	186	187	2	189	108	0	108	295	2	297		実受験者	113	0	113	591	5	596
	合格者	33	3	36	20	0	20	53	3	56	55	1	56	59	0	59	114	1	115		合格者	73	0	73	240	4	244
33 岡 山	申込者	1,174	0	1,174	164	0	164	1,338	0	1,338	247	0	247	201	0	201	448	0	448	33 岡 山	申込者	720	0	720	2,506	0	2,506
	実受験者	1,063	0	1,063	157	0	157	1,220	0	1,220	183	0	183	187	0	187	370	0	370		実受験者	477	0	477	2,067	0	2,067
	合格者	304	0	304	56	0	56	360	0	360	68	0	68	157	0	157	225	0	225		合格者	393	0	393	978	0	978
34 広 島	申込者	382	0	382	74	0	74	456	0	456	629	0	629	225	0	225	854	0	854	34 広 島	申込者	775	0	775	2,085	0	2,085
	実受験者	310	0	310	63	0	63	373	0	373	539	0	539	189	0	189	728	0	728		実受験者	685	0	685	1,786	0	1,786
	合格者	56	0	56	26	0	26	82	0	82	228	0	228	70	0	70	298	0	298		合格者	511	0	511	891	0	891
35 山 口	申込者	255	0	255	83	0	83	338	0	338	274	0	274	61	0	61	335	0	335	35 山 口	申込者	398	0	398	1,071	0	1,071
	実受験者	242	0	242	79	0	79	321	0	321	258	0	258	61	0	61	319	0	319		実受験者	366	0	366	1,006	0	1,006
	合格者	97	0	97	44	0	44	141	0	141	158	0	158	40	0	40	198	0	198		合格者	308	0	308	647	0	647
36 香 川	申込者	248	0	248	48	0	48	296	0	296	318	0	318	72	0	72	390	0	390	36 香 川	申込者	262	0	262	948	0	948
	実受験者	214	0	214	45	0	45	259	0	259	307	0	307	70	0	70	377	0	377		実受験者	236	0	236	872	0	872
	合格者	63	0	63	20	0	20	83	0	83	205	0	205	54	0	54	259	0	259		合格者	206	0	206	548	0	548
37 徳 島	申込者	107	0	107	8	0	8	115	0	115	316	0	316	69	0	69	385	0	385	37 徳 島	申込者	450	0	450	950	0	950
	実受験者	98	0	98	5	0	5	103	0	103	272	0	272	55	0	55	327	0	327		実受験者	389	0	389	819	0	819
	合格者	16	0	16	2	0	2	18	0	18	69	0	69	18	0	18	87	0	87		合格者	297	0	297	402	0	402
38 愛 媛	申込者	555	0	555	131	0	131	686	0	686	424	4	428	103	0	103	527	4	531	38 愛 媛	申込者	685	3	688	1,898	7	1,905
	実受験者	512	0	512	109	0	109	621	0	621	374	3	377	94	0	94	468	3	471		実受験者	615	3	618	1,704	6	1,710
	合格者	174	0	174	30	0	30	204	0	204	208	3	211	56	0	56	264	3	267		合格者	505	3	508	973	6	979
39 高 知	申込者	54	0	54	23	0	23	77	0	77	109	0	109	0	0	0	109	0	109	39 高 知	申込者	220	0	220	406	0	406
	実受験者	39	0	39	21	0	21	60	0	60	90	0	90	0	0	0	90	0	90		実受験者	157	0	157	307	0	307
	合格者	7	0	7	12	0	12	19	0	19	40	0	40	0	0	0	40	0	40		合格者	85	0	85	144	0	144
40 福 岡	申込者	656	0	656	83	0	83	739	0	739	1,174	0	1,174	286	0	286	1,460	0	1,460	40 福 岡	申込者	1,761	3	1,764	3,960	3	3,963
	実受験者	582	0	582	75	0	75	657	0	657	1,040	0	1,040	263	0	263	1,303	0	1,303		実受験者	1,637	3	1,640	3,597	3	3,600
	合格者	180	0	180	29	0	29	209	0	209	497	0	497	183	0	183	680	0	680		合格者	1,403	2	1,405	2,292	2	2,294
41 佐 賀	申込者	328	0	328	37	0	37	365	0	365	268	0	268	9	0	9	277	0	277	41 佐 賀	申込者	245	0	245	887	0	887
	実受験者	316	0	316	33	0	33	349	0	349	242	0	242	9	0	9	251	0	251		実受験者	231	0	231	831	0	831
	合格者	177	0	177	10	0	10	187	0	187	165	0	165	8	0	8	173	0	173		合格者	206	0	206	566	0	566
42 長 崎	申込者	521	1	522	64	0	64	585	1	586	634	1	635	111	0	111	745	1	746	42 長 崎	申込者	84					

令和4年度 第68回 情報処理検定試験

最終更新日 R5.3.1

NO. 県 名 種 別	1 級									2 級									NO. 県 名 種 別	3 級			合 計				
	ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合 計			ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合 計				高校	一般	計	高校	一般	計		
	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計									
1 北海道	申込者	1,118	0	1,118	262	0	262	1,380	0	1,380	2,196	1	2,197	328	1	329	2,524	2	2,526	1 北海道	申込者	1,699	1	1,700	5,603	3	5,606
	実受験者	1,012	0	1,012	246	0	246	1,258	0	1,258	2,007	1	2,008	291	1	292	2,298	2	2,300		実受験者	1,462	1	1,463	5,018	3	5,021
	合格者	274	0	274	71	0	71	345	0	345	1,228	0	1,228	212	1	213	1,440	1	1,441		合格者	1,087	1	1,088	2,872	2	2,874
2 青 森	申込者	342	1	343	169	0	169	511	1	512	560	1	561	85	0	85	645	1	646	2 青 森	申込者	685	0	685	1,841	2	1,843
	実受験者	332	1	333	164	0	164	496	1	497	526	1	527	82	0	82	608	1	609		実受験者	613	0	613	1,717	2	1,719
	合格者	121	0	121	53	0	53	174	0	174	316	0	316	62	0	62	378	0	378		合格者	364	0	364	916	0	916
3 岩 手	申込者	412	0	412	138	0	138	550	0	550	560	0	560	217	0	217	777	0	777	3 岩 手	申込者	838	0	838	2,165	0	2,165
	実受験者	370	0	370	129	0	129	499	0	499	495	0	495	200	0	200	695	0	695		実受験者	790	0	790	1,984	0	1,984
	合格者	91	0	91	24	0	24	115	0	115	289	0	289	112	0	112	401	0	401		合格者	532	0	532	1,048	0	1,048
4 宮 城	申込者	489	1	490	67	0	67	556	1	557	1,060	0	1,060	61	0	61	1,121	0	1,121	4 宮 城	申込者	226	4	230	1,903	5	1,908
	実受験者	420	0	420	64	0	64	484	0	484	950	0	950	56	0	56	1,006	0	1,006		実受験者	204	4	208	1,694	4	1,698
	合格者	97	0	97	24	0	24	121	0	121	607	0	607	19	0	19	626	0	626		合格者	169	4	173	916	4	920
5 秋 田	申込者	97	0	97	11	0	11	108	0	108	411	1	412	125	0	125	536	1	537	5 秋 田	申込者	630	0	630	1,274	1	1,275
	実受験者	95	0	95	10	0	10	105	0	105	396	1	397	112	0	112	508	1	509		実受験者	602	0	602	1,215	1	1,216
	合格者	23	0	23	4	0	4	27	0	27	208	1	209	82	0	82	290	1	291		合格者	520	0	520	837	1	838
6 山 形	申込者	298	1	299	23	0	23	321	1	322	306	1	307	174	0	174	480	1	481	6 山 形	申込者	545	0	545	1,346	2	1,348
	実受験者	292	1	293	23	0	23	315	1	316	279	1	280	166	0	166	445	1	446		実受験者	511	0	511	1,271	2	1,273
	合格者	92	0	92	9	0	9	101	0	101	167	1	168	109	0	109	276	1	277		合格者	448	0	448	825	1	826
7 福 島	申込者	376	1	377	314	0	314	690	1	691	992	2	994	421	0	421	1,413	2	1,415	7 福 島	申込者	768	0	768	2,871	3	2,874
	実受験者	356	1	357	307	0	307	663	1	664	946	2	948	410	0	410	1,356	2	1,358		実受験者	699	0	699	2,718	3	2,721
	合格者	137	0	137	148	0	148	285	0	285	672	1	673	328	0	328	1,000	1	1,001		合格者	572	0	572	1,857	1	1,858
8 茨 城	申込者	852	0	852	173	0	173	1,025	0	1,025	1,236	7	1,243	67	0	67	1,303	7	1,310	8 茨 城	申込者	853	43	896	3,181	50	3,231
	実受験者	813	0	813	163	0	163	976	0	976	1,143	6	1,149	60	0	60	1,203	6	1,209		実受験者	740	41	781	2,919	47	2,966
	合格者	270	0	270	46	0	46	316	0	316	627	2	629	48	0	48	675	2	677		合格者	522	32	554	1,513	34	1,547
9 栃 木	申込者	944	1	945	285	0	285	1,229	1	1,230	997	0	997	49	0	49	1,046	0	1,046	9 栃 木	申込者	538	0	538	2,813	1	2,814
	実受験者	829	1	830	271	0	271	1,100	1	1,101	869	0	869	44	0	44	913	0	913		実受験者	489	0	489	2,502	1	2,503
	合格者	171	0	171	102	0	102	273	0	273	441	0	441	14	0	14	455	0	455		合格者	373	0	373	1,101	0	1,101
10 群 馬	申込者	1,041	0	1,041	442	0	442	1,483	0	1,483	1,650	0	1,650	285	0	285	1,935	0	1,935	10 群 馬	申込者	704	0	704	4,122	0	4,122
	実受験者	977	0	977	423	0	423	1,400	0	1,400	1,551	0	1,551	274	0	274	1,825	0	1,825		実受験者	613	0	613	3,838	0	3,838
	合格者	262	0	262	169	0	169	431	0	431	1,047	0	1,047	195	0	195	1,242	0	1,242		合格者	375	0	375	2,048	0	2,048
11 埼 玉	申込者	638	0	638	295	0	295	933	0	933	1,502	2	1,504	167	0	167	1,669	2	1,671	11 埼 玉	申込者	2,542	1	2,543	5,144	3	5,147
	実受験者	605	0	605	287	0	287	892	0	892	1,365	2	1,367	160	0	160	1,525	2	1,527		実受験者	2,334	1	2,335	4,751	3	4,754
	合格者	199	0	199	123	0	123	322	0	322	686	0	686	107	0	107	793	0	793		合格者	1,707	1	1,708	2,822	1	2,823
12 千 葉	申込者	919	0	919	339	0	339	1,258	0	1,258	1,575	0	1,575	479	0	479	2,054	0	2,054	12 千 葉	申込者	949	4	953	4,261	4	4,265
	実受験者	853	0	853	328	0	328	1,181	0	1,181	1,474	0	1,474	441	0	441	1,915	0	1,915		実受験者	825	4	829	3,921	4	3,925
	合格者	311	0	311	172	0	172	483	0	483	1,020	0	1,020	229	0	229	1,249	0	1,249		合格者	636	3	639	2,368	3	2,371
13 山 梨	申込者	292	0	292	158	0	158	450	0	450	550	0	550	49	0	49	599	0	599	13 山 梨	申込者	197	0	197	1,246	0	1,246
	実受験者	273	0	273	151	0	151	424	0	424	517	0	517	43	0	43	560	0	560		実受験者	180	0	180	1,164	0	1,164
	合格者	77	0	77	30	0	30	107	0	107	383	0	383	20	0	20	403	0	403		合格者	161	0	161	671	0	671
14 東 京	申込者	233	0	233	80	0	80	313	0	313	621	1	622	1	1	2	622	2	624	14 東 京	申込者	1,053	0	1,053	1,988	2	1,990
	実受験者	209	0	209	77	0	77	286	0	286	519	1	520	1	1	2	520	2	522		実受験者	919	0	919	1,725	2	1,727
	合格者	41	0	41	10	0	10	51	0	51	252	0	252	1	1	2	253	1	254		合格者	673	0	673	977	1	978
15 神 奈 川	申込者	296	0	296	55	0	55	351	0	351	736	0	736	174	0	174	910	0	910	15 神 奈 川	申込者	945	6	951	2,206	6	2,212
	実受験者	266	0	266	53	0	53	319	0	319	697	0	697	158	0	158	855	0	855		実受験者	876	6	882	2,050	6	2,056
	合格者	57	0	57	27	0	27	84	0	84	374	0	374	99	0	99	473	0	473		合格者	705	5	710	1,262	5	1,267
16 新 潟	申込者	682	2	684	128	0	128	810	2	812	957	1	958	11	0	11	968	1	969	16 新 潟	申込者	660	0	660	2,438	3	2,441
	実受験者	615	2	617	115	0	115	730	2	732	865	1	866	9	0	9	874	1	875		実受験者	557	0	557	2,161	3	2,164
	合格者	159	1	160	44	0	44	203	1	204	514	0	514	1	0	1	515	0	515		合格者	379	0	379	1,097	1	1,098
17 富 山	申込者	362	0	362	144	0	144	506	0	506	566	0	566	121	0	121	687	0	687	17 富 山	申込者	232	4	236	1,425	4	1,429
	実受験者	315	0	315	134	0	134	449	0	449	513	0	513	109	0	109	622	0	622</								

NO. 県名	種別	1 級									2 級									NO. 県名	種別	3 級			合計		
		ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合計			ビジネス情報部門			プログラミング部門 (マクロ言語)			合計					合計	合計	合計			
		高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計	高校	一般	計								
25	滋賀	申込者	157	0	157	85	0	85	242	0	242	668	0	668	101	0	101	769	0	769	申込者	544	0	544	1,555	0	1,555
		実受験者	145	0	145	77	0	77	222	0	222	614	0	614	94	0	94	708	0	708	実受験者	486	0	486	1,416	0	1,416
		合格者	48	0	48	33	0	33	81	0	81	368	0	368	57	0	57	425	0	425	合格者	380	0	380	886	0	886
26	京都	申込者	140	0	140	32	0	32	172	0	172	571	3	574	1	0	1	572	3	575	申込者	115	1	116	859	4	863
		実受験者	125	0	125	31	0	31	156	0	156	516	2	518	1	0	1	517	2	519	実受験者	99	1	100	772	3	775
		合格者	23	0	23	4	0	4	27	0	27	253	1	254	0	0	0	253	1	254	合格者	57	0	57	337	1	338
27	大阪	申込者	535	0	535	40	0	40	575	0	575	893	0	893	413	0	413	1,306	0	1,306	申込者	1,071	0	1,071	2,952	0	2,952
		実受験者	463	0	463	39	0	39	502	0	502	739	0	739	373	0	373	1,112	0	1,112	実受験者	795	0	795	2,409	0	2,409
		合格者	83	0	83	9	0	9	92	0	92	377	0	377	235	0	235	612	0	612	合格者	425	0	425	1,129	0	1,129
28	兵庫	申込者	899	0	899	442	0	442	1,341	0	1,341	1,862	0	1,862	397	1	398	2,259	1	2,260	申込者	657	1	658	4,257	2	4,259
		実受験者	758	0	758	404	0	404	1,162	0	1,162	1,594	0	1,594	341	1	342	1,935	1	1,936	実受験者	566	1	567	3,663	2	3,665
		合格者	179	0	179	110	0	110	289	0	289	806	0	806	187	0	187	993	0	993	合格者	384	0	384	1,666	0	1,666
29	奈良	申込者	178	0	178	101	0	101	279	0	279	560	0	560	74	0	74	634	0	634	申込者	157	0	157	1,070	0	1,070
		実受験者	157	0	157	97	0	97	254	0	254	534	0	534	71	0	71	605	0	605	実受験者	138	0	138	997	0	997
		合格者	55	0	55	40	0	40	95	0	95	301	0	301	48	0	48	349	0	349	合格者	110	0	110	554	0	554
30	和歌山	申込者	372	0	372	35	0	35	407	0	407	689	1	690	3	0	3	692	1	693	申込者	218	1	219	1,317	2	1,319
		実受験者	335	0	335	32	0	32	367	0	367	628	0	628	3	0	3	631	0	631	実受験者	183	1	184	1,181	1	1,182
		合格者	107	0	107	7	0	7	114	0	114	396	0	396	1	0	1	397	0	397	合格者	171	1	172	682	1	683
31	鳥取	申込者	252	0	252	39	0	39	291	0	291	350	1	351	22	0	22	372	1	373	申込者	247	2	249	910	3	913
		実受験者	206	0	206	38	0	38	244	0	244	319	1	320	20	0	20	339	1	340	実受験者	203	2	205	786	3	789
		合格者	51	0	51	2	0	2	53	0	53	189	1	190	13	0	13	202	1	203	合格者	99	1	100	354	2	356
32	島根	申込者	325	1	326	166	0	166	491	1	492	798	1	799	0	0	0	798	1	799	申込者	262	0	262	1,551	2	1,553
		実受験者	298	1	299	154	0	154	452	1	453	759	1	760	0	0	0	759	1	760	実受験者	213	0	213	1,424	2	1,426
		合格者	91	0	91	48	0	48	139	0	139	413	1	414	0	0	0	413	1	414	合格者	94	0	94	646	1	647
33	岡山	申込者	1,207	0	1,207	368	0	368	1,575	0	1,575	1,875	1	1,876	167	0	167	2,042	1	2,043	申込者	487	0	487	4,104	1	4,105
		実受験者	1,120	0	1,120	342	0	342	1,462	0	1,462	1,741	1	1,742	154	0	154	1,895	1	1,896	実受験者	302	0	302	3,659	1	3,660
		合格者	453	0	453	130	0	130	583	0	583	1,298	1	1,299	86	0	86	1,384	1	1,385	合格者	163	0	163	2,130	1	2,131
34	広島	申込者	380	0	380	164	0	164	544	0	544	1,049	0	1,049	186	0	186	1,235	0	1,235	申込者	874	0	874	2,653	0	2,653
		実受験者	344	0	344	145	0	145	489	0	489	942	0	942	165	0	165	1,107	0	1,107	実受験者	796	0	796	2,392	0	2,392
		合格者	90	0	90	26	0	26	116	0	116	393	0	393	108	0	108	501	0	501	合格者	632	0	632	1,249	0	1,249
35	山口	申込者	420	0	420	87	0	87	507	0	507	753	0	753	194	0	194	947	0	947	申込者	411	0	411	1,865	0	1,865
		実受験者	398	0	398	86	0	86	484	0	484	710	0	710	187	0	187	897	0	897	実受験者	373	0	373	1,754	0	1,754
		合格者	133	0	133	30	0	30	163	0	163	492	0	492	141	0	141	633	0	633	合格者	268	0	268	1,064	0	1,064
36	香川	申込者	276	0	276	95	0	95	371	0	371	368	0	368	12	0	12	380	0	380	申込者	490	0	490	1,241	0	1,241
		実受験者	260	0	260	94	0	94	354	0	354	337	0	337	10	0	10	347	0	347	実受験者	425	0	425	1,126	0	1,126
		合格者	69	0	69	38	0	38	107	0	107	190	0	190	4	0	4	194	0	194	合格者	359	0	359	660	0	660
37	徳島	申込者	206	0	206	30	0	30	236	0	236	595	0	595	93	0	93	688	0	688	申込者	368	0	368	1,292	0	1,292
		実受験者	189	0	189	30	0	30	219	0	219	522	0	522	88	0	88	610	0	610	実受験者	338	0	338	1,167	0	1,167
		合格者	17	0	17	7	0	7	24	0	24	159	0	159	11	0	11	170	0	170	合格者	260	0	260	454	0	454
38	愛媛	申込者	449	2	451	301	0	301	750	2	752	754	0	754	146	0	146	900	0	900	申込者	648	3	651	2,298	5	2,303
		実受験者	412	2	414	285	0	285	697	2	699	669	0	669	138	0	138	807	0	807	実受験者	551	2	553	2,055	4	2,059
		合格者	60	0	60	89	0	89	149	0	149	344	0	344	112	0	112	456	0	456	合格者	356	1	357	961	1	962
39	高知	申込者	173	0	173	5	0	5	178	0	178	366	0	366	35	0	35	401	0	401	申込者	241	0	241	820	0	820
		実受験者	143	0	143	2	0	2	145	0	145	298	0	298	33	0	33	331	0	331	実受験者	200	0	200	676	0	676
		合格者	35	0	35	0	0	0	35	0	35	161	0	161	29	0	29	190	0	190	合格者	131	0	131	356	0	356
40	福岡	申込者	887	0	887	229	0	229	1,116	2	1,118	2,198	2	2,200	189	0	189	2,387	2	2,389	申込者	1,604	2	1,606	5,107	4	5,111
		実受験者	796	0	796	211	0	211	1,007	0	1,007	1,928	1	1,929	183	0	183	2,111	1	2,112	実受験者	1,444	2	1,446	4,562	3	4,565
		合格者	234	0	234	84	0	84	318	0	318	1,074	0	1,074	120	0	120	1,194	0	1,194	合格者	1,025	1	1,026	2,537	1	2,538
41	佐賀	申込者	237	0	237	179	0	179	416	0	416	736	0	736	150	0	150	886	0	886	申込者	817	0	817	2,119	0	2,119
		実受験者	228	0	228	173	0	173	401	0	401	663	0	663	148	0	148	811	0	811	実受験者	770	0	770	1,982	0	1,982
		合格者	78	0	78	114	0	114	192	0	192	454	0	454	129	0	129										

第1回

全国商業高校 Web アプリコンテスト

実施要項


I. 開催目的

全国商業高校 Web アプリコンテストは、「商業科目」を有する全国の高等学校を対象にして、高校生が社会や身の回りの課題解決につながる Web アプリケーションを制作し発表を行うコンテストです。

Web アプリの制作を通じて、プログラミング技術のみならず、情報デザイン、プロジェクト進行やプレゼンテーションなどの能力育成を図るとともに、生徒たちの学びの発表の機会を提供することを目指します。

II. 開催概要

1. 名称 第1回 全国商業高校 Web アプリコンテスト (2023年度)
2. 主催 全国商業高校 Web アプリコンテスト実行委員会
3. 開催日程
 - (1) 学校エントリー受付開始：2023年5月中旬より
 - (2) 作品応募受付開始：2023年10月初旬より
 - (3) 作品応募締切：2023年12月4日(月)
 - (4) 結果発表：2024年1月上旬
4. 参加資格
 - (1) 全国商業高等学校長協会会員校に在籍し、商業科目を履修している生徒(個人もしくはチーム) ※1校から複数作品の応募を可とします
5. 対象作品
 - (1) ブラウザ上で動作する Web アプリケーションであること
 - ① 静的な Web サイトやプロトタイピングツール、ノーコードツールで作成された作品は対象外とします
 - (2) 審査員向けに公開可能なものであること
 - ① 完全な動作が行われないものでも応募可とします
 - (3) 学校を通して応募された作品であること
 - ① 作品応募は学校の教員を通じて行ってください
 - (4) 他コンテストで入賞をしていない作品であること
6. 応募方法
 - (1) 事前に学校エントリーしてください

- (2) Web上のエントリーフォームより下記の提出物をそれぞれの生徒が作成、記入し、学校の教員を通じて応募してください
- ① 公開（もしくは限定公開）された Web アプリケーション（必須）
 - ② 180秒以内のプレゼンテーション動画（必須）
 - ③ エントリーシート（必須）
 - ④ 補足資料（任意）
7. 応募に向けた情報公開と説明会の実施
- (1) 公式サイト公開 2023年5月中旬予定
 - (2) コンテスト説明会 2023年3月下旬より随時開催
- ① 説明会申込先：<https://form.k3r.jp/asial/sho>
- 
お申込先 QR コード
8. 審査方法
- (1) 応募されたプレゼンテーション動画、作品、エントリーシートをもとに下記審査項目にしたがって審査します
 - (2) 審査項目
- ① 総合的な完成度：一つの作品としての完成度を評価します
 - ② 技術：技術的な挑戦を評価します
 - ③ UIデザイン：利用者にとって使いやすいデザインになっているかどうかを評価します
 - ④ アイデア：課題解決につながるアイデアや創意工夫を評価します
 - ⑤ 実用性：作品の利用実績や実用性を評価します
 - ⑥ プレゼンテーション：プレゼンテーション動画の分かりやすさや構成を評価します
- (3) 審査員 IT業界や教育界の有識者によって構成を予定
9. 表彰
- (1) 公式サイトにて各賞の発表を行います※第1回は表彰式の実施は予定していません
 - (2) 各賞
- ① 通常賞
 - ② グランプリ
 - ③ 技術賞
 - ④ デザイン賞
 - ⑤ アイデア賞
 - ⑥ 入選
 - ⑦ その他、企業賞、審査員特別賞などを設定予定
10. 後援 公益財団法人全国商業高等学校協会（予定）
11. 協賛 未定

III. 問い合わせ窓口

- 全国商業高校 Web アプリコンテスト実行委員会（アシアル株式会社内）
 - 電話：03-3868-0670 mail：edu@asial.co.jp